

canon

電子辞書 Wordtank M300 取扱説明書 保証書付

で使用の前に「ご注意とお願い」をよくお読みの上、正しくお使いください。 この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管してください。 English Quick Reference is enclosed in this instruction manual.

ご注意とお願い

■絵表示について

本書では本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を絵表示で示しています。 絵表示の意味は次のとおりです。

△警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。 △注意 誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。 △記号は気をつける必要があることを表わしています。

🥂 次の場所ではご使用にならないでください。

- ●温度変化の激しいところ
- ●湿度、ごみ、ほこりのあるところ
- ●直射日光のあたるところ



🗥 テレビやラジオから離してください。

テレビやラジオの近くで使用すると、映像が乱れたり、 雑音が入ることがあります。テレビやラジオから離して 使用してください。



ご注意とお願い



お手入れの際はシンナーなどの揮発性の液体やぬれ雑 巾は避け、乾いた柔らかい布をお使いください。





本機を絶対に分解しないでください。万一、故障した と考えられる場合は、「保証内容」に記載されていま すように、本機お買い上げの販売店、またはキヤノン マーケティングジャパン株式会社修理受付窓口まで保 証書を添えて、ご持参、もしくはご郵送ください。



🥂 液晶表示画面を強く押さないでください。

液晶表示画面はガラスでできていますので、強く押し たり強い衝撃を与えないでください。ガラスが割れて けがをすることがあります。カバンなどに入れて持ち 運ぶ際に混み合った電車内や場所では圧力が強くかか り、画面が割れる場合がありますのでご注意ください。

🕂 故障などの保証の注意

万一、故障や修理、電池交換によるデータの変化や消 失により生じた損害、あるいは、本機使用により生じ た逸失利益、または第三者からのいかなる請求につい ても、当社では一切その責任を負えませんので、あら かじめご了承ください。

⚠️ その他使用上の注意

本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメー カーをご使用の方は、本製品を胸部(胸のポケット)か ら離してご使用ください。万一、異常を感じた場合、た だちに本製品を体より離し、医師に相談してください。 本機カバーの開閉時に、指をはさまないようご注意下 さい。

電池の取り扱い上の注意

▲ 警告

- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないで ください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した 場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったと きにはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治 療を受けてください。

△ 注意

次のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違 えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障や けがなどの原因となります。

- (1) 火のそばや直射日光のあたるところや炎天下の 車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない でください。
- (2)外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしないでください。
- (3) 液もれ、破損のおそれがありますので乾電池は 充電しないでください。
- (4) +-を正しく入れてください。
- (5) 新しい電池と使用した電池、他の種類の電池を

まぜて使わないでください。

- (6) 使い切った電池はすぐに本体から取り出してく ださい。
- (7) 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。

1 電池交換時の注意

電池交換の際は次のことがらを守らないと、データが 消去されます。充分ご注意ください。

- (1) 電池を交換する際は、本体の 🥌 キーから電源を 切って交換してください。
- (2) 電池は2 個とも新しいものに交換してください。
- (3) 電池の極性(+、-の方向)を間違えないように してください。

🕐 充電式電池の取り扱い上の注意

- (1) 本機から充電することはできません。市販の充電 器から充電してください。
- (2) ニッケル水素電池は、お使いにならないときでも 自然放電によって残量が減っていきます。できる だけお使いになる直前に充電してください。
- (3) 充電状態の異なる電池を組み合わせて使わないで ください。
- (4) 電池の特性上、お使いになる環境(気温)によっ て動作時間が異なります。

USB ケーブルの取り扱い上の注意

▲ 警告

USB ケーブルは次のことを守ってご使用ください。 火災や感電の原因になることがあります。

- (1) 重いものを乗せたり、加熱しないでください。
- (2) 加工したり、破損しないでください。
- (3) ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- (4) 濡れた手でケーブルやプラグの抜き差しをしない でください。

⚠ 注意

カードスロット (挿入部)、USB 端子部、およびイヤ ホン端子部などに金属製のピンを入れたり、ゴミを付 着させないでください。

 USB ケーブルはコンピューターに直接接続してくだ さい。

イヤホンの音量についての注意

 音量を上げすぎないようにご注意ください。 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞き続ける と、聴力に悪い影響を与えることがあります。

カードの取り扱い上の注意

- カードの破損や本機の故障を防ぐためにもカードの向き(表裏、前後)を確認の上カードスロットに正しく挿入してください。
- カードを本機に挿入したり、取り外す時はカードス ロットを顔に向けたりして飛び出してきたカードでケ ガしないようご使用ください。
- パソコンからSDメモリーカードにコピーしたデータ は、誤操作、SDメモリーカードの紛失、本機の故障、 修理などにより失われることがあります。それらの データは必ずバックアップとしてパソコンに保存して ご使用ください。

商標について

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- (2) その他の会社名および製品・サービス名は、それぞれを 表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登 録商標あるいは出願中の商標である場合があります。 なお本文中では™、®マークは明記していません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この 装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすこ とがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

本機のおもな特長



見出し語や会話文のネイティブ発音、全コ ンテンツで英語部分を選択し、読み上げる TTS発音*を収録。自分の発音を録音し模 範発音と聴き比べることもできます。 ☞ 54 - 60ページ

バックライト

薄暗い環境でも、操作が可能なバック ライト機能を搭載。採光がむずかしい 所でも、スイスイ検索できます。

☞ 26 ページ

一括検索機能

調べたい語句を5つまで一度に入力し て検索できる機能。難しい文章も、わか らない単語をいっぺんに入力し、即座 に検索できます。 (☞ 159 ページ

MP3 プレーヤー機能

カードに保存されたMP3形式のデータ を本機にて再生することができます。

☞ 202 ページ

センター試験リスニング対策 センター試験のリスニングテストに沿った 内容の学習ができます。トレーニング問題 やテストで実力を試し、進捗管理ボックス で学習の進み具合を把握できます。 ☞ 139 ページ	ディクテーション強化コンテンツ 英語の発音を聞きとり、そのままタイ ピングするトレーニングです。テスト 結果として正解率が一覧でき、学習進 度を確認できます。 ☞ 134 ページ
カードスロット内蔵 コンテンツカードや、MP3形式の音楽 を聞くためのカードを使うことができ ます。また本体のバックアップデータ をカードに保存することもできます。	メモ機能 調べた見出し語に日本語・英語対応のメ モを記録できます。リスト化し、メモの分 類も可能です。学習用メモとしても活用 できます。 ☞ 190 ページ
複数辞書検索機能 調べたい語句を収録した複数のコンテ ンツから同時に検索できます。例文検 索では、英語による検索が可能です。	マイメニュー 頻繁に使用するコンテンツを「マイメ ニュー」としてメニュー画面に登録す ることにより、すばやく指定のコンテ ンツを開くことができます。 で 48 ページ

収録コンテンツ

■明鏡国語辞典 (12763ページ掲載)
大修館書店 収録項目数 約 70,000 項目

■ スーパー大辞林 (100mg)66 ページ掲載) 三省堂 収録語数 約 252,000 語

■ 改訂新版 漢字源 (13,112字)

■ **旺文社古語辞典 第九版** (ご) 79ページ掲載) 旺文社 収録語数 約43,500 語

■ 四字熟語辞典 (100 780 ページ掲載) 学習研究社 収録項目数 約 1,400 項目

■ 故事ことわざ辞典 (C 82ページ掲載) 学習研究社 収録項目数 約4,300項目

大修館書店 収録語句数 約95000語句

■ ジーニアス和英辞典 第2版 (13→89ページ掲載) 大修館書店 収録語句数 約82,000語句

■ ジーニアス英和辞典 第3版 (13-84ページ掲載)

■ オックスフォード現代英英辞典 第7版 (CF91ページ掲載) Oxford Advanced Learner's Dictionary, 7th edition Oxford University Press 収録語数 183,500 語

■ 英会話とっさのひとこと辞典 (1295ページ掲載)
DHC 総例文数 約8,000例文

■ 徹底例解 ロイヤル英文法 改訂新版 (106ページ掲載)
田文社 収録項目数約395項

■世界史事典 三訂版 (C→110ページ掲載) 旺文社 収録項目数 約7,200項目

■ ベーシックジーニアス英和辞典(cc→84ページ掲載) 大修館書店 収録語句数 約40.000 語句

収録コンテンツ

■日本史事典三訂版 (☞111ページ掲載) 旺文社 収録項目数 約6,800項目

■ **旺文社 生物事典 四訂版** (☞115ページ掲載) 旺文社 収録項目数 約7,300項目

■ 旺文社監修 数学公式集 (ごご117ページ掲載)
田文社 収録項目数 180項目

■ 旺文社監修 物理公式集 (117ページ掲載)
田文社 収録項目数 72項目

■ ロイヤル英文法問題集 改訂新版(で)123ページ掲載) 旺文社 収録項目数約2,200項目

■ 英単語ターゲット1900 3訂版(CF125ページ掲載) 旺文社 収録項目数 1,900項目

■ 英単語ターゲット1900 BRUSH-UP TEST 3訂版 (C→ 132ページ掲載)

旺文社 収録項目数 1,900項目

田文社監修 英単語ターゲット 1900 ディクテーション (で) 134ページ掲載)

旺文社 収録項目数 1,900項目

■ 田文社監修 無機化学のキーワード (120-118ページ掲載) 田文社 収録項目数 67項目

■ 田文社監修 有機化学のキーワード (☞118ページ掲載) 田文社 収録項目数 65項目

■ 田文社監修 辞書式配列化学反応式(CP-119ページ掲載) 田文社 化学式約260項目、化学反応式約1,170項目 ■ 英熟語ターゲット1000 3訂版(C→125ページ掲載) 旺文社 収録項目数 1,000項目

■ 英熟語ターゲット1000 BRUSH-UP TEST 3訂版 (で132ページ掲載)

旺文社 収録項目数 1,000項目

■ 旺文社監修 英熟語ターゲット 1000 ディクテーション (でつう134ページ掲載)

旺文社 収録項目数 1,000項目

■ 英検 Pass 単熟語3 級 改訂版 (で)137ページ掲載)
田文社 収録項目数 1,378項目

■ 英検 Pass 単熟語 2 級 改訂版 (で)137ページ掲載) 旺文社 収録項目数 1,760項目

■ 旺文社監修 センター試験リスニング対策 (ごで139ページ掲載)
田文社 試験10回(全250問)

■ **英語発音クリニック** (低) 143ページ掲載) 大修館書店 発音筒所 284 筒所

■ センター試験英語会話表現集 (145ページ掲載) 大修館書店 総例文数 87 例文 ■ 古文単語・熟語ターゲット400(☞147ページ掲載) 旺文社 収録項目数 400項目

■ 漢字ターゲット1700 (cr 149ページ掲載) 旺文社 収録項目数 1,700項目

■ 漢検プチドリル3 級 改訂版 (☞149ページ掲載) 旺文社 収録項目数 1,535項目

■ 漢検プチドリル2 級 改訂版 (☞149ページ掲載) 旺文社 収録項目数 1,502項目

■ 世界史年代暗記ターゲット315 (13→151ページ掲載) 旺文社 収録項目数約315項目

■ 日本史年代暗記ターゲット312 (cm 151ページ掲載) 旺文社 収録項目数 約312項目

電池を交換するには

本体の電池が消耗してきた場合、電源ON時に「電池を交換してください」と表示されますので、すみやかに電池を交換してください。また電池が著しく消耗した時には「電池残量不足の為処理を実行出来ません電源をOFFします」が表示され、電源が切れます。この場合も、ただちに電池を交換してください。本機で使用できる電池は、単4形アルカリ乾電池 (LRO3)か市販の単4形ニッケル水素電池です。交換の際もこれと同じものをお求めください。

指定している電池以外は使用しないでください。電池容量、電圧が異なるため、誤動作や故障の原因となります。交換の際 には必ず新品の単4形電池2本をご使用ください。また種類の異なる電池を混ぜて使用することは、絶対に避けてください。

電池残量は画面右上に表示される電池残量表示アイコン IIII の目盛りを目安にしてください。アイコンの表示が 🗋 になると、残量不足のため処理を実行できなくなりますので、お早めに電池交換を行ってください。

⚠電池交換時のご注意

電池交換の際は次のことがらを守らないと、データが消去されます。充分ご注意ください。

●電池を交換する際は、必ず本体の 💮 キーから電源を切ってから行ってください。

●電池は2個とも新しいものに交換してください。

●電池の極性(+、-の方向)を間違えないようにしてください。

電源を切り、本機を裏にして電池ぶた上の左右の矢印の上に指をのせます。 それから電池ぶたを押しながらはずします。



電池を交換するには

2 極性(+、-の方向)を間違えないように注意しながら、電池を2 個同時 に交換します。



電池ぶたをもとの位置にもどします。
 ●画面に「システムを初期化しますか?(単語帳・履歴・ブックマーク・メモデータは削除されます)」が表示された場合は、「いいえ」を選択し、
 (電池交換後は、環境設定画面にて電池の種類を正しく設定してください。
 (電池切替 ☞ 40 ページ参照)



■ オートパワーオフ機能

本機は電池の消耗を防ぐため、電源を入れたままキー操作を行わないと自動的に電源が切れるようになっています。電源が切れるまでの時間は、設定メニュー画面の「オートパワーオフ時間」の項目で30分以内で設定することができます。

(オートパワーオフ 🕞 39 ページ参照)

※ 電池が消耗した状態で発音や音声再生を行うと、音がかすれて聞こえることがあります。その場合は、すみやかに 電池を交換してください。

使用済みの電池は、+極と-極をテープで絶縁してから、地方自治体の条例、規則に従って廃棄してください。くわし くは各地方自治体にお問い合わせください。

電池を交換するには

■ニッケル水素電池について

この製品は、市販のニッケル水素電池を使用することができます。あらかじめ十分に充電をしてから、ご使用ください。

小市販の充電式電池を使用する場合のご注意

- ●本機から充電することはできません。市販の充電器から充電してください。
- ●ニッケル水素電池は、お使いにならないときでも自然放電によって残量が減っていきます。できるだけお使いになる 直前に充電してください。
- ●充電状態の異なる電池を組み合わせて使わないでください。
- ●電池の特性上、お使いになる環境(気温)によって動作時間が異なります。

○ 日本国内での充電式電池の廃棄について

●ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の回収・リサイクルについては、下記キャノンのホームページで確認できます。

キヤノンサポートページ

canon.jp/support

●交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼る か、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店へお持ちください。またリサイクル時は電池を分解しないでください。 充電式電池の回収・リサイクル協力店については有限会社責任中間法人 JBRC ホームページを参照してください。 http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

家庭用電源を使うには

別売りの専用アダプタ(AD25)を使って、家庭用電源から電源をとることができます。

⚠ご注意

本機を指定の AC アダプタで長期間お使いになる時は、本機より電池を取り出してください。 液漏れ等による故障及び損傷の原因になることがあります。

本機に電池が入っていない場合(ご購入後、初めてご使用になる場合等)

AC アダプタの DC プラグを本機の電源ジャックに差し込みます。

AC アダプタを 100V AC50/60Hz のコンセントに差し込みます。

- **3** 「システムを初期化しますか?」のメッセージが表示されますので、本機をはじめてご使用になる場合は、「はい」を 反転表示させた状態で
 空を押して初期化してください。
 - ●初めてのご使用でない場合、「システムを初期化しますか?」のメッセージが表示された後「はい」を選択すると単語帳、履歴等のデータはすべて消去され、すべての設定が初期化されます。「いいえ」を選択した場合、データは失われずそのまま保存されます。

家庭用電源を使うには

本機に電池が入っている場合(取扱説明書に従って電池を入れた場合、または既にご使用中の場合)

💮 を押し電源を入れます。

⚠ご注意

本機は、単語帳に記憶させた内容、単語の履歴を通常操作で電源を切る時にメモリー内部に書き込みます。電源を突然切断すると前回書き込み 済み以降の単語帳への書き込みと単語の履歴は失われます。電池の交換とACアダプタの本体への差し込みは必ず電源を通常操作で切った後 で行うようにしてください。



本機の電源が「切」になっていることを確認します。
 AC アダプタの DC プラグを本体の電源ジャックに差し込みます。
 AC アダプタを 100V AC50/60Hz のコンセントに差し込みます。

キーを押しても動作しないときは

本機使用中に、強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれにすべてのキーが機能しなくなる等の異常が 発生することがあります。このような異常が発生した場合は、リセットスイッチを押して機能をもとにもどしてください。



もくじ

ご注意とお願い

本機のおもな特長	6
収録コンテンツ	7
電池を交換するには	10
家庭用電源を使うには	13
本機に電池が入っていない場合	13
本機に電池が入っている場合	14
キーを押しても動作しないときは	15

はじめに

はじめてご 準備[1] 準備[2]	使用になる前に 付属の乾電池を入れる リセット操作(電池タイプの選択・表示画 の濃度調節)をする	21 21 面 21
各部の名称		23
キーのはた	6ē	24
基本操作・	各種設定・コンテンツ活用のコツ	
基本の操作 電池を入 バックラ 電源を切 カーソルキ	れる カバーを開ける / を使うイト機能を使う イト機能を使うる カバーを閉じる / を使う ーの操作 ❹/♥/❹ /❹ / ⊉ と ュュュ♥ / ஂ ひを使う	26 26 26 26 27

検索画面から調べたい項目を選び検索する	30
文字を入力する	32
文字の訂正	35
各種機能を実行する 💼 を使う	36
前の操作に戻る 🐵 を使う	37
各種機能の設定	38
Change message (表示メッセージ切替)	38
入力方式	39
キー入力音	39
オートパワーオフ	39
電池切替	40
画面濃度調節	40
バックアップ	41
文字サイズ切替	41
音量調整	42
バックアップを行う	42
データの書き込み(リストア)を行う	44
バックアップデータを消去する	45
バックアップ操作中に表示されるエラーメッセージ	47
コンテンツ活用のコツ	48
マイメニューにコンテンツを登録する	48
例文・解説・コラムの表示	51
候補リスト画面に戻る	51
別の語句を調べる	52
別のコンテンツに切り替える	52
辞典の凡例を見る	53

発音を確認する	54
すぐ出る発音機能を使う	56
TTS 発音(合成音声による発音)を読み上げる	57
発音を録音し聞き比べる	59
音声データ検索をする	61
検索した語の本文画面に参照ジャンプする	62

辞書系コンテンツを使う

明鏡国語辞典を使つ	63
日本語の読みを入力し、語義を調べる	63
類語を調べる	64
日本語テストをする	65
スーパー大辞林を使う	66
日本語の読みを入力し、語義を調べる	66
語句の語尾につく文字を入力し、逆引き検索する	67
語句を入力し、その語句を含む慣用句やことわざを調べる	.68
略語を入力し、正式名称とその意味を調べる	69
漢字源を使う	71
漢字や熟語の読みを入力し、意味を調べる	71
漢字や熟語の読みを入力し、意味を調べる 音訓読みを入力し、漢字を調べる	71 72
漢字や熟語の読みを入力し、意味を調べる 音訓読みを入力し、漢字を調べる 名前に使われる漢字を調べる	71 72 73
漢字や熟語の読みを入力し、意味を調べる 音訓読みを入力し、漢字を調べる	71 72 73 74
漢字や熟語の読みを入力し、意味を調べる 音訓読みを入力し、漢字を調べる 名前に使われる漢字を調べる 部品名を入力し、漢字を調べる 部首画数を入力し、漢字を調べる	71 72 73 74 75
漢字や熟語の読みを入力し、意味を調べる 音訓読みを入力し、漢字を調べる 名前に使われる漢字を調べる 部品名を入力し、漢字を調べる 総画数を入力し、漢字を調べる	71 72 73 74 75 76
 漢字や熟語の読みを入力し、意味を調べる 音訓読みを入力し、漢字を調べる 名前に使われる漢字を調べる 部品名を入力し、漢字を調べる 部首画数を入力し、漢字を調べる 総画数を入力し、漢字を調べる 熟語を表示する 	71 72 73 74 75 76 77
 漢字や熟語の読みを入力し、意味を調べる 音訓読みを入力し、漢字を調べる 名前に使われる漢字を調べる 部品名を入力し、漢字を調べる 部首画数を入力し、漢字を調べる 総画数を入力し、漢字を調べる 款語を表示する 文字を拡大表示する 	71 72 73 74 75 76 77 78
 漢字や熟語の読みを入力し、意味を調べる 音訓読みを入力し、漢字を調べる 名前に使われる漢字を調べる 部品名を入力し、漢字を調べる 部首画数を入力し、漢字を調べる 総画数を入力し、漢字を調べる ※許を表示する 文字を拡大表示する 漢字の筆順を表示する 	71 72 73 74 75 76 76 77 78 78

ŧ	くじ
古語辞典を使う	79
古語の読みを入力し、語義を調べる	79
四字熟語辞典を使う	80
四字熟語の読みを入力し、意味を調べる	80
使用シーンから調べる	81
故事ことわざ辞典を使う	82
語句を入力し、その語句から始まる故事・ことわざを調べる	.82
ベーシックジーニアス英和辞典とジーニアス英和辞典を使う	84
英単語を入力し、和訳を調べる	84
英単語を入力し、音声データ検索をする	85
入力した英単語を含む成句を調べる	85
入力した英単語を含む例文を調べる	86
見出し語の発音を確認する	87
発音を録音し聞き比べる	88
和英辞典を使う	89
日本語の読みを入力し、英訳を調べる	89
入力した英単語を含む例文を調べる	90
英英辞典を使う	91
英単語を入力し、語義を調べる	91
英単語を入力し、音声データ検索をする	92
入力した英単語を含む成句を調べる	92
入力した英単語を含む例文を調べる	93
見出し語の発音を確認する	94
発音を録音し聞き比べる	94
英会話とっさのひとこと辞典を使う	95
日本語の読みを入力し、入力した語句を含む会話文を調べる	95

もくじ

英単語を入力し、会話文を調べる	96
場面別検索を使って会話文を検索する	97
見出し語の発音を確認する	98
発音を録音し聞き比べる	98

学習系コンテンツを使う

学習コンテンツに共通する基本の操作
ツリー形式リスト - 項目の選択方法
チェックボックス102
テスト結果グラフ表示102
学習設定の方法103
ロイヤル英文法を使う106
キーワードを入力し、目次から検索する
入力した英単語を含む例文を調べる
目次一覧から調べる108
会話慣用表現を調べる109
世界史事典を使う 110
世界史の用語を入力し、その年代や内容を検索する… 110
日本史事典を使う 111
日本史の用語を入力し、その年代や内容を検索する… 111
人名検索を使う 112
歴史上の人物を検索する(世界史・日本史共通) 112
和歌・俳句検索を使う113
和歌・俳句に含まれる語句を入力し、句意等を調べる113
生物事典を使う115
生物学用語を入力し、用語の意味を調べる

	図版検索をする	1	16
公	:式集を使う	1	17
	数学公式集と物理公式集を学習する	1	17
	無機化学のキーワードと有機化学のキーワードを学習する	1	18
辞	書式配列化学反応式を使う	1	19
	読みを入力する	1	19
	化学式を入力する	1	20
	脚注を表示する	1	21
	目次を表示する	1	21
	イヤル英文法問題集を使う	1	23
	章別に分類された問題を行う	1	23
英	単語・英熟語ターゲットを使う	1	25
	英単語を入力し、単語の意味を調べる	1	25
	英単語を学習する	1	26
	再度学習するときは	1	27
	英単語・英熟語のリスニングを行う	1	28
	単語テストをする	1	30
英	単語・英熟語ターゲット BRUSH-UP TEST を使う…	1	32
	BRUSH-UP テストをする	1	32
英	単語・英熟語ターゲットディクテーションを使う	1	34
	単語テストをする	1	34
英	検 Pass 単熟語(3 級・2 級)を使う	1	37
	英単語を入力し、単語の意味を調べる	1	37
	英単熟語を学習する	1	38

センター試験リスニング対策を使う)
検索画面で項目を選び、リスニング問題を行う 139	ł
英語発音クリニックを使う143	5
解答を表示する144	ŀ
発音を確認する144	ŀ
センター試験英語会話表現集を使う	j
目次から会話表現を調べる145)
発音を確認する146	j
古文単語・熟語ターゲット 400 を使う 147	,
単語の読みを入力し、語義を調べる147	'
古文単語・熟語を学習する148	5
漢字ターゲット1700・漢検プチドリル(3級・2級)を使う149)
問題を解きながら漢字を学習する149)
世界史・日本史年代暗記ターゲットを使う	
年号を入力し、年号から検索する	
語呂を入力し、語呂から検索する)
年号と語呂を入力し、絞込み検索をする 153	;
重要年代について学習する153	;
検索機能と便利な機能を使う	

複数辞書検索機能を使う	155
語義や訳を複数辞書検索する	155
成句複数辞書検索をする	156
例文複数辞書検索をする	157
ー括検索機能を使う	159
日本語の読みを5つ入力し、5つの語を同時に検索する	159

	もくじ
ディクショナリーリンク機能を使う	161
同じ見出し語を他のコンテンツに移って調べる	161
マルチジャンプ機能を使う	162
指定したコンテンツへジャンプする	162
参照ジャンプを実行する	164
関連語句を調べる	166
成句、複合語、類語、熟語、慣用連語、句動詞を表示する	166
単語帳を使う	169
覚えたい語句を単語帳に登録する	169
登録した単語を単語帳リストから表示する	170
マーカー機能を使う	172
単語帳の設定をする	175
単語帳のデータを削除する	177
スペルチェック機能を使う	179
スペルチェック機能を使う ワイルドカードサーチ機能を使う	179 180
スペルチェック機能を使う ワイルドカードサーチ機能を使う 履歴機能を使う	179 180 182
スペルチェック機能を使う ワイルドカードサーチ機能を使う 履歴機能を使う 履歴リストから本文画面を表示する	179 180 182 182
スペルチェック機能を使う	 179 180 182 182 185
スペルチェック機能を使う	 179 180 182 185 187
 スペルチェック機能を使う	 179 180 182 185 187
 スペルチェック機能を使う	 179 180 182 185 187 188
 スペルチェック機能を使う	 179 180 182 185 187 188 188 188
 スペルチェック機能を使う	 179 180 182 185 187 188 188 190
 スペルチェック機能を使う	 179 180 182 185 187 187 188 188 190 190
 スペルチェック機能を使う	 179 180 182 185 187 188 188 190 191

もくじ

メモを活用する	. 194
メモリストのデータを削除する	. 197
カード(コンテンツカードや SD メモリカード等)を使う	. 199
カードを挿入する	. 199
カードを取り出す	. 200
コンテンツカードを使う	. 201
電子辞書データのバックアップをカードに保存する	. 201
MP3 プレーヤー機能を使う	. 202
MP3 データを再生する	. 202
MP3 プレーヤー使用時の操作ボタンとキーのはたらき	. 203
MP3 プレーヤー使用時の各種機能の設定	. 205
ボイスレコーディング機能を使う	. 209
音声を SD メモリーカードに録音する	. 209
録音データを再生する	.210
録音データを削除する	.212
USB 辞書機能を使う	.214
USB 辞書をパソコンにインストールする	. 215
USB 辞書の設定を行う	.217
USB 辞書機能を使って語句を検索する	. 218
USB 辞書使用後に電源を切る	. 220
USB 辞書をパソコンからアンインストールする	. 221
電卓機能を使う	. 222
おぼえておくと便利なキーのはたらき	. 225

Quick Reference

Quick Reference(English) 226

付録

センター試験リスニング対策イラスト	248
古語辞典 国語·国文法用語解説	255
ローマ字 / かな対応表	307
著作物と著作権など	310
おもな仕様	314
保証書	316
保証規定	317

はじめてご使用になる前に

準備 [1] 付属の乾電池を入れる

付属の単4 形乾電池(または市販のニッケル水素電池)2 本を10 ページの「電池を交換するには」に従って入れてください。

準備[2]リセット操作(電池タイプの選択・表示画面の濃度調節)をする

裏面のリセットスイッチを押してください。 (リセットスイッチについて GF 15ページ参照)

図のように本体に指をかけて、上のカバーを開きます。

⚠ご注意

カバーの開閉時に指をはさまないよう、ご注意ください。



表示画面が見やすいように、ディスプレイの角度を調節してください。



はじめてご使用になる前に



②: [▲][▼]キーでカテゴリー,[⊗][♥]キーで辞書を 選択し,「訳・決定]を押してください





					1~2	
1	×ニュー メニューキー	電源がOFFの時に押すとONになり、メインメニュ	3	_{和林}		
2	_{複数検索} 複数検索キー	電源がOFFの時に押すとONになり、複数辞書検索 また他のコンテンツから複数検索画面に移ること	面が表示されます。 きます。			
з	الاین (الاین ON/OFF+–	電源のON/OFF切り替えに使用します。 アト 🥯		JL - B		
4	文字入力キー	文字、数字、英字の入力時また電卓に使用します(数字入力時にも使用します)。		訳		
5	シフト シフトキー	第2機能を使用する時に使用します。キー上部の 漢字源、和英、カード)や機能(録音、文字拡大)は、 力します。)モー 、 ♥フ	・ド (バックライト、 を押してから入		nxen tank
6	マーカー/メモ マックラ ブックマーク/	本文表示画面で、単語や語句をブックマークに 登録する時に使います。 単語帳に登録した単語の本文画面で、選択した 箇所にアンダーライン(マーカー)を引くことが	9	文字 サイズ 拡大 文字サイズキー	文字サイズの切り替えを行う時に使用します。また 明鏡国語辞典、大辞林、漢字源では 21 愛と押す と、文字を1文字ずつ拡大表示することもできます。	
	マーカー/メモギー	ることができます。	10	スベル 範囲 選択	ジャンプ、TTS発音、マーカーを実行したい語句を	
7	発音録音	見出し語や例文の発音を聞く時に使用します。 また ਆ 🤓 で発音比較ができます。	10	範囲選択/ スペルキー	選択する時に使用します。また検索画面で人力した語句のスペルチェックを行う時に使用します。	
	発音/録音キー	, ANN	-	履歴	今までに調べた語句を各コンテンツ別に一覧表示 します(最新のものから順に500件まで記憶され	
	入力切替 関連	 本文画面で 回 7 2 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	11	ビント 履歴/ ヒントキー	ます)。テスト画面で、部分的に単語や訳語を表示 するヒント表示ができます。	
	関連語句/ 入力切替キー		12	戻る 戻るキー	キーを押すごとに、今まで表示した画面を1つ ずつ前にさかのぼって表示します。	

はじめに

キーのはたらき

	7 <u>~'</u> 2	21								
		13	3 力		本:	文画面で前後の見 /次画面に移ること	出し語に移る時に使用します。見出し語リスト画面では ができます。			
		12		カーソルを上下に移動させることができます。また次の行および前の行に一 行ずつスクロールすることができます。						
			カーソルを左右に移動させることができます。本文画面では前/次画面に移ることができます。			はじ				
			訳・決定/ 例文展開キー	検索 文节	家および各種機能を の解説参照リストが	まだする時に使用します。本文画面で 💼 を押すと、例 表示されます。電卓機能使用時は「=」を意味します。	めに			
M300	300 アメクロ アメクロ 電源がOFFの時に押すとONになり、明鏡国語辞典の検索画面が表示されます。 17 国語 す。もう1回押すと大辞林の検索画面が表示されます。 アメロ 国語キー 国語キー 林の検索画面に移ることができます。									
18 和英 電源がOFFの時に押すとONになり、ベーシックラニアスの検索画面が表示されます。もう1回押す 英和 ジーニアス英和の検索画面が表示されます。 英和キー ジーニアス英和の検索画面が表示されます。 アスの 英和・ 英和キー ジーニアス英和の検索画面が表示されます。 アスの 東面と押すと、和英辞典の検索画面が表示されます。 アストット エアス、ジーニアス英和の検索画面に移ることできます。 19 英英 単本 電源がOFFの時に押すとONになり、英英辞典 検索画面が表示されます。また他のコンテンツ		とON 示さ	とONになり、ベーシックジー 示されます。もう1回押すと		21	^{л-к} МРЗ МРЗ ‡ -	電源がOFFの時に押すとONになり、MP3のリストが表示されます。 ア M で なり、カードのメニュー画面に移ることができます(カードが入っている場合)。			
		ジント (無利) と押すと、 されます。また他のコニニアス、ジーニアス英	押すと、和英辞典の検索画面が表示 他のコンテンツからベーシックジー アス英和の検索画面に移ることが		22	登録/削除 登録/削除キー	文字入力中に押すと、1文字ずつさかのぼって文字を消去します。各コンテンツの本文画面で 2000 を押すと、表示中の見出し語が単語帳に登録されます。			
		こなり、英英辞典の 他のコンテンツか	23	ビー・ ハイフン/ ビ チェックマークキー	「−」を入力できます。また単語帳、テスト画面、学習 コンテンツで学習した語句の頭に⊡を入れることができ ます。					
		英英キー	ら英英辞典の検索画面	記移	62	とができます。		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	成句検索や部品読み検索等の入力画面で 🚺 を押す	
	20 単語帳 単語帳キー		電源がOFFの時に押すとONになり、単語帳のリ スト画面が表示されます。また他のコンテンツか ら単語帳のリスト画面に移ることができます。		24	?`& &/?/*/ スペースキー	す。ワイルドカード検索で 🌇 を押すと、「?」と「*」を 入力することができます。またメモ入力中はスペース を入れることができます。			



電源を入れる カバーを開ける/岡 を使う

本機のカバーを開けるか、 かす を押すと電源が入り、前回電源を切った状態の画面が表示されます (レジューム機能)。 また メニー、 繊維、 第一、 横、 、 英和、 英英、 (単画版、 「MP3」を押しても電源が入り、各コンテンツの初期画面が表示されます。

バックライト機能を使う

P71 の を押すと、薄暗い環境でも操作ができるよう、バックライト機能を使うことができます。

バックライトはキーを最後に押してから、30秒後に自動的に消灯します。

バックライト消灯中は、電池の消耗を抑えることができます。

バックライト使用時の電池寿命

1時間あたりバックライト点灯30秒を5回繰り返す場合、アルカリ乾電池で約86時間使用できます。

電源を切る カバーを閉じる/ 💮 を使う

電源が入っている時に本機のカバーを閉じるか、 👦 を押すと電源が切れます。MP3 再生中は、カバーを閉じたまま 再生を継続します。

(MP3 プレーヤー機能を使う 🖙 202ページ参照)

- ●電池の消耗を防ぐために、電源を入れたままキー操作を行わないと自動的に電源が切れるようになっています(オートパワーオフ機能)。 電源が切れるまでの時間は、設定することができます。
 - (オートパワーオフ機能 🕞 39ページ参照)

メニュー画面からコンテンツ	を選ぶ	
1 を押し、メニュー画面な	を表示させます。	大二・ 「」 「 「」 「 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「 「」 「 「」 「 「 「」 「 「 「」 「 「 「」 「 「 「 「 「
		:Q: [▲][▼]キーでカテゴリー,[④][④]キーで辞書を 選択し,[録:決定]を押してください
2 (************************************	§動させ、コンテンツのカテゴリーを選択します。 ▲/ ♥ でカーソルを移動させ、コンテンツを選	
3 ●表示されたコンテンツ名横のアルフ す。)検索画面が表示されます。 ファベットを文字入カキーで入力して選択することもできま	オッシス・レージを楽 画 オペレ 」(少) 音声データ検索[」(少) 成句検索[」(少) 例文検索 [(月) (日) (日) (日)

- 各コンテンツの分類先							
国語系	明鏡国語辞典	スーパー大辞林(大辞林)	漢字源				
	古語辞典	四字熟語	故事ことわざ				
英語系	ベーシックジーニアス	ジーニアス英和	ジーニアス和英(和英辞典)				
	オックスフォード英英(英英辞典)	英会話とっさのひとこと					
学習 1	ロイヤル英文法	世界史事典	日本史事典				
	人名検索	和歌·俳句検索	生物事典				
	公式集	化学反応式					
学習2	ロイヤル英文法問題集	英単語ターゲット	英単語ターゲット B-up (英単語ターゲット BRUSH-UP)				
	英単語ターゲット Dict. (英単語ターゲット ディクテーション)	英熟語ターゲット	英熟語ターゲット B- up (英熟語ターゲット BRUSH-UP)				
	英熟語ターゲット Dict. (英熟語ターゲット ディクテーション)	英検 PASS 単熟語 3 級	英検 PASS 単熟語 2 級				
	センターリスニング対策	英語発音クリニック	センター英語会話表現				
学習3	古文単語・熟語	漢字ターゲット1700	漢検プチドリル3級				
	漢検プチドリル2級	世界史年代暗記	日本史年代暗記				
便利な機能	複数辞書検索	単語帳	MP3				
	ボイスレコーディング	USB 辞書	電卓				
設定	環境設定						
カード	挿入したカードのコンテンツ名が表	示されます。					

● ()内は取扱説明書中の表記名です。

1行ずつ送る場合

● を押すと画面が1行ずつ送られます。 ▲を押すと1行ずつ戻ります。

画面ずつ送る場合

●を押すと画面が1画面ずつ送られます。 ≪を押すと] 画面ずつ戻ります。



la …を理解する,理解している,…(の意味・気持ち・性質・扱い方など)がわかる ([類] make out, take in, perceive) ベーシックジーニアス understand 🛛 🗗 🔂 列文》 b [understand wh 節・句]…かを理解して いる; [understand A('s) doing] A (人)が…するのがわかる 例文解説 2 [understand (that)節] …と聞いてい 例文》 2012 3 [understand A to do] A(人・事)が…だ と了解する、了解している、解釈する ((正式) interpret): [understand (that) 節1…だと思う

パーシャリンデー P.7 understand 回 Fil ++m

「下に(under)立つ(stand)」が原義で、「も || 「Licuidad)ンシリ(お加)か原義(と、も のについて深くはっきりした知識をもつ」 が本義) @ understandins (名) -10(二単現]~(ショおわね)/:「過去・過分] -10(二単現]~(ショおわね)/:「過去・過分] -10(小しん)/: (単分)/: (一)/: (-)/:

ഞ

できる.

前後の見出し語に移る



検索画面から調べたい項目を選び検索する

設定やメニューの選択および検索をすることができます。

選択したコンテンツ・検索モードの検索画面を表示し、▲/ ▼ でカーソル を移動させ入力欄を選択します(ここでは和英辞典の検索画面を例にします)。



		② [入力切替]で一括検索に切り替ります
2	文字入力キーを使い、調べたい単語や語句を入力します。 (文字を入力する ご 32 ページ参照) 文字を入力すると同時に、入力した文字からはじまる単語や語句が候補表示さ れます(すぐ出る検索)。 ▲ / ♥ でカーソルを移動させ、調べたい単語や語句を選択します。 ● 候補リスト画面で **** / xmm ♥ を押すと、前ページまたは次ページのリスト画面が表示され ます。	<u>ジーーアメ和英</u> 読み (とし_ としく都市) とじ(都市) とじ、 としろえ(の)(年上の)] としろえ(の)(年上の)] としろえのひと[年上の人] としあけ(年田け) new year [the ~](特定の年の)新年; ①新年 回文)

🎫 を押すと、選択した単語や語句の本文画面が表示されます。





文字を入力する

文字入力には、『ローマ字入力』と『かな入力』の2つの方式があります。

(入力方式 🕼 39ページ参照)





基本操作・各種設定・コンテンツ活用のコッ


文字の訂正

検索したい文字を間違えて入力した時は、直したい文字だけを選んで訂正することができます。



基本の操作



•? (111)



(例文・解説・コラムの表示 (今 5) ページ参照)

前の操作に戻る 💿を使う

1つ前の操作に戻ります。





オックス	オード英英	 T∳⊞
21	Ub (apple	
apple		
apple (art:	
appleja	ick	
apple 1	vie	
apple-	vie bed	
apple-1	vie order	
applet		
apple	'pie	
noun 1 [C,	U] apples baked in a dish wit	h ton i
I PAS	INT OH THE DOTTON, SIDES AND	υp.

●さらに 📧 を押していくと、今まで表示した画面を 1 つずつ前にさかのぼって表示します。

入力方式や表示メッヤージなど、本機の各種機能の設定を切り替えることができます。

- *== 1 ▶=== を押すと、メニュー画面が表示されます。 國マイオニュー A 明鏡国語辞曲 國国語系 スーパー大辞林 國英語系 灌字源 学習1 古語辞典 学習2 四字熟語 学習3 FI 放事ことわざ 便利な機能 設定 リカード ○: [▲][▼]キーでカテゴリー,[※][※]キーで辞書を 選択し,「訳・決定]を押してください 環境設定 メニュー画面から設定→環境設定を選んで、設定画面を表示させます。 Change message Japanese English (メニュー画面からコンテンツを選ぶ 🕞 27ページ参照) 入力方式・ ローマ字入力 かな入力 キー入力音: なし あり ● ▼ / ▲ でカーソルを移動させ項目を選択した後、設定/切り替えを行ってください。 オートパワーオフ時間: 1 📓 5 7 10 20 30分 雷池切替: 乾電池 存雷池 ●メニュー画面に戻る場合は、設定終了を選択して ■20 を押すか (▶3)を押してください。す 面面濃度調整 バックアップ べての設定は選択すると同時に切り替わります。 設定終了
- 😭 Change message (表示メッセージ切替)

画面に表示されるメッセージを日本語/英語に切り替えることができます。 (初期設定は「Japanese | です)

●右の画面は「English」を選択した場合です。



す。

🖊 💿 で画面上の 「Change message | を選択してください。 👁 / 🗩 で メッヤージ言語を選択します。選択すると同時に表示メッヤージが切り替わりま



:@: 表示メッセージを変更します 「⑥][@]キーで変更してください

設定終了

②: 自動的に電源をオフする時間を設定します [♥][♥]キーで変更してください

各種機能の設定

J章 入力方式	環境設定	m
文字の入力の際の入力方式を切り替えることができます。 (初期設定は「ローマ字入力」です)	Change nessage: Jaz ト 入力方式: ■ キー入力音: あり オートパワーオフ時間: 1 電池切詰: 500 面面逸度例整	¥1999 English
♥/▲ で画面上の「入力方式」を選択してください。 ●/● で入力方式を 選択します。	パックアップ 設定終了 ② 入力方式を設定します [◎][◎]キーで変更して	ください
◎ デキー入力音	環境設定	m
ピッというキー入力音の有無を設定することができます。 (初期設定は入力音「なし」です)	Change message: JB22 入力方式: □ ▶ キー入力音: あり オートバワーオフ時間: 1 電池切替: 25 画面前声度調琴	nese English -マ字入力 かな入力) なし 3 5 7 10 20 30分 調測 充電池
▼/	バックアップ 設定終了 ③: キー機作音の有無を設定し [の][の]キーで変更して	ンます ください
j⊊ オートパワーオフ		
本機は電池の消耗を防ぐため、電源を入れたままキー操作を行わないと自動的に 電源が切れるようになっています。ここでは電源が切れるまでの時間を設定する ことができます。 (初期設定は「3分」です)	記録表述 Charace message: Imp 入力方式: マー キー入力音: ホウ オートパワーオフ明研 1 電池切踏: 電道の表明確整 パックアップ パックアップ ・ ・ ・	10082 English マ字入力 かな入力) 深し 3 5 7 10 20 30分 課題 充電池

◇ / ▲ で画面上の「オートパワーオフ時間」を選択してください。 ④ / ● で電源が切れるまでの時間を1、3、5、7、10、20、30分の中から選択します。

■ご 電池切替

新しく入れた電池の種類により、電池の切り替えを設定します。 設定した雷池の種類と実際に入れた雷池の種類が異なっている場合、雷池の残量表示 ■ や電池交換のメッセージが正しく表示されないことがありますのでご注意ください。 (初期設定は「乾電池」です)

▼/▲ で画面上の「電池切替」を選択してください。 ●/● で電池の種類を





選択します。

▲ 画面濃度調節

画面の明るさを調節することができます。

- / で画面上の「画面濃度調節」を選択してください。
- ≪ / → で明るさを調整します。

環境設定 画面濃度調整 ▲ 淡くなる 15/30 凄くなる ▶ 画面濃度の調整を行います 「必」「必」キーで変更し、「訳・決定」キーで設定します

基本操作・

各種設定・

コンテンツ活用のコッ

「「「「「「「」「「」」

電子辞書内の単語帳 (マーカー、チェックマークを含む)、環境設定、ブックマー クやメモをバックアップデータとしてカードに保存することができます。

カードをカードスロットに挿入し、 <>/ (本) で画面上の「バックアップ」を選択してください。
(バックアップを行う (1) 42ページ参照)

■ 文字サイズ切替

画面に表示される文字のサイズを「標準」サイズ(16dot)/「縮小」サイズ (12dot) /「拡大」サイズ(24dot)に切り替えることができます。 (初期設定は「標準」サイズです) すべての辞書機能で使えます。本文表示画面で 愛を押すと、「標準」サイズか ら「拡大」/「縮小」サイズに切り替わります。右は、「縮小」サイズの表示画面 です(学習コンテンツや検索モードの一部では「標準」サイズ固定のものがあり ます)。 見出し語候補リスト表示画面では 愛を押すと、「標準」サイズから「縮小」サ イズにのみ切り替わります。 再度 愛を押すと、もとのサイズに戻ります。(24dotの場合は1回押すと

12dot、2回押すと16dotに戻ります)

環境設定 四
Drance nessage: Inconcest Enclish 入力方式: ローマネンガ かな入力 キー入力音: あり 228 オートパワーオフ特問語: 1 第 5 7 10 20 30分 電池の地方別様 画面の地方別様 第 2010 第 2010 画面の地方別様 画面の地方別様 予 7 10 20 30分 第 20 30分 画面の地方別様 画面の地方別様 予 第 2010 第 2010 シーパックアップ 設定する 2 1000 10000
:0: データのバックアッフを行います

				_
ジ	- アス英利 understand	回	+ ?	+m
liin	•der•stand /\inderstand/04			
1-	z h h ント注意)(「下((unden))カー(a	tond	isErt σ	1000
20	マモントル思ル(Includer) <u>ル</u> ン(S	canu)	-100	16
67	て深くはっさりした丸職をもつ」ル園	nders	tanding	
-	—@(~s/–stændz/;-+stood/–stúd/	′;~•ir	16)《◆道	「打」
邢	不可》			
16	21CD			
_	a			
-	[aua](())()() 쿡 타) + 70,00 + 7.0			
1	LSVUI(人か)(人・争・初)を埋解するL	してい	s),(の恵日
	味・気持・性質・扱い方などがわかる;	[SV0(*:	s) doins	I A X I
	が)II (人)が…するのがわかる: [SU	wh筋./	司くんか	6)
	あた理解」 ブレス (開 comprehend m	3/2 01	it taka	in
	N-2-THO CV-D (M CONFIGURITION	unc or	rej conce	
~	heucetne)			
1	<u>NX</u> D			
2	[SV(that)節](人が)…と聞いている	(learn)《�(1)	- I - I
	hearと同意だが、より工業介言い方	(2) +	hat and	h/t+n
	(Toots / A = とまある (3) 博1句	117	± = 1	zΎ
_	123017 1922 0309. (0) 147(9)		0/10/1	21

バックアップを行う

本機の単語帳、環境設定、ブックマークやメモなどのデータを市販のSDメモリーカードに保存します。

SDメモリーカードを本体に挿入します。 環境設定 環境設定から「バックアップ」を選択して、 🔤 を押します。 ▶バックアップの開始 データの書き込み ▼ / ▲で「バックアップの開始」を選択します。 バックアップデータの消去 (バックアップ (37 4) ページ参照) ♀[※][※]キーで選択します [訳・決定]キーでパックアップを開始します 環境設定 「ファイル名を入力してください」の表示後、ファイル一覧にバックアップ ファイル一覧 [001 1 データのファイル名を数字で入力してください。 ●ファイル名は8ケタまでの数字で入力できます。10ファイルまで保存することができます。

> ♀8桁以内の数字でファイル名を入力してください [訳・決定]キーでバックアップを開始します



各種機能の設定



環境設定

ファイル一覧 001 .

♀[◎][◎]キーで消去するファイルを選択します 「銀・決定]キーで消去を開始します

「はい」を選択した後 💼 を押すと、「データ保存中です データが壊れる恐 れがあるので、処理中はカードを抜いたり電源を切ったりしないでください| と表示されます。

書き込みが終了すると、「リストアが正常に終了しました」と表示されます。

バックアップデータを消去する

保存済みのファイルを選択消去します。 ▼/▲ で「バックアップデータ消去」を選択します。 環境設定 ▶ を押すと、バックアップデータのファイル一覧が表示されます。 バックアップの開始 データの書き込み ▶バックアップデータの消去 ◎[●][♥]キーで選択します 「ぷ・決定]キーでファイルの消去を開始します 環境設定 ▼/ (本) で消去するファイルを選択し、 💼 を押します。 ファイル一覧 • 001 002

45

•

٠

コンテンツ活用の

Ĩ 'n ファイル名と「消去を開始してよろしいですか(ファイル内のデータはすべて 削除されます)」と表示されます。



「はい」を選択した後 🧰 を押すと、「データ消去中です データが壊れる恐れがあるので 処理中はカードを抜いたり電源を切ったりしないでください」と表示されます。 消去が終了すると、「ファイルを消去しました」と表示され、選択したファイル

消去が終了すると、「ファイルを消去しました」と表示され、選択したファイ、 がファイル一覧から削除されます。



バックアップ操作中に表示されるエラーメッセージ

バックアップ操作中にエラーを示すメッセージが表示されることがあります。下記のメッセージが表示された場合 は、以下のように対処し、操作をやり直してください。

表示されるエラーメッセージ	対処方法
カードを挿入してください	SDメモリーカードを正しく挿入してください。
	(カード<コンテンツカードや SD メモリーカード等>を使う 🖙 199 ページ参照)
このカードは使用できません ロックを解除するか,別の	挿入したSDメモリーカードのロックを解除するか、別の
カードを挿入してください	SDメモリーカードを挿入してください。
電池容量が低下しているため,バックアップできません	新しい電池に交換してください。
電池を交換してください	(電池を交換するには 🕼 10 ページ参照)
容量不足のためファイルのバックアップができません	ファイル容量が十分あるSDメモリーカードを挿入してく
別のカードを挿入してください	ださい
バックアップに失敗しました 操作をやり直してください	もう一度操作をやり直してください。
電池容量が低下しているため、リストアできません 電池	新しい電池に交換してください。
を交換してください	
記録できるデータがありません	リストア可能なデータが記録されたSDメモリーカードを
	挿入してください。
リストア(または「ファイルの消去」)に失敗しました	もう一度操作をやり直してください。
操作をやり直してください	
電池容量が低下しているため,ファイルを消去できません	新しい電池に交換してください。
電池を交換してください	
消去するデータがありません	データの内容をもう一度確認してください。

コンテンツ活用のコツ

マイメニューにコンテンツを登録する

頻繁に使用するコンテンツを「マイメニュー」としてメニュー画面に登録することができます。





●手順3の後、 ▼ でカーソルをコンテンツ名が登録されていない欄に移動させ、 ■ を押します。コンテンツ選択メニュー画面が表示され、コンテンツを追加登録することができます(画面は □欄へ追加登録をするところです)。

●マイメニューに登録したコンテンツを再び登録しようとすると、「既にマイメニューに登録されています」とメッセージが表示されます。

メニュー Image: Control of the system Image: Control of the

登録したコンテンツを削除する

登録コンテンツは1コンテンツずつ、または一度にまとめてマイメニューから削除することができます。

メニュー画面からマイメニューを選んで、表示させます。





選択したコンテンツ(ここでは目欄に登録した「公式集」)が削除されます。



●一度カードを抜くと、マイメニューのカードコンテンツ名は保存されません。

基本操作・各種設定・コンテンツ活用のコツ

例文・解説・コラムの表示

本文画面上に <u>例文》 EXAMPLE》解説》 日辺</u> が表示されている場合は、 🧰 を押すと 例文、解説またはコラムを表示させることができます。 再度 🧰 を押すと、例文、解 説またはコラムは非表示になります。	(二字2)25-272(basic 12 million 'basic / heisik (イスィク/統 [→ base]) 一般(比較) more ~, [最上] most ~) 基礎(), 根本的公式(協式)初步的公。 (elementary) 例文) 一個(院式)[~s]基礎(事実), 根本原理 例文)
●例文・解説・コラムは、明鏡国語辞典・ベーシックジーニアス・ジーニアス英和・古語辞典・英英辞典・和英辞典で表示されます。	 ペラクジーアス basic basic /feisk ペイスイタ/低 base?) 一般(以此奴) more ~. [最上] most ~) 基礎心、根本的公、(協式)初步的公 (elementary) (a basic wase 基本給. 1 fhe discovery was basic to modern sidence. <i>その先</i>見は現代科学にとっての基礎と
候補リスト画面に戻る	/ぱっ72. ──图(昭式)[~s]基礎(事実),根本原理
本文画面表示中に 📧 を押すと、候補リストー覧画面に戻ります。	(本):57(3):本(元) (5)

別の語句を調べる

1	検索後、同じコンテンツ・検索モードで別の語句を調べる場合は、本文画 面が表示されたまま、文字入力キーを使って語句を入力します。	C=27092=224 Next: 13 mm Partic / heisk ペイスィク/Q% [-+ hass] - 冊(1比較] more ~, [最上] most ~) 基礎の、根本的な; (略式)初步的な。 (elementary) - 図(昭式)[~s]基礎(事実), 根本原理 例文)
2	画面が自動的に検索画面に切り替わり、入力欄に文字が入力されます。	K->yJ);p2 Hum XKJ/ (genius) zenius) genome, -nom ; genome, -nom/génome pròject ; gent ; gent ;

別のコンテンツに切り替える

検索画面または本文画面表示中に別のコンテンツに切り替えたい場合は、



示させ、メインメニューからコンテンツを選択します。

メニュー 回 時間目前特徴 回 スーパー大辞林 ご 漢子族 亡 古語辞典 트 四字熟語 正 故事ことわざ	世 回 可 同 国 高 新 条 世 一 二 二 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二
②[▲][▼]キーでカテゴリー,[②][�]キーで辞書を
選択し,[訳・決定]を押してくだ;	さい

ge・nius /dʒíːn.iəs ヂーニャス|dʒíːniəs ヂ~

gentile

ニアス/低

inn)

辞典の凡例を見る

各辞典の検索画面上に (二) **凡例**の表示がある場合は、表示中の辞典の凡例(編集方針・記号の解説など)を見る ことができます。

マ でカーソルを移動させ、 → 凡例 を選択すると黒く反転表示します。
 ● を押すと凡例が表示されます。

2	表示されたリストから項目を選んで 🧰 を押すと、選択した項目の凡例画面
	が表示されます。

読類日設加	読み 【 ●語 【 日本語テスト 設定 【例	1 @ 1 @
	明鏡	語 ^{ikyo} 共
:Q:	[❷][❷]キーで検索方法を選びます 「訳・決定」キーで凡例を表示します	大修館書店
明こ一二三四五六七一(1	辺国新建立 二別切 溶発の使い方 建築 見出し 見出し 品語 着等 ・ 用法の解説 用例 基本方針 1)本 辞典の将 色。 一 な語 単ので達、* への指	↓Ⅲ
016 - 1 (1		対情報を盛り →
	込し。 ・語の用いられ方や文型を置 れぞれの語の意味を記述す。 本的な用言や助詞・動動詞に 充実させる。 ・日常生活で頻繁に用いられ は特に用例を多く載せる。ま まゆを引き、より単体的作法。	はまえて、そ る。特に、基 は意味用法を いた、たい用 記などから 取りたを示

明鏡国語辞曲

基本操作・各種設定・コンテンツ活用のコツ

発音を確認する

画面上に 俄 が表示されている場合は、発音(ネイティブ発音)を確認することができます。





すぐ出る発音機能を使う

本文解説や例文にある英語のネイティブ発音をすぐ出る発音機能を使って確認することができます。発音は英英辞 典の音声データに収録されている単語のみとなります。英単語を で選べるすべてのコンテンツで使用できます。



•

.

▶ 1つの単語で2つ以上の発音がある場合

1つの単語で2種類以上の発音(すぐ出る発音)がある場合は、前ページ手順3で を押した後、リストが表示されます。 マノ へので聞きたい発音を選択し、 または
を押してください。リスト画面を閉じたい場合は
を押してください。



TTS 発音(合成音声による発音)を読み上げる

本文解説中や例文中に英語が掲載されたコンテンツ・検索モードでは英語部分を選択し、その発音(TTS発音: Text to Speech<合成音声>)を読み上げることができます。

例 題 英英辞典から「photograph」の本文画面の英文を TTS 発音で読み上げます





😭 TTS 発音について

本製品の英語音声読み上げ機能は米国 Fonix Corporation 社の DECtalk™を使用しています。

英語音声読み上げ機能は一切の誤りなく文章を読み上げることを保証するものではありません。英語音声読み上げ機能の使用により発生した損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社および使用許諾権者では 一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

発音を録音し聞き比べる

自分の発音を録音して収録されている模範発音と聞き比べることができます。

例題	ベーシックジーニアスの本文画面で「compact」の発音を録音し、	模範発音と聞き比べます
1	「compact」 の本文画面を表示させます。 💮 を押します。 (検索方法 🕼 84 ページ参照)	
2	 ▼/▲/▲/シ でカーソルを移動させ、本文中の 低 を反転させます。 27 28 を押します。 (マルチジャンプ機能を使う G 162 ページ参照) 	 ペーシアリン・クリン・(加)の中には、(加)の場合(1)・(の)の中には、(1)・(の)の中には、(1)・(の)の中には、(1)・(の)の中には、(1)・(の)の中には、(1)・(の)の中には、(1)・(の)の中には、(1)・(0)・(1)・(0)・(1)・(0)・(1)・(1)・(1)・(1)・(1)・(1)・(1)・(1)・(1)・(1
3	「発音中」のメッセージ表示とともに、模範発音が流れます。続いて「録音中」 のメッセージ表示に切り替わり録音が開始されますので、模範発音にならって 発音します。約1分間で自動的に録音が終了されます。 ●録音が終わったら 2000 で録音を終了することもできます。 ●途中で録音を中止する場合には 2000 を押してください。録音がキャンセルされ、本文画面 に戻ります。	ペーシックシーク入 Compact* 限日期 400 com pact* 健和印奈林 コンパクト、 com pact* 健和印奈林 コンパクト、 com pact* 健和印奈林 コンパクト com pact* 健和印奈林 コンパクト クト:国人印中奈林 カンパクト Nonreakt (アンクランド (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)

4	録音が¥ の再生だ が再生す	冬了すると、「発音比較中」。 が行われます。まず、模範音 されます。	のメッセー が再生され	-ジ表示とともに、自 1、その後に録音した	目動的に録 と自分の発		Com-Pact ¹ (限る研究社 コンパクト、 dimext ¹ → Komext: 国家の研設社 コンパ ク:E級Ampekt カンパクト Kompekt コン パクト/図(の: の詰まった; (狭し場所に)密集した 2 (家・車 道具などが)むだなスペースの 点(、こちんまりした: 小さくて安い、 回文)
• 5	発音の! ます。 「いいえ ●録音し ●発音再	比較が終わると、「音声比較 らう一度聞き比べたい場合」 」を選択して 🧱 を押すと た音声は、音声比較を終了すると 生中、および録音中に 🛺 を押	を続けます には「はい 、音声比頼 こともに消去す しても発音は	か?」のメッセーミ 」を選択して 🧰 れ 交は終了し本文画面 されます。保存すること 繰り返されません。	ジが表示され を押します に戻ります はできません	n - - -	ペシックジークス compact 図の第名は、図の第名は ごのの Pact 図の第名は ごのの Pact 図の第名は コンパクト compact (1) 、 Komeekt コンパクト Kompack (1) スパクト スパクト
	盲比較かでき	ବ <i>ୁ ୦୮୦୭</i>					
英	語系	ベーシックジーニアス		ジーニアス英和		英英辞典	
<u>در</u>		英会話とっさのひとこと		茶動語クーゲット		举罚改立人	
F	·曾2	央単語ターグット センター英語会話表現		央熱語ターケット		央	ע"_ע' ע

ベーシックジーニアス compact¹

洇ens ↓Ⅲ

音声データ検索をする

ベーシックジーニアス、ジーニアス英和、英英辞典では共通の音声データをもつ単語(④ のついた見出し語)を 検索することができます。

例 題 ベーシックジーニアスから「take」の音声データを持つ見出し語を検索します		
1 を押してベーシックジーニアスの (検索方法 GF 84ページ参照)	検索画面を表示させます。	ペーシックジージス Imp スペル 」シの 波奇地奈思 」シの 成句枕奈【 」シの 例文枝奈【 」シの シ凡例 ベーシックク ジーニアス英和辞典 大修館書店 大修館書店 ② 調べたい頃句を入力してください こ入力増うと一括株本に切りきります
2 音声データ検索欄に文字入力キーを使 「take」と入力します)。画面に入力文字に されます。	もって読みを入力します(ここでは こ該当する単語が五十音順に候補表示	ペーシックションス 14m 音声データ後次(take) 「る)を 「る)を 「る)を 「る)を 「る)を 「る)を 「これをのがす 「これをのがす 「これをってが、テイク/の: 「手を置く」「触れる」がの再読」 「手を置く」「触れる」がの再読」 「一手を置く」「触れる」がの再読」 「一手を置く」「触れる」で取る →2 → aカずくで取る → Dつかまえる →3獲得する →4選ぶ →5受
 3 ▲/♥でカーソルを移動させ、調べ 「takeaway」を選択します)。 を押して、本文画面を表示させます 	べたい単語を選択します(ここでは 。	<u>ペーシックジーーア入 takeoway しう mo</u> take•a•way /télkawéi テイカウェイ/& (英・豪)距極=→takeout.

検索した語の本文画面に参照ジャンプする 例文検索結果画面や生物事典の図版検索結果画面で 📳 にジャンプすると、検索した語のコンテンツ本文画面にジャ ンプすることができます。 辞典本文画面に参照ジャンプできるコンテンツ-ベーシックジーニアス ジーニアス英和 和英辞典 英英辞典 生物事典 ジーニアス英和で「effect」の例文検索から辞典本文画面に参照ジャンプします 例 題 S m ジーニアス英和 adverse 87ページ手順3の本文画面にある 🗐 の横の 📥 を反転させます。 have an ~【adverse】 effect on … …に逆効果をもたらす. ■目 have an ~【adverse】 …に逆効果をもたらす. ▲圓 ジーニアス英和 adverse S III ▲が反転されている状態で 🔤 を押すと、「adverse」の本文画面にジャン プレます。 (参照ジャンプを実行する (3) 164 ページ参照) ad·verse /ædvá:rs, --|--/係 ■[通例限定](正式) ●手順2の後 🚾 を押すと、全面表示されます。続けて 🚾 を押すと 例文》が表示され、検 (人が)[…することに]反対する[to doing];(態度・意見などが)[…に]反対 の[to],(ひどい)敵意に満ちた 索した例文を確認することができます。

どが)逆方向の, (天候が)不都合

vy

明鏡国語辞典を使う

意味を調べるだけでなく、類語検索や日本語テストをすることができます。

日本語の読みを入力し、語義を調べる



明鏡国語辞典を使う

類語を調べる

例 題 「いきさつ」の類語を調べます	
1 明鏡国語辞典の検索画面を表示させます。 *** でカーソルを類語に移動させます。	
2 類語入力欄に読みを入力します(ここでは「いきさつ」と入力します)。 画面に入力文字に該当する語句が五十音順に表示されます。 ●収録されていない語句を入力した場合は、その語句に一番近いものから五十音順に表示されま す。	明治回路経理
 3 でカーソルを移動させ、調べたい語句を選択します(ここでは「いきさつ」を選択します)。 ●本文画面上の ▲を選択すると、参照見出しへのジャンプができます。 (参照ジャンプを実行する 164ページ参照) 	明治回路務集員 ●修動(いどう) 十週 小温程 小温程 小元取() -経緯、一回路、一過程、一軌 床、小瓶は、一気服、一級強、 全通、 会元 由、全部(行意)、小瓶は、一型一、み細 は、小瓶、小瓶は、一型一、み細 に、小瓶は、一型し、み 小面は、一型し、一面 い面は、一型し、一面 い面は、一型し、一面 い面は、一型し、一型 いこし、一型 いこし、一型 いこし、一型 いこし、一型 いこし、一型 いこし、一型 いこし、一型 、一型 いこし、一型 いこし、一型 いこし、一型 いこし、一型 いた、一型 いこし、一型 いこし、一型 いたし、一型 いたし、一型 いこし、一型 いたし、一型

日本語テストをする

日本 1	 語の意味・表記・語法について二者択一問題のテストをすることができます(明鏡国語辞典の検索画面を表示させます。 	全120問)。
2	▼ ✓ ▲ で項目を選んで 🧰 を押します。	 びは目前発生 □ 「読む別」 1-1 ペは担約 ま現として適当なものを、A、Bから選んで答えなざい。
3	選択した項目の本文画面を表示します(ここでは「1 表現1 1-10」を 選択します)。 本文画面で 20 を押すと、解答が表示されます。 ●解答とともに、明鏡国語辞典の参照項目が表示されます。参照する場合は 30 を押すと参照 項目が表示されます。参照画面で 30 を押すと、解答表示画面に戻ります。	1/10日 回 1/10 日 回 1/10 日 回 (出題) 表現として適当なものを、A.Bから選んで 答えなさい。 A 歌わさせていただきます。 B 歌わせていただきます。 (解答) B (雪爾) させていただく) ③: (課決定) キーで次の問題を表示します
4	 ●日本語テストでは本文画面の設定を行うことができます。 ●日本語テストでは本文画面の設定を行うことができます。 検索画面で「□>設定」を選択します。 ● を押し、設定画面を表示します。 (学習設定の方法 IP 103 ページ参照) 	

辞書系コンテンツを使う

スーパー大辞林を使う

語句の意味を調べるだけではなく、慣用句やことわざを検索することもできます。

日本語の読みを入力し、語義を調べる



→(句)綺羅(きら)を磨(みが)・

語句の語尾につく文字を入力し、逆引き検索する

例 題 「あし」を入力し、「あまあし【雨脚・雨足】」を検索します	
↑ 大辞林の検索画面を表示させます。 ▼ でカーソルを逆引き入力欄に移動させます。	このに大統社 回回 読み 100 回辺語 100 噌用句 100 哈島 100 マ凡例 スーパー大辞林 逆引きスーパー大辞林 三省室 (*) いかい目で一括依素に切り着ります 三省室
 読みを入力します(ここでは「あし」と入力します)。 語尾に入力文字がつく語句が五十音順に候補表示されます。 収録されていない語句を入力した場合は、「見出し語にありません」というメッセージが表示されます。 	ころを支援は 1/1000 取得後 (あし あげあし【湯(げ)足・挙(げ)足・上(げ)足】 あし【2-期) あし【2-期) (あしし) あしし(第三) (あし) あしし(第三) (あし) あしし(第三) (市) あしる(1000) (市) あるし(1000) (市) (市) (市) (市) (市) (市) (市) (市) (市) (市) (本) (市) (本)
 3 ○/ ▲ でカーソルを移動させ、調べたい語句を選択します(ここでは「あまあし【雨脚・雨足】」を選択します)。 ● た押して、本文画面を表示させます。 ● 読み入力欄からでもアスタリスクを使って逆引き検索をすることができます。 (ワイルドカードサーチ機能を使う ご 180ページ参照) 	スーパー大経44 家まあし(面明・雨足) 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10

辞書系コンテンツを使う

スーパー大辞林を使う

語句を入力し、その語句を含む慣用句やことわざを調べる

例 題 「ねこ(猫)」を含む慣用句やことわざを調べます	
1 大辞林の検索画面を表示させます。 ♥ でカーソルを慣用句入力欄に移動させます。	スーパーズ総社 Image: Constraint of the second seco
 2 読みを入力します (ここでは「ねこ」と入力します)。画面に入力文字を含む 慣用句やことわざが候補表示されます。 ●動詞を入力する場合は、終止形で入力してください(例:借りて⇒借りる)。 ●該当する慣用句がない場合は、「一致する慣用句がありません」というメッセージが表示されます。 	2
 3 ご語句を結んで入力します(ここでは「&ねずみ」と入力します)。 ●複数の語句を「&」で結んで入力すると、入力した語句をすべて含む慣用句やことわざを検索することができます(慣用句検索では、かつたます。その他の大辞林検索では入力できません。 	2→パー大辞林 回 相用句【22とわずみ 】 鳴く猫(b=)は鼠(bすみ)を捕(と)らめ 鳴く猫(b=)は鼠(bすみ)を捕(と)らめ
 ●該当する慣用句がない場合は、「一致する慣用句がありません」というメッセージが表示されます。 	「与く加(Q_1(d)風(Q)が)を捕(D)のQ よくしゃべる者はかえって実行をしない ことのたとえ。

辞書系コンテンツを使う

▼/▲ でカーソルを移動させ、調べたい慣用句を選択します(ここでは 「鳴く猫(ねこ)は鼠(ねずみ)を捕(と)らぬ」を選択します)。
● を押して、慣用句の本文画面を表示させます。 2.一人一大経は「急く道信ごは原信すらをいご 回 鳴く酒ねこは見信すると描(と)らぬ よくしゃべる者はかえって実行をしない ことのたとえ。

は、メールが写しであることは分からな

スーパー大辞林を使う

略語を入力し、正式名称とその意味を調べる

「bcc」の正式名称を調べます 例題 スーパー大辞杯 大辞林の検索画面を表示させます。 💎 でカーソルを略語入力欄に移動させ 読み 逆引き ます。 偕用句 略語 ⇒月例 スーパー大辞林 逆引きスーパー大辞林 三省堂 :②: 調べたい語句を入力してください [入力切替]で一括検索に切り替ります スーパー大辞杯 **↑↓**⊞ 略語を入力します(ここでは「bcc」と入力します)。 略語 (bcc bcc[blind carbon copy] 画面に入力文字に該当する略語が候補表示されます。 BCD[binary-coded decimal notion] C.G.[(フランス)vaccin bilié de Calmett⊅ ●収録されていない単語を入力した場合は、その単語に一番近いものからアルファベット順に表 BCL[broadcasting listeners] BCM[business continuity management] 示されます。 BCN[Barcelona] BCR[bar_code_reader] boe [blind carbon copy] 電子メールソフト機能の一。メールの写し を特定の第三者に送付する機能。受取人

スーパー大辞林を使う

● ◆ / ▲ でカーソルを移動させ、調べたい略語を選択します(ここでは[bcc [blind carbon copy]」を選択します)。

を押して、本文画面を表示させます。

JUNIE XAREA Archibild action copy」 し3 ■ boc [blind action copy] モンールンフト機能の一、メールの写し を特定の第三者に送付する機能、受取人 は、メールが写してあることは分からな い、 ▲∞
音訓読み、部首画数、総画数からの検索はもちろん、漢字を構成する部品の読みや名前に使われる読みからの検索 もでき、本文画面からは筆順を表示することもできます。

漢字や熟語の読みを入力し、意味を調べる



音訓読みを入力し、漢字を調べる	
7 漢字源の検索画面を表示させます。 ♥ でカーソルを音訓入力欄に移動させます。	202723 3000 30
 読みを入力します(ここでは「すすめる」と入力します)。 画面に入力文字に該当する親字が候補表示されます。 複数の音訓読みを「&」で結んで入力すると、入力した音訓読みをすべて持つ親字を検索することができます。 収録されていない読みを入力した場合は、「一致する親字がありません」というメッセージが表示されます。 	大田の 大田の 1 1
3 ♡/▲ でカーソルを移動させ、調べたい漢字を選択します(ここでは「薦」を選択します)。 ★ を押すと、選択した親字の本文画面が表示されます。	X # 2/3 (備) センチすめる・しく・しなり 間回 ↓ # # # # # # # # # # # # # # # # # #

73

漢字源を使う

名前に使われる漢字を調べる

例 題 名付け読み「すすむ」に当たる漢字を調べます	
 ヹ字源の検索画面を表示させます。 でカーソルを名付け入力欄に移動させます。 	
2 読みを入力します(ここでは「すすむ」と入力します)。画面に入力文字に該当する親字が候補表示されます。 ●該当する親字がない場合は、「─致する親字がありません」というメッセージが表示されます。	法律法 1/1000 音調読み[1 第品読み[1 第二の・カウェキロ・ク・キョウ・オーウ・オーウ・オーウ・マンロン 第二の・カウ・キョウ・オーウ・オーウ・オーウ・オーウ・オーウ・マンロ 第二の・カウ・キョウ・オーウ・オーウ・オーウ・オーウ・オーウ・オーウ・オーウ・オーウ・オーウ・オー
3 ◎/▲ でカーソルを移動させ、調べたい親字を選択します(ここでは「亨」 を選択します)。 を押して、本文画面を表示させます。	

辞書系コンテンツを使う

部品名を入力し、漢字を調べる

部品とは、漢字を構成している各々の部分を指します。例えば、「親」という字は「立」「木」「見」のように三つ の部品から成り立っています。



液化し、水滴となって、物の表面に付着し

▶はかないもの。また、うるおいや恩恵にた

たもの。

部首画数を人力し、漢字を調べる	
 例 題 「笹 (ささ)」を部首画数から調べます(「笹」の部首は「竹かんむり」で 漢字源の検索画面を表示させます。 ♡ でカーソルを部首画数入力欄に移動させます。 	
 2 画数を入力します(ここでは (→) < 数字の6>を入力します)。 6 画の部首が候補表示されます。 ●画数を入力し直す場合は、 (●) を押してください。 (>) (>) (<) (<) (>) でカーソルを移動させ、調べたい部首を選択します(ここでは「竹」を選択します)。 (ご) を押して、「竹かんむり」の親字を候補表示させます。 ●部首を選び直す場合は、 (●) を押してください。 	法 (1)
▶ ● /▲ でカーソルを移動させ、調べたい漢字を選択します(ここでは「笹」	送答応 (単) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注

5

を選択します)。



辞書系コンテンツを使う

を押して、本文画面を表示させます。



総画数を入力し、漢字を調べる

 例 題
 「育」を総画数から調べます(「育」の総画数は「8」です)

 1
 漢字源の検索画面を表示させます。

 2
 総画数を入力します(ここでは ●

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 ※

 <

●総画数を入力し直す場合は、 2000 または 🛤 を押してください。



▼/▲ でカーソルを移動させ、調べたい漢字を選択します(ここでは「育」
 を選択します)。



洋子源【育】イク・そだつ・そだてる・やり 盟・団 🛛 🖬
鄙育
国 F-1075 U 3009 (S 6067 (U 6062 ((音))イク 局間 (入)屋(yù)
(<u>(意))</u> そだ・つ、そだ・てる、やしなう、そだち
すけ、なり、なる、やす
蘆味 (イクす){動・名}そだてる(そだつ)、そだ
つ。やしなう(やしなふ)。そだち。肉づきよ
く成長させる。よ/2、よく成長する。とだんろ 方、「生育」「育才」「五穀孰而民人育=五穀

■ 素早い漢字検索

を押して、本文画面を表示させます。

▲ / (水) でカーソルを移動させて音訓読み、部品読み、名付け、部首画数、総画数の条件を複数同時に入力する ことができます。情報が多ければ多いほど検索対象が絞られ、更に効率的に検索することができます。例えば75ページで調べた「笹」の場合、部品読み「よ(世)」の候補を表示させた後、 (水) を押して部首画数「6」を入力し「竹かんむり」を選択すれば、検索結果第1 画面に「笹」が表示されます。

熟語を表示する

本文画面右上に 圏 が表示されている場合は、表示中の親字を含む熟語を表示させることができます。 72ページで調べた「すすめる(薦める)」の本文画面を例に説明します(以下78ページまで)。

本文画面の表示中に 🥮 を2回押すと、熟語が候補表示されます。 (関連語句を調べる 🕼 166ページ参照)

2 ◎/◎ でカーソルを移動させ、熟語を選択して me を押すと、熟語の読みと意味が表示されます(ここでは「薦引」を選択します)。

25:30 (#33:42772) ■ 「「「「「」」 (センイン) 人材をえらんでひきたてること。

文字を拡大表示する

本文画面の表示中に 깯 🎡 を押すと、親字が拡大表示されます。

♥/●/●で拡大表示したい文字にカーソルを移動させて選択すると、
 1 文字ずつ拡大表示できます。再度 愛 を押すと、もとの表示サイズに戻ります。
 ●記号や文字コードなどは選択できません。



漢字の筆順を表示する

☞ を押すと本文画面に戻ります。

●親字の横に 🧊 が表示されていない場合は、筆順を表示することはできません。

- 1 文字ずつの拡大表示をしている画面からは筆順表示画面に切り替えることはできません。
- ●筆順表示画面では筆順を表示しますが、画数通りには表示されない場合もあります。
- ●漢字源に掲載されている常用漢字 1,945 字と人名漢字 285 字の筆順を表示することができます。



古語辞典を使う

古典で用いられる言葉の意味を検索することができます。 見出し語により関連語句や解説を表示させることができます。

古語の読みを入力し、語義を調べる



四字熟語辞典を使う

一般的に使われる四字熟語について意味、用例、類句などを調べることができます。

四字熟語の読みを入力し、意味を調べる

例	題「合縁奇縁(あいえんきえん)」の意味を調べます	
1	メニュー画面から国語系→四字熟語を選んで、四字熟語辞典の検索画面を表示 させます。 (メニュー画面からコンテンツを選ぶ ☞ 27 ページ参照)	でする 使用シーン/内容から廃す やのの のの のの のの して のの のの して のの のの して のの して のの のの して のの のの のの のの のの ののの の
2	読み入力欄に熟語の読みを入力します(ここでは「あいえんきえん」と入力します)。 画面に入力文字に該当する熟語が五十音順に候補表示されます。 (文字を入力するで32ページ参照) ●収録されていない熟語を入力した場合は、その熟語に一番近いものから五十音順に表示されます。 す。	
3	✓ ▲ でカーソルを移動させ、調べたい熟語を選択します (ここでは「あいえんきえん【合縁奇縁】」を選択します)。 ● を押して、本文画面を表示させます。	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)

使用シーンから調べる

例題	「⇨使用シーン」から「合縁奇縁」を調べます	
1	字熟語辞典の検索画面を表示させます。 ▶ でカーソルを「⇨>使用シーン/内容から探す」に移動させます。	読み (回) 読み)の (回) (回) (回) (日) (回) (日) (回) (日) (回) (日)
2 で む 調 表 ・ 合	を押すと候補リストが表示されます。 / ● で調べたい項目を選択し 2 を押すと、さらにジャンルを絞り込 ことができます。 べたい四字熟語を選択して 2 を押すと、選択した四字熟語の本文画面が 示されます。 回画は、「使用シーン」→「結婚式」→「あいえんきえん【合縁奇縁】」の順に選択した場 です。	 四部法語 あいえんなえん(合縁奇術) □ → ■ あいえんきえん 古谷奇線〕 室園夫婦やな人関係など、人と人との巡り合わせというものは、不思議な因縁による わのであるということが合う後、「奇線」「白線」 は、不思議な話。/台線機械引用線奇線」 とも書く、 10 あんなに年小離れている彼らか結婚したのも、台湾奇線の下思議えた。 第 自会奇愛、縁は異なもの味なもの 室園別れるときにも思いだしてよいことば。 「去るというロもぼれたと言った口」

故事ことわざ辞典を使う

故事・ことわざの意味、使用例、類句のほか、意味や発想の似ている英語のことわざなども調べることができます。

語句を入力し、その語句から始まる故事・ことわざを調べる

例 題 「とら(虎)」で始まることわざの意味と用例を調べます

- メニュー画面から国語系→故事ことわざを選んで、故事ことわざ辞典の検索画 面を表示させます。
- (メニュー画面からコンテンツを選ぶ 🕞 27ページ参照)

- 読み入力欄に読みを入力します(ここでは「とら」と入力します)。 画面に入力文字からはじまることわざが五十音順に候補表示されます。
 - (文字を入力する 🕞 32 ページ参照)
- ●収録されていない語句を入力した場合は、その語句に一番近いものから五十音順に表示されます。



故事ことわざ辞典を使う

3 ○/○ でカーソルを移動させ、調べたいことわざを選択します(ここでは 「とらのいをかるきつね【虎の威を藉る狐】」を選択します)。 ● を押して、本文画面を表示させます。



使用シーンからことわざを検索することができます。操作方法は「四字熟語辞典」の場合と同じです。 (使用シーンから調べる (1) ページ参照)

ベーシックジーニアス英和辞典とジーニアス英和辞典を使う

英単語や英語例文を調べることができます(ここではジーニアス英和を例として説明します)。

英単語を入力し、和訳を調べる



英単語を入力し、音声データ検索をする

入力した単語に共通する発音をもつ見出し語を検索することができます。 (音声データ検索をする (2) 61 ページ参照)



入力した英単語を含む成句を調べる

英語の成句(熟語)を調べたい時は、複数の英単語を 💏 で結びながら入力するだけで候補をしぼり込んで検索する ことができます。

例	題 「take」と「care」を使った成句を調べます	
1	ジーニアス英和の検索画面を表示させます。 👽 でカーソルを成句検索に移	ジーニアス英 スペル 音 声データ検
	動させます。	成句検索



ベーシックジーニアス英和辞典とジーニアス英和辞典を使う

- 7~-7 7^{*}& 単語を入力します(ここでは「take」 「care」と入力します)。 画面に 入力した単語をすべて含む成句(熟語)が候補表示されます。 7~-7 ●複数の単語を入力する場合は、単語の後に 🤧 を押して「&」を入力してから次の単語を入
 - 力してください。入力した単語をすべて含む成句が表示されます(成句検索では ?*
 を押す と「&」が入力されます)。
 - [&| は成句検索では入力できますが、スペル入力検索では入力できません。
 - ●該当する成句がない場合は「一致する成句がありません」というメッヤージが表示されます。

- 「ーニアス英和」 成句検索 (take&eare m ike cáre ke cáre of O àke cáre to do [(that) …] tàke cáre of 0 case vale UI 0 (1) …の世話をする,面倒を見る,…を介 護する (例文)
- ジーニアス英和 tàke cáre of 0 ● /▲ でカーソルを移動させ、調べたい成句を選択します(ここでは tàke cáre of 0 …の世話をする,面倒を見る,…を介 護する ・・・に気を配る、・・・を大事にする (3) (略式)…を責任もって引き受ける ●本文画面上に (例文) 解説) がある場合は、例文・解説を表示させることができます。 (4) (略式)…を処理する.さばく(deal) with). (俗)…を始末する,殺す. 〈薬などが〉〈病気〉にきく、 館設

入力した英単語を含む例文を調べる

「take care of O」を選択します)。

(例文·解説・コラムの表示 (*** 5) ページ参照)

「effect」を入力し、例文を調べます 頴

📟 を押して、成句の本文画面を表示させます。

ジーニアス英和の検索画面を表示させます。 💎 でカーソルを例文検索に移 動させます。



ベーシックジーニアス英和辞典とジーニアス英和辞典を使う

2 英単語を入力します(ここでは「effect」と入力します)。画面に入力した単 語を含む例文がデータ上で検索ヒットした順に候補表示されます。

「have an ~【adverse】effect on...」を選択します)。

を押して、例文の和訳を表示させます。

(検索した語の本文画面に参照ジャンプする 12 62ページ参照)

●複数の単語を「&」で結んで入力すると、入力した単語をすべて含む例文を検索することがで きます。

● /▲ でカーソルを移動させ、調べたい例文を選択します(ここでは

▶ 👧 を押し「&」で複数の単語を結んで入力すると、候補を絞り込んで検索することができ

●本文画面上に 📳 がある場合は、検索した例文の辞典本文画面にジャンプすることができます。

●該当する例文がない場合は「一致する例文がありません」というメッセージが表示されます。



ジーニアス英和 adverse	III
have an ~【adverse】 effect on … …に逆効果をもたらす. ▲圓	

辞書系コンテンツを使う

見出し語の発音を確認する

ます。

本文画面上に ④ が表示されている場合は、見出し語の発音(ネイティブ発音)を確認することができます。 (発音を確認する CP 54ページ参照)



発音を録音し聞き比べる

自分の発音を録音して収録されている模範発音と聞き比べることができます。

(発音を録音し聞き比べる (3 59 ページ参照)

ジーニアス英和 understand	回		¥III
un-der·stand /Andarstéend/	(CE		
- 【『アクセント注意】[「下に(un	der)፤	につ	
(stand)」→「ものについて深・	くはっ	っきり	レー
た知識をもつ」〕 圖understand	ling(;	名)	
「②: 録音中… [訳:決定]で録音終了します [戻る]でキャンセルします	(Ë,	
 [SV0] 〈人が〉〈人・事・物〉を ている],…の意味・気持・「 どがわかる: [SV0('s) doi 〈人〉が…するのがわかる 〈人が…かを理解してい〉 	理解・ 理質・ [SV ス(岡	する[扱いア \が)C wh節	しない

和英辞典を使う

日本語を入力し、英訳を調べることができます。また英語を入力し、本文中に掲載している英語の例文を検索する ことができます。

日本語の読みを入力し、英訳を調べる



和英辞典を使う

入力した英単語を含む例文を調べる 例 題 「touch」を入力し、例文を調べます		
 2 英単語を入力します(ここでは「touch」と入力します)。 画面に入力単語を含む例文がデータ上で検索ヒットした順に候補表示されます。 ●収録されていない単語を入力した場合は「一致する例文がありません検索条件を変えるかさらに条件を入力してください」のメッセージが表示されます。 	ジーニアス和英 例文 花菜 (touch touch one's hand to one's head That board is rough to the touch. =Thab This towel is harsh to the touch. =Thab to roblem is how to set in touch withe That board is rough to the touch. =Thab is rel a touch of uneasiness. 北日 - 林の不安を感じた。 He felt a touch of uneasiness. 本種	
 3 でカーソルを移動させ、調べたい例文を選択します(ここでは「He felt a touch of uneasiness.」を選択します)。 を押して、選択した例文とその和訳を表示させます。 を押し「&」で複数の単語を結んで入力すると、候補を絞り込んで検索することができます。	ジーランス但反 <u>1 いちまっ(の)(一祖の))</u> 彼は一株の不安を感じた He falt a touch of uneasiness. ▲ 圓	

(検索した語の本文画面に参照ジャンプする 🖙 62ページ参照)

辞書系コンテンツを使う

英英辞典を使う

英語を入力し、その意味を英語で調べることができます。また英語の成句、例文を検索することができます。 英単語を入力し、語義を調べる



英単語を入力し、音声データ検索をする

入力した単語に共通する発音をもつ見出し語を検索することができます。 (音声データ検索をする (3) 61 ページ参照)



入力した英単語を含む成句を調べる

英語の成句(熟語)を調べたい時は、複数の英単語を 💏 で結びながら入力するだけで候補をしぼり込んで検索す ることができます。

)例 題 「hold」と「on」を使った成句または句動詞を調べます	t)
7 英英辞典の検索画面を表示させます。 ▼ でカーソルを成句検索に移動ます。	オックスフォード英英 スペル 音データ検索 「シー 耐女検索 「シー の文検索 ムDVANCED LEARNERS LEARNERS Dictionary 7th edition のOxford LEARNERS Dictionary 7th edition のOxford University Press 2005 ② 調べたい感情のにしたりででをます
 単語を入力します(ここでは「hold」 「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」	ゴに入 オックス・学英英 たる句表示(hold&on) hold con hold con hold con (to sth/sb) hold onto sth/sb ▷ hold on (to sth/hold onto sth/sb) hold on (to sth/sb) hold onto sth/sb ▷ hold on (to sth/sb) hold on (to sth/sb ▷ hold on (to sth/sb) hold on (to sth/sb ▷ hold on (to sth/sb) hold on (to sth/sb ▷ hold on (to

辞書系コンテン

ツを使う

- ● / でカーソルを移動させ、調べたい成句を選択します(ここでは 「hold on」を選択します)。
 - 📰 を押して、本文画面を表示させます。
 - ●本文画面上に EXAMPLE》がある場合は、例文を表示させることができます。 (例文・解説・コラムの表示 C→ 51 ページ参照)

入力した英単語を含む例文を調べる

- 2 英単語を入力します(ここでは「home」を入力します)。 画面に入力した単語を使った例文が、データ上で検索ヒットした順に候補表示 されます。
 - 1 を押し「&」で複数の単語を結んで入力すると、候補を絞り込んで検索することができます。
 - ●収録されていない単語を入力した場合は、「一致する例文がありません」というメッセージが 表示されます。







英英辞典を使う



▶ を押して、例文の全文を表示させます。

●本文画面上に ■ がある場合は、検索した例文の辞典本文画面にジャンプすることができます。 (検索した語の本文画面に参照ジャンプする (*** 62ページ参照)

■見出し語の発音を確認する



オックスフォード英英 photograph 本文画面上に 🛞 が表示されている場合は、見出し語の発音(ネイティブ発 photo-graph D= /'fautagra:f353 NAmF 音)を確認することができます。 (発音を確認する (**** 54 ページ参照) ●候補リスト上に▶のついた派生語の本文画面を表示させた場合は、派生元の単語が発音されます(例 えば「photograph」の派生語である「photographically」の本文画面を表示させた場合は派生元 の「photograph」が発音されます)。その場合は派生元の単語の で派生語を選択

して発音を確認することができます。

Filoto Bidgi en i lococol col page, initiali
'foutagræf€A∕
noun, verb
noun (also photo)
a picture that is made by using a
camera that has a film sensitive to
light inside it:
EXAMPLE
HER The usual phrase in NAmE is
take pictures.
verb
1 to take a photograph of sb/sth:
EXAMPLE>

▶?S ₩Ш

発音を録音し聞き比べる

自分の発音を録音して収録されている模範発音と聞き比べることができます。 (発音を録音し聞き比べる (※) 59ページ参照)



英会話とっさのひとこと辞典を使う

観光やビジネス、長期滞在時などで役立つ会話例を調べることができます。

また会話例文の発音を聞くことができます。

日本語の読みを入力し、入力した語句を含む会話文を調べる



辞書系コンテンツを使う

英会話とっさのひとこと辞典を使う

英単語を入力し、会話文を調べる

例 題 「fill」を入力し、入力した単語を含む会話文を調べます	
英会話とっさのひとことの検索画面を表示させ、 でカーソルをスペル入力 欄に移動させます。	
 2 英単語を入力します (ここでは「fill」を入力します)。画面に入力した単語を含む例文がデータ上で検索ヒットした順に候補表示されます。 ●複数の単語を「&」で結んで入力すると、入力した単語をすべて含む例文を検索することができます。 ●該当する例文がない場合は、「一致する例文がありません」というメッセージが表示されます。 	<u> 英会議によるのなとき</u> <u> まない</u> <u> ない</u> <u> に</u> ば ば ば に い し の た い た の た た
3 ◎/◎ でカーソルを移動させ、例文を選択します(ここでは「Could you fill out this form?」を選択します)。 ● を押して、本文を表示させます。	交会話な 2002と E の書類に記入してく ■ この書類に記入してください。 年Gould you, fill out this form? *fill outは[(余白などに)書き込むしこ と,formは「書き込み用紙」。 ◆Please fill out this form.

場面別検索を使って会話文を検索する

例 題 「第6章 海外旅行でつかうひとこと」から例文を検索します	
1 英会話とっさのひとことの検索画面を表示させ、 ♥ でカーソルを場面別検 索に移動させます。	
 2 を押すと、リストが表示されます。 ◇ / ◇ で調べたい章を選択し、 を押すと、さらに詳しい項目リストが表示されます。 同じように項目を選択し、項目に含まれる例文を表示させます。 ●右の画面は、「第6章 海外旅行でつかうひとこと」→「街を歩くとき」→「道をたずねる」を選択して会話文のリストを表示させた画面です。 	並会話なたろのひとと 場面別検索 習属度とこですか。 すみません、道に迷いました。 こしばのという通りですか。 ここは何という通りですか。 このあたりに範拠層はありますか。 サクラホテルにはどうやって行くのですや ひとつめの信号のところで石に曲がってや 靴屋はどこですか。 ≪ Where is the shoe store? ▶Where is the shoe store? ▶Where is the shoe store?(靴屋さんはど こですか?)
 3	 ◆会話とたのひとと 靴屋はどこですか。 ・● 秋屋はどこですか。 ・● 秋冊中下 is the shoe store? やWhere is the shoe store? やWhere is the shoe store? ・● がらってすか? •Go straight for two blocks. (まっすぐ2 プロック行ってくださし) ◆How do I get to the shoe store?

見出し語の発音を確認する

本文画面上に ④ が表示されている場合は、見出し語の発音(ネイティブ発音)を確認することができます。 (発音を確認する GP 54 ページ参照)



発音を録音し聞き比べる

自分の発音を録音して収録されている模範発音と聞き比べることができます。 (発音を録音し聞き比べる (3) 59ページ参照)

英会話とうちのひとと どのレストランがお ⑧ どのレストランがおすすめですか。 GWWhich restaurant do you recommend?	
※ 録音中… [扱:決定]で録音終了します [戻る]でキャンセルします)

学習コンテンツに共通する基本の操作

ツリー形式リスト - 項目の選択方法

学習コンテンツでは、学習・テストする項目をツリー形式のリストから選択します(ここでは、英単語ターゲットの学習画面を例に説明します)。



▲/ ♥ でカーソルを移動させ、項目「1-50」を選択します。 を押すと、 本文画面が表示されます。



ツリー形式リスト 🖃 🗔 についての説明

項目の頭に 田 が表示されている場合は、さらに小分類の項目があることを示しています。

 ● が表示されている項目を選択して
 ● または
 ● を押すと、小分類項目のリスト

 を表示することができます。
 ● または
 ④ を押すと、小分類項目のリストを表示さ
 せる前の状態に戻ります。
 ● が表示されている場合は、その項目には、それ以上表
 示できる小分類項目がないことを示しています。





しんちょく

リスト上に進捗の記録が表示されます。

すでに学習(テスト)し終えた項目は、項目の頭にあるボックスが黒く塗りつぶされ て表示されます。途中まで学習(テスト)した項目は、ボックスが灰色に塗りつぶさ れて表示されます。

学習の進捗が記録されるコンテンツについては、リスト上で、すでに学習し終えた項目を選択した場合、「もう一度学習しますか?」とメッセージが表示されます。 ✓ ✓ ○ で「はい」か「いいえ」を選択して 2000 を押します。また途中まで学習した項目を選択した場合には、「最初から学習しますか?」とメッセージが表示されますので、この場合にも「はい」か「いいえ」を選択して 2000 を押します。

テストの場合は、途中までテストした項目を選択した場合、「最初からテストします か?」とメッセージが表示されます。 《 / 》で「はい」か「いいえ」を選択して を押します。最後までテストした項目を選択した場合には、「この単元はテスト済みで す」とメッセージが表示されます。 《 / 》で「再テストする」か「不正解の問題をテ ストする」のどちらかを選択して





学習系コンテ

シ

シ

を使う

学習コンテンツに共通する基本の操作

チェックボックス

本文画面の見出しの頭にチェックボックスが設けられている学習コンテンツでは、覚えた単語や、見直したい項目 などにチェックを入れておくことができます。 🛑 を押すと、 🔽 チェックボックスにチェックを入れることができます。再度 英単語ターゲット 1/50 1/50 Ksucceed [səksí:d] €€(1) 成功する:跡を継ぐ を押すと、チェックマークを解除することができます。 ▶ succeed in doing ~するのに成功する ▶succeed to... ~を継ぐ 世界史年代暗記、日本史年代暗記、公式集では、リスト表示画面の項目名の頭にも ■success[səksés]醫成功 ■succéssion醫連続:後継 ▶in succession 続けざまに チェックを入れることができます。 succéssful開成功した -successive 関連続した ●学習設定画面で、チェックマークをまとめて解除することもできます。 ¶ Teamwork is very important to succeed in business in Japan. 🕷 (学習設定の方法 (デ 103ページ参照) チームワークは日本でのビジネスで成功 世界史年代暗記 ●チェックマークを入れた単語は、学習設定画面で表示・非表示の設定を行うことができます。 1. ボビナスお香葉ケ仕106 G前 770年 七難【レちなん】を避けて周は東遷 (学習設定の方法 (3 105 ページ参照) 口前 525年 いつにご苦心ベルシア王 反前 509年頃 これ。苦したな共和政

ロ前 480年 弱まるペルシア、サラミス海

口前 431年 口前 403年 口前 330年

口前 264年

ロ前 221年 20前 202年 20前 60年 27年 25年 要塞まもれアテネ人 弱みある晋分裂し韓親趙【かんぎちょう】

さーさおしまいペルシア国

品のようルションローマ量 夫婦いっしょに新(秦)所帯 市令[ふれ」]に示して国を建て ロクでなし三頭政治成立す 船出する帝政開始ローマ国

☑ 25年 不合理ただす光武帝 □ 220年 夫婦お別れ達越ぶ

テスト結果グラフ表示

英単語(英熟語)ターゲット、英単語(英熟語)ターゲットBRUSH - UP、英単語(英熟語) ターゲットディクテー ションでは、テストの正解率をグラフで表示することができます。 英単語ターゲット 正解率(%) 100 検索画面から、 ▼/▲ でカーソルを移動させ、「⇔ テスト結果」を選択します。 基本単語 800 を押すと、テスト結果画面が表示されます。各単元の正解率がグラフで表示され 重要単語 ます。 700 ●単元の最後までテストしていない場合も、テスト結果が表示されます。 難単語 400 ●テスト結果は、学習設定画面で削除することができます。 単語テスト 例文テスト ==== (学習設定の方法 🕞 104 ページ参照)

102

古文単語・熟語 読み 【 ⇔学習

学習設定

学習設定の方法

学習コンテンツでは、設定画面で学習・テスト画面の表示方法や順序を設定することができます(ここでは、古文 単語・熟語の学習設定画面を例に説明します)。

白乂鬣鼯			
b _	Hwk A	ΛΛ	
X-	77114		
		吐又怕	
②[♥][♥][♥]キー 学習設定をしる	で字習万法を進び: ミす	ます	
古文単語・孰語		m	
表示方法:			
意味隠し	単語隠し	すべて	
表示順:			
単語順	ランダム		
チェック済み:			
表示する	表示しない		
チェック解除			
記録判除			
設定終了			
·②:表示順を設定し	/ます の恋事 アイギオ		
[@][@] ? =	CRAVINE!		

3 ◎/▲ で「設定終了」を選び 2 を押すと、設定した内容が保存・反映されます。



設定終了:設定内容を保存します

学習コンテンツに共通する基本の操作

🎼 設定項目とその内容

以下を参考に項目を選んで設定してください。検索モードによって設定する項目は異なります。

表示方法	学習画面での単語の表示方法を選択します。	
意味隠し	単語の意味・解説部分を隠して表示します。	
単語隠し	意味・解説部分は表示し、単語を隠して表示します。	
すべて	単語・意味・解説のすべてを表示します。初期設定では「すべて」に設定されています。	
表示順	単語の表示順、テストの出題順を選択します。	
単語(目次)順	コンテンツに収録されている順番に表示します。初期設定では「単語順」に設定されています。	
ランダム	単語や問題の順序を入れ替えて表示します。	
チェック済み	チェックマーク(🖸)を入れた単語の表示を選択します。	
表示する	チェック済み単語を含むすべての単語を表示します。初期設定では「表示する」に設定されています。	
表示しない	チェック済み単語を表示しません。	
チェック済み単語の	チェックマーク(🖸)を入れたすべての単語からまとめてチェックマークを外します。	
チェック解除		
記録削除	学習の進捗記録、テストの記録を削除します。学習進捗の記録あるいはテストの記録が表示さ	
	れる学習コンテンツで設定できます。	
■表示方法の設定		
冬コンテンルでい下のようたま一方法を設定することができます		

各コンテンツで以下のような表示方法を設定することができます

単語/意味の表示設定	英単語・英熟語ターゲット	英検 PASS 単熟語(3 級・2 級)
	古文単語·熟語	
年号の表示設定	世界史年代暗記	日本史年代暗記
公式/キーワードの表示設定	公式集	

学習コンテンツに共通する基本の操作

表示内容で「意味隠し」を選択した場合 古文単語·熟語 1/18 本文画面を表示させると、単語の意味が隠されて表示されます。 □うし【憂し】 《音味》 (古文単語・熟語を学習する (m 148 ページ参照) 《初文》 ¶[うし]と見し世ぞ今は恋しき ▼ を押すと、意味が表示されます。 と思った時が今から思えば恋 しいものだ。) 《解説》 「心憂し」も同じ意味です。 再度 " ▼ を押すと、次の見出し語の本文画面が、意味が隠されて表示されます。 表示内容で「単語隠し」を選択した場合 古文単語·熟語 1/18 📖 本文画面を表示させると、単語が隠されて表示されます。 《意味》 (古文単語・熟語を学習する m 148 ページ参照) - Dh 《例文》 と見し世ぞ今は恋しき ▼ を押すと、単語が表示されます。 (「つらい」と思った時が今から思えば恋 次目出 しいものだ。) 《解説》 再度 ____ を押すと、次の見出し語の本文画面が、単語が隠されて表示されます。 「心憂し」も同じ意味です。

学習系コンテンツを使う

ロイヤル英文法を使う

英語の読み書きや口語英語に必要な文法や語法を調べることができます。

キーワードを入力し、目次から検索する

)例 題 🔰 「かんけい(関係)」を入力し、目次から関係代名詞の項目を調べます

メニュー画面から学習1→ロイヤル英文法を選んで、検索画面を表示させます。 (メニュー画面からコンテンツを選ぶ ☞ 27ページ参照)

目次検索欄にキーワードを入力します(ここでは「かんけい」と入力します)。 画面に入力した言葉を含む目次項目が候補表示されます。 (文字を入力する GP 32ページ参照)

●収録されていない言葉を入力した場合は、「一致する目次がありません。検索条件を変えるか、 さらに条件を入力してください」のメッセージが表示されます。



ロイヤル英文法

改訂新版

肝文社

ロイヤル英文法

⇔会話慣用表現 ⇔ロイヤル英文法=問題集∧

⇒月例



を押して、本文画面の該当箇所を表示させます。


入力した英単語を含む例文を調べる

例 題 「who」を入力し、例文を調べます	
1 ロイヤル英文法の検索画面を表示させます。 ▼ でカーソルを例文検索に移動 させます。	
 2 例文検索欄に英単語を入力します(ここでは「who」と入力します)。画面に入力した単語を使った例文が候補表示されます。 ● 複数の英単語を えっころ、入力した単語をすべて含む例文を検索することができます。 ● 収録されていない単語を入力した場合は、「一致する例文がありません」というメッセージが表示されます。 	If Y DOG X /A Who did he size it to ? Heaven helps those who help themselves. He size it is a who may reproved like a man who may very colb Who divented the steam mentine ? Who do not help that man is ? Who do not help that man is ? Who was at the door ? (FICL/FIL/X)(V=U/T_2/D)) (cf. Someone was at the door.) Which street goes to the station ?
 マノ▲ でカーソルを移動させ、調べたい例文を選択します(ここでは 「Who was at the door?」を選択します)。 	Info/D(安気(対点 第1章 文

「Who was at the door?」を選択します)。

💼 を押して、本文中の例文を表示させます。



ロイヤル英文法を使う

目次一覧から調べる



会話慣用表現を調べる

収録された例文の中から、会話慣用表現をカテゴリー別に調べることができます。



世界史事典を使う

世界史上の事柄や人物について、詳しく調べることができます。

世界史の用語を入力し、その年代や内容を検索する

例 題 「ポツダム」について調べます	
1 メニュー画面から学習1→世界史事典を選んで、検索画面を表示させます。 (メニュー画面からコンテンツを選ぶ CF 27ページ参照)	
2 読み入力欄に語句を入力します(ここでは「ぽつだむ」と入力します)。 画面に入力文字に該当する語句が五十音順に候補表示されます。 (文字を入力する ☞ 32ページ参照) ●収録されていない語句を入力した場合は、その語句に一番近いものから五十音順に表示されます。	世界史を認知
3 ◎/▲ でカーソルを移動させ、調べたい語句を選択します(ここでは「ポ ッダムかいだん【ポツダム会談】」を選択します)。 ● を押して、本文画面を表示させます。	■研究医室型:ボックムがでんびビッグム会 1000000000000000000000000000000000000

学習系コンテンツを使う

日本史事典を使う

日本史上の事柄や人物について、詳しく調べることができます。

日本史の用語を入力し、その年代や内容を検索する





世界史・日本史に登場する歴史上の人物の名前を検索することができます。

歴史上の人物を検索する(世界史・日本史共通)

例 題 「ヒッポクラテス」を検索します	
メニュー画面から学習1→人名検索を選んで、検索画面を表示させます。 (メニュー画面からコンテンツを選ぶ ☞ 27ページ参照)	<u>人名徒新</u> 読み <u>し</u> し 2 人名検索 (世界史事典・日本史事典より) で、問べたい語句を入れてください したか婚記で一様体常に知り言ります
 2 読み入力欄に人名を入力します(ここでは「ひっぽくらてす」と入力します)。 画面に入力文字に該当する人名が五十音順に候補表示されます。 (文字を入力する ご 32ページ参照) 収録されていない人名を入力した場合は、入力した人名に一番近いものから五十音順に表示されます。 	人谷谷奈 竹回 読み (ノっぼくらてす_)) と次くのラブス)) ビンランス)) ビンランス))) ビンランス)))) ジのすけとも(日野資朝)))))) ビノチェト レッパクララス(Hippokrates) 生没年不詳)
3 ● / ▲ でカーソルを移動させ、調べたい人名を選択します(ここでは 「ヒッポクラテス」を選択します)。 ■ を押して、本文画面を表示させます。	▲名袋器 E 2#27572 ■ ヒッボクラテス[[Hippokrates] 生没年不詳 前が出彩の古代ギリシアの医学者 小アジアクコース島に生まれ。各地を旅行し ながら医学を教え、臨床的連続を重んじて 合理的な医学を報えした。医学の父としや れる。しかし、その医学書や生涯には不明 な点が多し、

学習系コンテンツを使う

和歌・俳句検索を使う

和歌や俳句に含まれる単語を入力し、歌や句の意味を検索することができます。

和歌・俳句に含まれる語句を入力し、句意等を調べる

例 題 「春(はる)」を入力し、和歌を検索します	
メニュー画面から学習1→和歌・俳句検索を選んで、検索画面を表示させます。	和歌・俳句検索 読み ↓② 分類
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ 🖙 27 ページ参照)	和歌・俳句検索 (古語辞典より)
2 読み入力欄に読みを入力します(ここでは「はる」と入力します)。 「はる」の語句から始まる和歌(百人一首)・俳句・川柳などが五十音順に候補 表示されます。	
3 でカーソルを移動させ、調べたい和歌を選択します(ここでは「はるくれば…」を選択します)。 ● を押して、本文画面を表示させます。	11式で用の検索値はなくれば…(東来れば重の ■ はるくれば…個面別常来れば運体のかかるな、 り日雲にしための道行き、がして車やつてまし、 り、「カート」を注・30、月河内特徴はないなきの みっわり着か来たので低かは国へ帰ってゆ く声が間こえる。日雲の中の道を飛んでゆ くついてに彼にいの個の友にとくづてでも、 発もうか、(「なり」は、詞書に「服の声を聞 きて、したあるので広備推定と見る。まし、」 は、疑問を表す「や」と共に用いて決断しか ねる意を表す)

和歌・俳句検索を使う



生物事典を使う

生物学に関する用語を検索することができます。

生物学用語を入力し、用語の意味を調べる



生物事典を使う

図版検索をする

生物学用語を入力し、関連図版を表示することができます。

例 題 「アオサ」の図版を検索します	
1 生物事典の検索画面を表示させ、	
 2 図版検索欄に用語を入力します(ここでは「あおさ」と入力します)。 ▲ / ● でカーソルを移動させ、図版を表示したい用語を選択します(ここでは「アオサ」を選択します)。 ● 図版が掲載されている用語中、入力した用語に一番近いものから五十音順に表示されます。 	
2 を押して、本文画面を表示させます。	

● 1 が表示されている場合は、生物事典の本文画面にジャンプすることができます。 (検索した語の本文画面に参照ジャンプする C € 62 ページ参照)



公式集を使う

数学・物理の公式と有機化学・無機化学の主要な項目について学習をすることができます。

数学公式集と物理公式集を学習する



本文画面で 🔜 💽 を押すと、次の公式の本文画面が表示されます。

●数学公式集の本文画面で表示される★は、重要度を示しています。★の数が多いほど、重要な公式であることを示しています。 ●物理公式集の本文画面で表示される (A)、(B)、(C)は重要度を示しています。(A)が最も重要な公式で(B)→(C)の順となります。

無機化学のキーワードと有機化学のキーワードを学習する



(学習設定の方法 🕞 103 ページ参照)が表示されます。

学習系コンテンツを使う

辞書式配列化学反応式を使う

日本語の読みや化学式名の入力、あるいは目次から化学式の検索ができます。

読みを入力する



辞書式配列化学反応式を使う

化学式を入力する

例 題 🦳 「塩化水素 [HCl] 」を化学式から調べます	
7 辞書式化学反応式の検索画面を表示させ、	(1990)の式 Image: Constraint of the state o
2 化学式入力欄に化学式を入力します(ここでは「hcl」と入力します)。 <l< td=""><td>(任学変巧表) 画 【化学返【hel] 】 [[1][電((2)(注)]) 】 [[1][電((2)(注)]) [[1][1][1][1][1][1][1][1][1][1][1][1][1]</td></l<>	(任学変巧表) 画 【化学返【hel] 】 [[1][電((2)(注)]) 】 [[1][電((2)(注)]) [[1][1][1][1][1][1][1][1][1][1][1][1][1]
3 ▲/ ● でカーソルを移動させ、調べたい化学式を選択します(ここでは [HCI[塩化水素]]を選択します)。 ● を押して、本文画面を表示させます。	

脚注を表示する

本文画面に 脚注 が表示されているときは、本文の注釈事項を表示させることができます。



辞書式化学反応式の検索画面を表示させ、 ♥ でカーソルを 「➡ 目次」 に移 動させます。

を押すとアルファベットのリストが表示されます。 ●/ ● でカーソル
 を移動させ、調べたい化学式の頭文字を選択します (ここでは [H] を選択し
 ます)。



辞書式配列化学反応式を使う



1日29日の15日 日次 田辺5.[炭酸水素イオン] 田35.[炭酸大素イオン] 田35.[炭酸] 田7.[フッパ水素] 田7.[フッパ水素] 田1.[ヨウパ水素] 田35.[田数] 田1.[ヨウパ水素] 田55.[田55.] 田55.[H] 田



 日本
 日本
 日本

 11.01
 日本
 <td

ロイヤル英文法問題集を使う

ロイヤル英文法で学習した内容を、択一問題でテストすることができます。

章別に分類された問題を行う

1	メニュー画面から、学習2→ロイヤル英文法問題集を選んで、検索画面を表 示させます。 (メニュー画面からコンテンツを選ぶ ☞ 27 ページ参照)	
2	📰 を押すとツリー形式の項目リストが表示されます。	If (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2
3	 で項目を選んで	<u>1イマル英文決計は44</u> 1/20 ↓ □□ -1 (出版) (沈成文の文型を下の1~ V のうちから選 び、記号で答えなさい。 The space shuttle goes round the Earth once every 90 minutes. I.S+V+C I.S+V+C S: 容差を考えてください

ロイヤル英文法問題集を使う





●本文画面の設定を行うことができます。

手順1の画面で、 ♥/▲ でカーソルを移動させ「⇔設定」を選択します。

▶∞ を押し、設定画面を表示します。

(学習設定の方法 🕼 103 ページ参照)

●関連モードへの移動

手順1の画面で「□>ロイヤル英文法へ」を選んで ■ を押すと、ロイヤル英文法へ移動することができます。同様にロイヤル英文法の検索画面で「□>ロイヤル英文法 - 問題集へ」を選択すると、ロイヤル英文法問題集へ移動できます。

英単語・英熟語ターゲットを使う

英単熟語について効果的に学習することができます(ここでは英単語の場合を例として説明します)。

英単語を入力し、単語の意味を調べる



英単語を学習する



英単語・英熟語ターゲットを使う

手順1の画面でカーソルを移動させ、「 亡> 学習設定」を選択します。 2000 を押し、設定画面を表示します。

(学習設定の方法 🕞 103 ページ参照)

再度学習するときは

リスト表示画面で一度学習した単元を再度選択した場合は、「もう一度学習します か? |のメッセージが表示されます。

< ● / ● でカーソルを移動させ、「はい」または「いいえ」のどちらかを選択します。</p>

英	単語ターゲ	ット		1
	* 常に対論にと	トス基本単語800		
	同時記録300	L 0 35 T		
1	1 -	50		
	n 51 -	100		
	- 101	150		
学	習済み単元			
15	よ もう一度字	習しますか?		
			~	
		1261	いいえ	
Ē	常に試験にい	とろ重要単語?00		
Ē	コニニア美が	っく難単语400		
<u> </u>				

英熟語ターゲットの検索画面から「 ➡ 会話表現集」を選んで ■ を押すと、場面別会話表現のリストが表示されます。 ▼ / ▲ で場面 (SCENE) を選んで ■ を押すと、本文画面が表示されます。 再度 ■ を押すと、太字で示された 会話表現についての解説が表示されます。

本文画面に戻り 🌚 / 📣 で 🕼 を選んで 🧰 を押すと、各会話の発音を確認することができます。



リスニング設定を行う

英単語ターゲットの検索画面を表示させます。 👽 でカーソルを 「⇨ リスニング設定」 に移動させます。

以下の項目を参考に選んで設定してください。

発音		発音する内容を選択できます。	
	単語(熟語)	単語(熟語)を発音します。初期設定では「単語(熟語)」に設定されています。	
	単語(熟語)と例文	単語(熟語)と例文両方を発音します。	
発音	音順	発音する順序を選択できます。	
	目次順	目次順に発音します。初期設定では「目次順」に設定されています。	
	ランダム	順不同で発音します。	
発音	音範囲	発音する単元の範囲を選択できます。	
	選択した単元のみ	項目リストから選択した単元中の単語(熟語)を発音します。初期設定では「選	
		択した単元のみ」に設定されています。	
	選択した単元から最後まで	選択した単元以降の単語(熟語)から最後まで通して発音します。	
●発音を途中で停止させたい場合は、 ^{K®} を押します。発音中は ^{K®} の他 ^{Ny934} 、 Xニュー、 複数線素 、 国語 、 英和 、 英英 、 単顕帳、 MP3 などのコ			

● 発音を途中で得止させたい場合は、 № を押します。発音中は № の他 (mm)、 メニュー、 概数線素 、 国語 、 英和 、 英英 ンテンツ・検索モードキーのみ操作できます。 英単語・英熟語ターゲットを使う

単語テストをする



英単語・英熟語ターゲットを使う





● を押すと、入力した英単語が正しい場合は「◎正解」が画面に表示されま

す。入力した英単語が間違っている場合は、「× 不正解 正しくは…」という

単熟語ターゲット、BRUSH-UP、ディクテーション の検索画面では右図のようにそれぞれのモードへ移動 することができます。

メッセージとともに、正解が表示されます。

たとえば手順1の画面で「ロシターゲットBRUSH-UPへ」を選んで
を押すと、BRUSH-UPのモードへ移動することができます。同様にBRUSH-UPの 検索画面で「ロシ英単語ターゲットへ」を選択すると、 英単語ターゲットの検索画面へ移動できます。



英単語・英熟語ターゲット BRUSH-UP TEST を使う

ターゲットで学習した単熟語を、択一問題でテストすることができます(ここでは英単語の場合を例として説明します)。

BRUSH-UP テストをする

例 題 [動詞編 300・三択問題 1 ~ 50」をテストします	
メニュー画面から学習2→英単語ターゲットBRUSH-UPを選んで、検索画面を表示させます。 (メニュー画面からコンテンツを選ぶ 27ページ参照)	英単語ターゲット Imp Imp や国RUSH-UPF2XT やラスト結果 ・ ・受え単語ターゲットへ ・ ・ ・交車単語Dictationへ 英単語ターゲット 1900 BRUSH-UP TEST ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
2 応知すと、ツリー形式の項目リストが表示されます。 ♥/▲ で項目を 選んで mmを押します。 この操作を繰り返し、選択した項目のテスト画面を表示します。 ここでは、「常に試験に出る基本単語 800」→「1 - 1 三択問題で定着度をチェックしよう」→「動詞編 300」→「三択問題 1 ~ 50」の順に選択します。 (ツリー形式リスト - 項目の選択方法 mm・99 ページ参照)	
3 文字入力キーを使って、選択肢の中から適当と思われるものを選択します。番号を入力して、 かたいます。	英単語ターゲット 日ーup 1/50 100 No, 001 成功する 0 1/50 100 ① stroll ② subcred ③ 1/50

英単語・英熟語ターゲット BRUSH-UP TEST を使う



英単語・英熟語ターゲットディクテーションを使う

単語や例文の音声を聴き取り、スペルを入力して学習することができます(ここでは英単語の場合を例として説明 します)。

単語テストをする



学習系コンテンツを使う

英単語・英熟語ターゲットディクテーションを使う



英単語・英熟語ターゲットディクテーションを使う

↓ 入力し終わると ○KI と表示されます。 ● を押して、次のテスト画面を表示します。 参照単語表示

● 入力し終えると英単語ターゲットの参照単語が表示されます。 かります。参照する場合は ● を押します。参照画面で ■ を押すとディクテーション画面に戻ります。



●手順1の画面から「☆英単語ターゲットへ」または「☆ターゲットBRUSH-UPへ」を選択するとそれぞれのモードへ移動することができます。 (関連モードへの移動 C 131 ページ参照)

英検 Pass 単熟語(3級・2級)を使う

英検に出題される英単熟語を検索、学習することができます(ここでは2級の場合を例として説明します)。 英単語を入力し、単語の意味を調べる



英検 Pass 単熟語(3級・2級)を使う

英単熟語を学習する



センター試験リスニング対策を使う

下記の特長別に分類された問題を解くことにより、センター試験リスニング対策の学習をすることができます。

検索画面表示	項目選択後の表示	問題の特長
□◇トレーニング	トレーニング	リスニング試験の練習(トレーニング)問題を行う
		ことができます。
	リスニング模試(トレーニングより)	「トレーニング」で出題した問題の一部を模試形式
		で行うことができます。
	スタート編-実践	Part1とPart2で構成されており、試験問題に慣
		れるための実践問題を行うことができます。
➡傾向と対策	類似問題	Part1とPart2で構成されており、センター試験
		の傾向に即した問題を行うことができます。
	試行問題	2004年に実施されたセンター試験「英語リスニ
		ング試行テスト」の問題を行うことができます。
➡2006年度本番試験問題		2006年に実施されたセンター試験問題を行うこ
		とができます。

検索画面で項目を選び、リスニング問題を行う

)例 題 ↓ 「┌◇トレーニング」から「トレーニング」の問題を行います

メニュー画面から学習2→センターリスニング対策を選んで、検索画面を表 示させます。

(メニュー画面からコンテンツを選ぶ 🕞 27ページ参照)



センター試験リスニング対策を使う





センター試験リスニング対策を使う

■ テスト画面の設定	センターリスニング対策
 テスト画面の設定を行うことができます。	▶ 記録時期余
検索画面で、カーソルを移動させ「□、設定」を選択します。 🔤 を押し、設定画面を	設定終了
表示させ「記録削除」を選択すると、学習、テスト記録が削除されます。	
(学習設定の方法 🖙 103 ページ参照)	
	:Q: 学習/テスト記録を削除します [訳・決定]キーで設定します

🎼 出題形式の概要

- [問題1]短い対話文を聞き、問いに答えます。画面に表示されている選択肢の中から、答えとして最も適切と思われ るものを選択し、番号を入力します。
- [問題2]短い対話文を聞き、問いに答えます。画面に表示されている選択肢の中から、対話文に続く応答として最も 適切と思われるものを選択し、番号を入力します。

問題3はAとBの2つの部分に分かれています。

- [問題3A] 短い対話文を聞き、問いに答えます。画面に表示されている選択肢の中から、答えとして最も適切と思われるものを選択し、番号を入力します。
- [問題3B] 少し長めの対話文を聞き、3つの問いに答えます。画面に対話文に関する問いと選択肢が表示されますの

で、答えとして適切と思われるものを選択し、出題順に番号を入力します。

●問題と選択肢が2画面以上にまたがって表示されますので、画面をスクロールしてください。取扱説明書内 C 248~254ページにも掲載してありますのでご参照ください。

問題4はAとBの2つの部分に分かれています。

- [問題4A] 短い講義を聞き、問いに答えます。画面に表示されている選択肢の中から、答えとして最も適切と思われ るものを選択し、番号を入力します。
- [問題4B] 短い講義を聞き、3つの問いに答えます。画面に講義に関する問いと選択肢が表示されますので、答えとして適切と思われるものを選択し、出題順に番号を入力します。
英語発音クリニックを使う

発音機能や小テストを通して英語の音に慣れ親しむことができます。



英語発音クリニックを使う

解答を表示する

本文画面に 解密 が表示されているときは、出題に対する解答を表示させることができます。



発音を確認する

本文画面上に ④ が表示されている箇所では、発音を確認することができま す。また自分の発音を録音して収録されている模範発音と聞き比べることがで きます。

(発音を確認する (3) 54ページ参照) (発音を録音し聞き比べる (3) 59ページ参照)



センター試験英語会話表現集を使う

過去のセンター試験に出た語句、表現などをジャンル別にまとめた会話表現集です。 すべての表現で発音を聞くことができます。

目次から会話表現を調べる



発音を確認する

本文画面上に ④ が表示されている箇所では、発音を確認することができま す。また自分の発音を録音して収録されている模範発音と聞き比べることがで きます。

(発音を確認する (3) 54ページ参照)
 (発音を録音し聞き比べる (3) 59ページ参照)



古文単語・熟語ターゲット 400 を使う

古文を読むために欠かせない単語・熟語を学習することができます。

単語の読みを入力し、語義を調べる



古文単語・熟語を学習する



漢字ターゲット1700・漢検プチドリル(3級・2級)を使う

漢字の書き取りや読みを学習することができます。

問題を解きながら漢字を学習する



Q: 漢字を考えてください [訳・決定]キーで解答画面を表示します

漢字ターゲット1700・漢検プチドリル (3級・2級)を使う



漢字ターグット1700 1	/25	
□書書取[](1)		
《出題》		
事件の[リンカク]が浮かび上がる。		
《解答》		
i 輪 車 R		
● F 9 F 7 1 2.		
:Q: [訳・決定] キーで次の問題を表示します		

●同様の手順で漢字ターゲット1700の検索画面で「□>学習 - 読み方」を選ぶと、読みの学習をすることができます。

●学習画面の設定を行うことができます。

手順1の画面から、 🖤 でカーソルを移動させ「⊂〉学習設定」を選択します。 🧰 を押し、設定画面を表示します。 (学習設定の方法 🕼 103 ページ参照)

学習系コンテンツを使う

151

世界史・日本史年代暗記ターゲットを使う

世界史・日本史上の事柄を年号から調べることができます。または語呂からの検索、年号と語呂の両方を使っての 絞り込み検索ができます。

年号を入力し、年号から検索する



世界史・日本史年代暗記ターゲットを使う

語呂を入力し、語呂から検索する

)例 題 🌔 「いちご」の語呂を入力し、検索します

世界史年代暗記の検索画面で、 < < < > を押してカーソルを語呂入力欄に移動させます。

語呂を入力します(ここでは「いちご」と入力します)。 入力した語呂に該当する年号が年号順に候補表示されます。 (文字を入力する 197732 ページ参照)

● / ▲ でカーソルを移動させ、項目を選択します。

▶ を押して、本文画面を表示させます。



[#累由年代啼句]	
ロ1519(いち ごん い く) 一言【いちごん】「行く」とマガリャンイス氏	
マガリャンイス(マゼラン)の世界周航 (~22) 1519年、マガリャンイスは、スペイン王 の命会で、世界一周の大節海に出発した	室

世界史年代暗記 年号 【19 語呂 【ひと

□1968(ひと く ろう や) 人 苦労止む[ブラハの春]

ロ1968(ひと く ろう や) 人、苦労止む「ブラハの春」

世界史年代暗記

た

「ブラハの春 (チェコ事件)

「ブラハの春」(チェコ事件) 1968年、チェコの自由化・民主化の改革

90/在

1906年 1960年

1962年 1967年

年号と語呂を入力し、絞り込み検索をする

例 題 [19] の年号と「ひと」の語呂を入力し、絞り込み検索をします

世界史年代暗記の検索画面で年号を入力します(ここでは「19」と入力しま す)。続けて → を押してカーソルを語呂入力欄に移動させ、語呂を入力しま す(ここでは「ひと」と入力します)。 入力した年号と語呂に該当する項目が絞り込み検索され、年号順に候補表示さ れます。

2 ● アノーシーンルを移動させ、項目を選択します。 ● た押して、本文画面を表示させます。 ● カーソルを語呂に移動させた後、年号を入力しなおすには、● アカーソルを年号入力欄に戻します。

重要年代について学習する

世界史年代暗記の検索画面を表示させ、 🖤 で「🖒 学習」を選択します。



人 芸労止む ブラムル

は、ソ連と東欧4か国の軍事介入で挫折|

Lm

世界史・日本史年代暗記ターゲットを使う

世界史年代暗記 ▶ を押すと、ツリー形式の項目リストが表示されます。 -
以試に出る超重要年代106 田合否を分ける重要年代106 円ブラス5点の重要年代103 ● / ▲ で項目を選んで 🧰 を押します。この操作を繰り返し、選択した項 世界史年代暗記 **+**III) 日入斌に出る超重要年代106 □前 770年 七難(しきなん)を避けて周は東遠す ロ前 525年 いつにご苦心ベルシア王 ロ前 525年頃 これ、苦しなな共和政 ロ前 509年頃 これ、苦しなな共和政 ロ前 480年 弱まるベルシア、サラミス海 ロ前 431年 要要まちれアテネ人 日の本文画面を表示します。 ここでは、「入試に出る超重要年代106 | → 「前770年 | の順に選択します。 設まましい。// ノー・ハ 開みある晋分裂し韓郡崩【かんぎちょう】 口前 403年 口前 330年 さーさおしまいペルシア国 踏むよカルタゴ、ローマ重 (ツリー形式リスト - 項目の選択方法 ● 99ページ参照) 口前 264年 68むよ刀ルタコ、ローマ車 夫婦いっしょに新(奈)所帯 布令[3ku]にこして国を建て ロクでなし三頭政治成立す 船出する帝政開始ローマ国 口前 221年 一前 202年 口前 印定 口前 27年 不合理ただす光武帝 Ξ. 25年 口 220年 前見出し 世界史年代暗記 を押すと、前見出し画面、次見出し画面に移動できます。 ロ前770(しち なん を) 七難【しちなん】を避けて周は東遷す 学習画面の設定を行うことができます。 春秋時代始まる 手順1の画面から、 ♥ でカーソルを移動させ「□>学習設定」を選択します。 🔤 を押し、設 前770年、西周は鎬京から洛邑に遷都して 東周となり、春秋時代が始まった 定画面を表示します。 (学習設定の方法 (3) 103 ページ参照)

複数辞書検索機能を使う

調べたい語句や語句を含んだ例文を、収録したコンテンツの内容から同時に調べることができます。 語句の語義や漢字、英訳、例文などをまとめて調べたいときに大変便利です。

複数辞書検索ができるコンテンツ
 日本語入力時の検索対象コンテンツ
 明鏡国語辞典 大辞林 漢字源 古語辞典 四字熟語 故事ことわざ 和英辞典 世界史事典 日本史事典 生物事典
 英語入力時の検索対象コンテンツ
 大辞林(略語) ベーシックジーニアス ジーニアス英和 英英辞典 英単語ターゲット
 成句検索時の対象コンテンツ
 ベーシックジーニアス ジーニアス英和 英英辞典 英熟語ターゲット
 例文検索時の対象コンテンツ

ベーシックジーニアス ジーニアス英和 英英辞典

語義や訳を複数辞書検索する(ここでは日本語の複数辞書検索を例に説明します)

例 題 「いん」を入力し、複数のコンテンツで同時に調べます

***** を押して複数辞書検索の検索画面を表示させます。



複数辞書検索機能を使う

2 日本語入力欄に語句を入力します(ここでは「いん」と入力します)。画面に 入力文字に該当する語句が収録コンテンツ名とともに五十音順に候補表示され ます。

(文字を入力する 🕞 32 ページ参照)

●収録されていない語句を入力した場合は、その語句に一番近い語句から五十音順に表示されます。



複数辞書検索 🛉 🛄
日本語【いん】
(明鏡) イン[in]
大評帖イン(in)
イン(inn)
和英イン
医辺 空 豆 イナ・イツ・イン・ひとつ・ひや
イン11 [in]
①他の外来語に付いて、内側・内部などの
意を表す。 ードア
②テニス・草球などで、規定線の内側。ま



成句複数辞書検索をする

例 題 「effect」と「into」を使った成句を複数のコンテンツで同時に調べます

複数辞書検索の画面を表示させ、 ♥ でカーソルを成句(英)入力欄に移動 させます。



検索機能と便利な機能を使う

複数辞書検索機能を使う





- 2 成句(英)入力欄に単語を入力します(ここでは「effect」 「添「into」を 入力します)。画面に入力した単語をすべて含む成句(熟語)が候補表示され ます。
 - ●複数の単語を「&」で結んで入力すると、入力した単語をすべて含む成句を検索することができます。

スペース

- ●該当する成句がない場合は「一致する成句がありません」というメッセージが表示されます。
- 3 ○/▲ でカーソルを移動させ、調べたいコンテンツの成句を選択します (ここでは「
 (ここでは「
 (ごこでは「
 (ごこでは」
 (ごこでは」
 (ごこでは」
 (ごこでは」
 (ごこでは」
 (ごこでは」
 (ごこでは」
 (ごこでは」
 (ごこでは」
 (ごこでは)
 (ご

例文複数辞書検索をする

例 題 「take」を入力し、「take」を使った例文を複数のコンテンツで同時に調べます

複数辞書検索の画面を表示させ、 ♥ で、カーソルを例文(英)入力欄に移 動させます。



複数辞書検索機能を使う

- 2 例文(英)入力欄に単語を入力します(ここでは「take」と入力します)。画面に入力した単語を使った例文が、候補表示されます。
 - ●複数の単語を「&」で結んで入力すると、入力した単語をすべて含む例文を検索することができます。
 - ●該当する例文がない場合は、「一致する例文がありません」というメッセージが表示されます。







- ✓ ▲ でカーソルを移動させ、調べたいコンテンツの例文を選択します
 (ここでは「 英藤 take turns (~ 【about】)」を選択します)。

 を押して、例文の本文画面を表示させます。

 ●本文画面上に がある場合は、検索した例文の辞典本文画面にジャンプすることができます。

 (検索した語の本文画面に参照ジャンプする (※ 62ページ参照)
 - ●画面上に表示されるアイコンは以下のコンテンツを表します。
- 明镜 明鏡国語辞典 大辞林 大辞林 漢字源 漢字源 古語 古語辞典 故事 故事ことわざ ベーシックジーニアス ベ英和 K英例 ベーシックジーニアス (例文) 英和 ジーニアス英和 和英 和英辞典 ジーニアス英和 萬和別 (例文) 英英 英英辞典 英英成 英英辞典 (成句) 世界史 世界史事典 旧本史 日本史事典 |英単| 英単語ターゲット (英熟) 英熟語ターゲット

●カードコンテンツの場合は、候補表示リスト上にカードアイコンが表示されます。

一括検索機能を使う

調べたい語句(日本語、英語)を検索画面で5つまで入力し、まとめて調べることができます。長文でわからない 語句を複数見つけたときに一度に検索できて便利です(ここでは日本語入力の場合を例として説明します)。

日本語の読みを5つ入力し、5つの語を同時に検索する

例 題 大辞林で5つの単語「甲、乙、丙、丁、戊」を同時に調べます

- を2回押して大辞林の検索画面を表示させます。
- を押して一括検索画面を表示させます。
- 2 調べたい複数の単語を1単語ずつ入力します(ここでは上から順に「こう」「お つ」「へい」「てい」「ぼ」と入力します)。 ▲/ ♥ でカーソルを上下の入力
 - 欄に移動させると検索された件数が各単語ごとに表示されます。
 - 🔜 を押して、検索結果を表示させます。
 - (文字を入力する 🕞 32ページ参照)
 - ●収録されていない単語を入力した場合は、「該当する項目がありません」と表示されます。
 - 7 一番上に入力した単語(ここでは「こう」)の候補表示が最前面に表示されます。



(42) おつ (3) へい (12) てい (15) /)

ルス・カニなどの体をおおう硬い殻。甲 に56)。「亀の一より年の功」 手足の表面。手首から先の、外側の面。足

ミーパー大辞林 - 一括検索

読み

こうかい」(甲)



一括検索機能を使う

 ▲ / ● でカーソルを移動させ、候補表示から調べたい単語を選択します (ここでは「甲」を選択します)。

▶ を押して、本文画面を表示させます。

スーパー大辞林 こう(甲)	
こう から回【甲】	
①カメ・カニなどの体をおおう	硬い殻。甲
羅(こうら)。「亀の一より年の功」	
 ②手足の表面。手首から先の、タ 	「側の面。足
首から先の、上側の面。「手の一	1
 ③十千の第一。きのえ。 	
 ④等級・成績などをつけるとき 	に用いて、
一番上位を表す。「殊動一」	
■ ⑤二人以上の人、または二つ以	上の物事が
あるとき、その一つの名にかえ	て用いる。
「一は乙に賃貸料を支払う」	
⑥よろい。かぶと。【和名抄】	
 ①箏(そう)・琵琶などの胴の表面 	または背面

その他の単語の検索結果を表示させる場合

●タブには検索した単語と各語の検索候補の数が表示されます(例えば「こう」の検索候補数は「こう (42)」から42件あるとわかります)。

●一括検索の検索画面から元のコンテンツ検索画面に戻る場合は 🛤 を押してください。

スーパー大辞林-一括検索
_ 読み こう
こう【〈長官〉】
こう【語】
こう[鶴]
[22] 보]
[승웅] / 사
CO[22]
こう [42]/おつ [3]/へい [12]/てい [15]/ト
こう から【〈長官〉】
「かみ(長官)」の転。「一の殿」「一の君」

一括検索機能が使用できるコンテンツ・検索モード
 国語系 明鏡国語辞典 大辞林 漢字源(読み) 古語辞典 四字熟語 故事ことわざ
 英語系 ベーシックジーニアス ジーニアス英和 和英辞典 英英辞典 英会話とっさのひとこと
 学習1 世界史事典 日本史事典 人名検索 和歌・俳句検索 生物事典 化学反応式
 便利な機能 複数辞書検索
 ●検索画面に 𝒫 がついている検索モードで実行することができます。

ディクショナリーリンク機能を使う

同じ見出し語を他のコンテンツに移って調べる

を押すとジャンプ先の本文画面からもとの画面に戻ります。

例 題 ジーニアス英和の本文画面から英英辞典の本文画面にジャンプします



マルチジャンプ機能を使う

指定したコンテンツヘジャンプする

調べた言葉の意味や、例文の中に使われている単語、参照記号「➡」を足掛かりとして、他のコンテンツまたは参 照見出しに移ってそれらの意味をさらに詳しく調べることができます。



マルチジャンプ機能を使う スーパー大辞林 ふくすう(懇認) •? III) 大辞林の「複数」の本文画面が表示されます。 ふくすう③【複数】 *(9つ回 178%) ①二つ以上の数。「一の敵」 ②ヨーロッパ諸語の文法で、名詞・代名詞 の表す人や事物が二つ<u>以上のも</u>のである。 |複数の候補がある場合、リスト表示されますので、 💎 ∕ 🔼 でカーソルを移動し、ジャン プ先を指定します。候補が一語しかない場合、直接その語の本文画面にジャンプします。 と、動詞や形容詞も語形上呼応すること がある。 ⇔▲単数 ジャンプ先を指定する画面は、選択している語句によって2つに分類されます。 日本語が選択されている場合、ジャンプ先になるコンテンツ 明鏡 明鏡国語辞典 大辞林 大辞林 漢字源 漢字源 古語 古語辞典 熟語 四字熟語 |故事| 故事ことわざ 和英和英辞典 日本史 日本史事典 | 年 物 生 物 事 典 [化学] 化学反応式 英語が選択されている場合、ジャンプ先になるコンテンツ ▼英和 ベーシックジーニアス 「英和」 ジーニアス英和 英英 英英辞典 英単語ターゲット 大田 大辞林 (略語)

前の画面に戻る

一つ前の画面に戻るときは 🛤 を押します。

●ジャンプ後の本文画面で 🕫 を押すと、ジャンプ先選択の画面に戻ります。

マルチジャンプ機能を使う



訳語や語義を調べている際に「→」が画面上に表示された場合は、その単語や語句の参照語にジャンプすることが できます。



マルチジャンプ機能を使う



関連語句を調べる

成句、複合語、類語、熟語、慣用連語、句動詞を表示する

コンテンツの本文画面右上に関連語句アイコンが表示されている場合は、その見出し語を使った成句、複合語(派 生語を含む)、熟語、慣用連語、句動詞のリスト画面を表示することができます。



関連語句を調べる





関連語句を調べる

3 を押して、複合語の本文画面を表示させます。



本文画面に表示される関連語句アイコン

コンテンツ	表示される関	連語句アイコン	備考
漢字源	熟 熟語		
古語辞典	慣 慣用連語	複 複合語	該当する関連語句がある場合、 <
ベーシックジーニアス ジーニアス英和	同成句	複複合語	該当する関連語句がある場合、
和英辞典	複複合語		
英英辞典	王 成句	P 句動詞	該当する関連語句がある場合、

単語帳を使う

各コンテンツに収録されている単語やカードコンテンツの単語を単語帳に登録することができます。

覚えたい語句を単語帳に登録する



泽 カードコンテンツの単語を登録する

●カードコンテンツの単語を単語帳に登録することができます(1000件まで)。カードコンテンツは登録するとカードアイコンが表示されます。
 ●カードを外したり、別のカードを挿入した状態の時は「コンテンツがありません」と表示され、登録した単語を表示させることができません。

単語帳を使う



単語帳のリスト画面に表示されるアイコンとコンテンツ・検索モード名

明鏡	明鏡国語辞典
大辞林	大辞林
漢字源	漢字源
古語	古語辞典
熱語	四字熟語
故事	故事ことわざ
ベ英和	ベーシックジーニアス
英和	ジーニアス英和
和英	和英辞典

斑	英英辞典
壃	世界史事典
日本田	日本史事典
生物	生物事典
英単	英単語ターゲット
英熟	英熟語ターゲット
大辞慣	大辞林 慣用句検索
大辞略	大辞林 略語検索

べ棋成	ベーシックジーニアス 成句検索
英和成	ジーニアス英和 成句検索
英成	英英辞典 成句検索

●上記以外のコンテンツ・検索モード(例文検索など)で表示した本文画面は単語帳に登録することができません。

コンテンツリスト画面で「すべて」を選択した後、登録された単語の本文画面で く / ***** を押すと、登録された 前後の単語の本文画面が表示されます。またコンテンツリスト画面でコンテンツを選択した後、登録された単語の本文 画面で く **** を押すと、選択したコンテンツの単語帳に登録された前後の単語の本文画面が表示されます。



単語帳を使う

マーカー機能を使う



単語帳を使う



(人が)…かを理解している(翻



マーカーを消す

マーカーを引いた単語の本文画面を表示させます(ここでは「understand」 の本文画面を表示させます)。

本文画面表示中に
を押すと、

お前面面右上に表示されます。マーカーを
引いた箇所の先頭にカーソルを移動させ、
の
を押します。

3 画面に「選択されているマーカーを削除します」とメッセージが表示されますので、カーソルを移動させ「はい」を選択した後、 空を押します。

検索機能と便利な機能を使う

単語帳を使う

「マーカーが削除されました」とメッセージが表示され、マーカーが消された 本文画面が表示されます。

●マーカーを消すと、単語帳リスト画面の右側のボックス(□)が白色に戻ります。

単語帳リストからマーカーを消す

単語帳リスト画面で
「単語削除,マーカー,チェック解除」の
画面が表示されます。

以下の「マーカー解除」の項目からマーカーを解除する単語を選びます。

- 選択している単語のマーカーを消す

リスト画面で選択されている単語の本文画面中のマーカーのみを解除します。

「リスト上の全単語のマーカーを消す⁻

特定の単語帳、または登録されている単語すべての本文画面中のマーカーを解除します。

選択している単語のマーカーを消す場合

 ● / ○ で「選択している単語のマーカー」を選びます。 ● で「はい」を 選んで 値 を押すと、選択されている単語の本文画面からマーカーが消され ます。

●マーカーを消すと、単語帳リスト画面の右側のボックス(□)が白色に戻ります。









リストトの全単語のマーカーを消す場合

▼ / ▲ で「リスト上の全単語のマーカー」を選びます。 ④ で「はい」を 選んで 🧰 を押すと、選択した単語帳または単語帳に登録されているすべて の単語本文画面からマーカーが解除されます。

●選択した単語や単語帳の中の単語にマーカーが引かれていない場合は、「マーカーが登録され ていません」とメッセージが表示されます。

単語帳の設定をする

単語帳 8件	(III)
□ □ 英和 understand	
単語帳削除,マーカー,チェック解除	\boxtimes
単語削除 選択している単語	
チェック済みの単語 リスト上の全単語	
マーカー解除 選択している単語のマーカー	
チェック解除 リスト上の全単語のチェック	
「②、マーカーを解除しますか	
度い いいえ	

■■■●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	ル ひ ひ ひ ひ
 ● を押すと単語帳設定画面が表示されます。 ● 「◇ / ● で設定したい項目を選択し、 ● / ● で内容を選択します。その 後、「設定終了」を選択し、 ● を押して設定内容を保存します。 	

表示順		登録単語の表示順序を設定します。	
	登録順	単語帳に登録した順番です。初期設定は「登録順」に設定されています。	
	アルファベット順	英単語ならアルファベット順、日本語なら五十音順に表示します。	
チョ	こック済み単語	チェックマーク(🗹)を付けた単語の表示を設定します。	
	表示する	チェック済み単語を表示します。初期設定は「表示する」に設定されています。	
	表示しない	チェック済み単語を表示しません。	
表示	示方法	単語の表示方法を設定します。	
	全表示	単語、単語の本文内容をすべて表示します。初期設定は「全表示」に設定されています。	
	見出し語を隠す	単語を隠して表示します。	
	内容を隠す	単語の本文内容を隠して表示します。	
	マーカーを隠す	マーカーを引いた箇所を隠して表示します。	

表示方法について

表示方法で「見出し語を隠す」「内容を隠す」「マーカーを隠す」のいずれかを選んで設定すると、単語帳に登録された単語の本文画面でそれぞれの項目が隠されて表示されます。次に xmml を押すと、隠されていた内容が表示されます。暗記をしたり、どの程度理解できたかをテストして確かめるのに便利です。再度 xmml を押すと次の単語に進みます。



●右の画面は「見出し語を隠す」を選択した画面です。

単語帳のデータを削除する

各コンテンツの単語帳に登録したデータは、1単語ずつまたは単語帳ごとにまとめて削除することができます。 1単語ずつ削除する

削除したい単語の本文画面を表示させます(ここでは「understand」を削除します)。

2	■■■■ を押すと、画面に「選択されている単語を削除します」 とメッセージが 表示されます。	19日本 19
3	「はい」を選択した後 🧰 を押すと、「単語を削除しました」とメッセージが 表示され、表示中の単語が単語帳から削除されます。	
指定項目の単語を削除する		
1	単語帳リスト画面を表示させます。 💎 でカーソルを削除したい単語へ移動 させます。 ここでは、「すべて」→「 <mark>英和</mark> understand」の順に選択します。	□ □ ■ 1003 (以よごう)(旅行] □ □ 種類 こうこうせい(決合成] □ □ 種類 こうこうせい(決合成] □ □ #10フィリンかく(ポルフィル □ ■ 900 こっこう(国文) □ □ ■ 100 [編]キ・ケ・まれ・うすい

検索機能と便利な機能を使う

💵 📾 を押すと、「単語削除,マーカー,チェック解除」の画面が表示されます。



3

以下の「単語削除」の項目から削除したい単語に応じて項目を選びます。

選択されている単語	リスト上で選択した単語のみ削除する場合	
チェック済みの単語	チェックマーク(🗹)を付けた単語を削除する場合	
	単語帳リストで選ぶと、選択した単語帳の中のチェック済み単語をすべて削除します。	
リスト上の全単語	各コンテンツの単語帳ごと、または登録されているすべての単語を削除する場合	
	・削除したいコンテンツの単語帳を表示させると、選択した単語帳中のすべての単	
	語を削除します。	
	・コンテンツリスト画面で「すべて」を選ぶと、単語帳に登録されたすべての単語	
	を削除します。	

● ✓ / ▲ で単語帳削除の項目を選び、 ● / ▶ で「はい」を選択します。 🧱 を押すと、選択した単語が削除 されます。

●選択した単語帳に単語が登録されていない場合は、「単語が登録されていません」とメッセージが表示されます。

●選択した単語帳に登録された単語にチェックマークが付いていない場合は、「チェック済みの単語はありません」とメッセージが表示されます。

●削除しない場合は、 🛤 を押すと単語帳リスト画面に戻ります。

検索機能と便利な機能を使う
スペルチェック機能を使う

英単語のつづりがはっきりわからないときは、スペルチェック機能で曖昧なつづりのまま候補を絞り込むことができます。



ワイルドカードサーチ機能を使う

英単語のつづりや曖昧な語句を調べる時に、わかるところまで文字を入力し、不明なところは「?」(クエスチョン)または「*」(アスタリスク)を入力して候補を絞り込むことができます。

不明な文字の代わりに入力する「*」/「?」をワイルドカードといいます。「*」は指定文字数に制限がないこと を意味します。それに対して「?」は、1つで1文字のみ指定します(「??」と入力すれば2文字を指定したことに なります)。「?」を入力するには 💏 を1回押し、「*」を入力するには 🔂 を2回押します。

)例題 1 ジーニアス英和で「菊(chrysanthemum)」のつづりを「*」を使って調べます

ジーニアス英和のスペル入力欄に「chr * m」と入力します。 検索対象となる単語は「chr」で始まり、最後が「m」であれば、その間はど んな文字で何文字でもかまわないということになります。 「chr * m」で検索できる単語がアルファベット順に候補表示されます。



例題2 大辞林で語尾に「そら」のつく語句を逆引きします

読み入力欄に「*そら」と入力します。

「そら」が最後につく語句が五十音順に候補表示されます。

●大辞林逆引き検索を使うと、「*」を入力せずに逆引き検索をすることができます。 (語句の語尾につく文字を入力し、逆引き検索する € 67 ページ参照)

スーパー大辞林	¥III)
読み 【*そら]
あきのそら【秋の空】	
足(まし)を空(そら)	
めまつそら【大つ空】	
イワンフ [l ファンルXOF3] うわのそら「トの穴」	
思う空(そら)	
がわいそら【河合曾良】	
あきのそら回回一回【秋の空】	
①「秋空(ぁきぞら)」に同じ。圏秋。《上行く	と
ト来る雲や一/凡兆》	5.5
■ ◎秋の空は変わりやすいことから、人の	טיכ

ワイルドカードサーチ機能を使う

例題3 「オレンジ (orange)」の2文字目が「r」か「I」か曖昧です。「?」を使って調べます

ジーニアス英和のスペル入力欄に「o?ange」と入力します。検索対象となる 単語の文字数は6文字と決められます。その上で2文字目はどの文字でもよい ということになります。「?」は、単語の文字数がわかっているときの検索に便 利です。

●該当する候補がない場合は、「見出し語にありません」が表示されます。

●ワイルドカードサーチを使って検索する際に「*」を使った場合、検索時間が長くなることが あります。途中で検索を中止する場合は、 ■ を押してください。 「*」は1ヶ所のみ入力できます。



明鏡国語辞典(読み・類語)	大辞林(読み・逆引き・略語)	漢字源(読み)
古語辞典(読み)	故事ことわざ(読み)	四字熟語(読み)
ベーシックジーニアス(スペル・音声データ)	ジーニアス英和(スペル・音声データ)	和英辞典(読み)
英英辞典(スペル・音声データ)	世界史事典(読み)	日本史事典(読み)
人名検索(読み)	和歌・俳句検索(読み)	生物事典(読み・図版)
化学反応式(読み)	英単語ターゲット	英検PASS単熟語(3級・2級)(単語)
古文単語・熟語(読み)	世界史年代暗記(語呂)	日本史年代暗記(語呂)
複数辞書検索(日本語・スペル)		

ジーニアス英和	III
スペル	n?ange
	stands
orange	
-	
<pre>#or ange /5(:)</pre>	Irindsənds. (米土)ár-/ 《
(恐立:テ辛)	
— 🗃 (🚳 – • ar	ng·es/-iz/)
1 6 7	ジ(gmoot ~)・オレンジの木
TI 凹 /1 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	ノ (591000 ノックレンシリルトー

履歴機能を使う

今までに調べた語句や事柄、人名を履歴として一覧表示させ、見出し語を引き直すことができます。 カード使用時はカードコンテンツの履歴も保存されます。

履歴リストから本文画面を表示する



履歴機能を使う



メニュー画面から履歴表示画面を開く

メニュー画面からコンテンツを指定せずに履歴を表示することができます。

メニュー画面を表示させ、 💭 を押します。

を押して、本文画面を表示させます。







プカードコンテンツの履歴を表示する場合

カードコンテンツはカードを取り外すまで本体に履歴データを保存することができます。カードメニューに履歴表示されます(リスト上にカードアイコンが表示されます)。

検索機能と便利な機能を使う

履歴を削除する

各コンテンツの履歴は、1件ずつまたはコンテンツごとにまとめて削除することができます。

例題 1件ずつ削除します 履歴 ベーシックジーニアスから履歴リスト画面を表示させます。 💎 でカーソル • ベーシックジーニアス ► (英語) he von d を移動させ、履歴リストから削除したい単語を選択します(ここでは physical effect takeaway 「bevond」を選択します)。 compact compact '**be·yond** /) biand ビアンド, biland | JC yong / manada ビーンテ, mara hijond ビヨンド, biond; 圖图──/≪ 【「越えて向こうに位置する」が本義・ から時間的超過、ま たは比喩は的に範囲 履歴 ■■ を押すと、履歴削除の画面が表示されます。 ♥/ \Lambda で 「選択されてい バーシックジーニアス • . 英和 hevond 爾爾削除 ▶ 選択されている履歴のみ削除 すべて削除 ?②: 選択されている履歴を削除します be はい いいえ bilitra モコント,からna,画画 イマム 【「越えて向こうに位置する」が本義で こから時間的超過,または比喩(ゆ)的(履歴 選択した履歴が削除され、履歴リスト画面に戻ります。 • ベーシックジーニアス ##lphysical 削除を中止する場合は 🛤 を押すか、「いいえ」を選択した後 🎫 を押してください。 effect takeaway compact compact² 'phys·i·cal /fízikl フィズィクル/④ ⑥ physically (副) ・囲[通例名詞の前で] - 身体の、肉体の(↔ mental)《◆肉体の

履歴機能を使う



●検索モードなどにより、履歴が残らない場合があります。

ブックマーク機能を使う

覚えたい単語や語句をブックマークに登録することができます。

単語本文画面をブックマークに登録する



ブックマーク機能を使う ブックマークに登録された単語を表示する ブックマークに登録された [understand] の本文画面を表示します 例 頴 「ジーニアス英和」 を押すと、ブック 7 48 11 ジーニアス英和の検索画面または本文画面表示中に ブック ▶ブックフークに追加 Ø **B**understand **\$un-der∙stand** /Andaz マークリスト画面が表示されます。 Ó Bappropriate *ap pro pri ate /@e ⇒ Fcolloguial +cel·le·qui·al /kalóu 宇店 [訳・決定]キーで登録します Ω: 「入力切替」で一括検索に切り替ります ジー-アス英和 understand 间, ● / ▲ でカーソルを移動させ、リストの中から表示させたい単語を選択し un-der-stand /Anderstiend/ 48 『アクセント注意』(「下に(under)立つ (stand) I→「ものについて深くはっきりし ます(ここでは「understand」を選択します)。 た知識をもつ [] 願understanding (名) を押すと、登録された単語の本文該当箇所が表示されます。 ing)《◆進行形不可》 解說》 -10 [SV0]〈人が〉〈人・事・物〉を理解する[し ている],…の意味・気持・性質・扱い方な どがわかる:[SV0('s) doing](人が)0 〈人〉が…するのがわかる:[SV_wh節・句] 人が)…かを理解している(翻

単語をブックマークから削除する

ブックマークに登録した単語を削除する場合は、ブックマークリストを表示させ、削除したい単語を選択します。 ■■ を押すと、ブックマーク削除の画面が表示されますので、 マ「選択されたブックマークのみ削除」を選択し、 マ/シ で「削除」を選んで ■ を押すと、選択した単語が削除されます。「すべて削除」を選択すると、表示中のコンテンツのブックマークに登録した単語をすべてまとめて削除します。 ●削除しない場合は「キャンセル」を選んで ■ を押すと、ブックマークリスト画面に戻ります。



- ブックマークが使用できるコン	テンツ(検索・本文・リスト画面)	および検索モード ――――		
国語系	明鏡国語辞典	大辞林	漢字源	
	古語辞典	四字熟語	故事ことわざ	
英語系	ベーシックジーニアス	ジーニアス英和	和英辞典	英英辞典
	英会話とっさのひとこと			
学習系	ロイヤル英文法	世界史事典	日本史事典	生物事典
	化学反応式			
複数辞書検索(本文画面)	日本語	英語		

●成句検索、例文検索画面ではブックマーク機能は使用できません。またカードコンテンツにも使用することができません。

調べた単語や語句に書き込み可能なメモをつけることができます。

メモ編集画面を表示する



●メモ編集画面は、コンテンツの検索画面からも表示することができます。

●メモはコンテンツごとに登録されます。例えば同じ単語でも他のコンテンツのメモリストに登録したメモを表示することはできません。

●メモがすでに登録されている場合に 闘/闘 を押すと、「すでにメモに登録されています」と表示されます。

●全コンテンツ合計 500 件のメモを登録することができます。

メモ編集画面のアイコンとキーのはたらき



画面アイコンのはたらき

1	残り文字数表示	メモ入力	メモ入力の時、あと何字まで入力できるかわかります。1件のメモに最高200字まで入力できます。	
2	メッセージ欄	文字の入	文字の入力切替に関するメッセージを表示します。	
		かな/漢字	選択すると、ひらがな、カタカナ、漢字を入力できます。	
3	入力言語	ABC/abc	選択すると、アルファベットを入力できます。	
		123	選択すると、数字を入力できます。	
4	(全角/半角)	アルファ	ベットを入力する時、全角および半角の入力設定ができます。	
5	アイコン	メモ入力	メモ入力欄にアイコンを貼り付けることができます。	
6	記号	メモ入力	メモ入力欄に記号を挿入することができます。	
7	لعلام الم	編集した	メモを分類できます。 (メモ分類方法 🖙 194 ページ参照)	

入力キーのはたらき

 戻る	編集したメモを保存し、本文画面に戻ります。
	カーソルを左右に移動させることができます。
	カーソルを次の行および前の行に移動させることができます。
?*&	スペースを挿入します。
登録/削除	文字を削除します。
現 - 法定 14.3.8.4.4.4.7.9.8.1	カーソル位置から改行をします。

メモ入力欄に記入する



検索機能と便利な機能を使う



メモを活用する

戻ります。

編集したメモを分類します

例 題	前ページで編集した「understand」を 区王*** に分類します	
1	「understand」のメモ編集画面で () を押し、 () へ で (★モ) を選択します。 () () でカーソルを移動させ、分類先を選び、 () を押します (ここでは () モ ** を選択します)。	メモ 版 残り:192 [23] [10] メモ [24] * [25] * [25] * [25] * → 1回到再チェック! _
		[入力切替]を押し、[の][の]で動作を選択します [の][の]で操作を選択し、[訳・決定]で実行します
2:	を押すと、「メモの編集を保存しますか」とメッセージが表示されます。 「はい」を選択した後 2000 を押すと、メモが保存され、「understand」の本 文画面に戻ります。表示中の単語のメモが 2010 ます。 メモ表示が 2010 ます。 分類先を変更したい場合は、同じ手順で分類先を選択しなおします。 メモを保存しない場合は、「いいえ」を選択しているとない場合は、「いいえ」を選択しているのです。	S S

検索機能と便利な機能を使う



195

メモリストに表示された単語のメモ編集画面を呼び出します

前ページでリスト表示された「understand」のメモ編集画面を呼び出します 例 顥

í 🕟 でカーソルを移動させ、分類表示の 「全部 | のリストあるいは分類 リストから単語を選択します(ここでは、メモ***のリストを表示してから 「understand」を選択します)。





メモリストのデータを削除する

各コンテンツのメモリストに登録したデータは、1件ずつまたはリストごとまとめて削除することができます。

1件ずつメモを削除します ジーニアス英和 understand 区もや約 1-13 削除したいメモが保存されている単語の本文画面を表示させます(ここでは Undersetand /inderstand/dl 7份 金錢 ジーニアス英和の「understand」を削除します)。 prosperous 次暗記できたら、リス T2 pontoon ** 図圖どんな船? -seontaneous ** 町田田発音、アクセン を2回押し、メモリストを表示させます。 ingdiverse Bcolloquial Bedvarious жж .*. 反意語(け?) ** @00028888 asenda 1 understand *** 1回町再チェック! な 人が)…かを理解している(翻 ジーニアス英和 understand 区王 🕬 🗔 💀 400 undersetand /indoretiond/di メモリスト 全部 ているメモを削除|とメッセージが表示されます。 prosperous * 次暗記できたら、リス T2 bontoon1 ** 図問どんな船? -Iseontan ingdiverse 選択されているメモを削除 Recolloqui 10100 いいえ azenda indenstand xok 1回时再チェック な [泥・決定]キーでメモを表 [登録/削除]キーでメモを削除します 757 9 302/01/03 [37 WIEP 句] 人が)…かを理解している(翻 ジーニアス英和 understand 区王***问 💽 「はい」を選択した後 💼 を押すと、表示中のメモが削除されます。 un-derictand /indonetiond/di *Un<u>メモリスト</u> () 大モリスト (S^P Prosperous た。Pontoon¹ 6件 * 次暗記できたら、リス ** 図面どんな船? -spontaneous ** 画画発音、アクセン ingdiverse ** Elevarious (incolloquial .*. 反意語は? *** 使い方無語言 [訳・決定]キーでメモを売 「登録/削除]キーでメモを削除します」 「登録/削除]キーでメモを削除します」 (人が)…かを理解している(翻



カード(コンテンツカードやSDメモリーカード等)を使う

コンテンツカードを使用したり、市販のSDメモリーカードに保存されたMP3形式のデータを再生することができます。電子辞書の設定データをバックアップ保存したり、音声を録音することもできます。

カードを挿入する



⚠ご注意

- ●カードの破損や本機の故障を防ぐためにもカードの向き(表裏、前後)を確認の上カードスロットに正しく挿入して ください。
- ●カード以外のものを挿入しないでください。カードや挿入部が破損する恐れがあります。
- ●使用するカードの容量、ファイルの保存状態などにより認識までに時間がかかる場合があります。

カードを取り出す

電子辞書の電源を切ります。 カードを軽く押し込みます。 ●カードは軽く押し込んで手を離すと少し飛び出してきますので、指で軽くおさえてください。

カードを取り出します。 ●ゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。

<u>小カード出し入れ時のご注意</u>

- ●データの読み出し中や書き込み中は、絶対にカードを取り外したり、電池を取り外さないでください。カードや電子 辞書本体が破損する恐れがあります。
- ●カードを取り付け、電源を入れたときは、カード内の情報確認のため、画面が表示されるまでに時間がかかることが あります(カードの容量や書き込まれているデータ量により、表示されるまでの時間が異なります)。

カード使用時のエラーメッセージ

表示されるエラーメッセージ	対処方法
カードを挿入してください	カードを正しく挿入してください。
このカードは使用できません	挿入したカードの書き込み禁止スイッチのロック状態を解除す
ロックを解除するか別のカードを挿入してください	るか、別のカードを挿入してください。



コンテンツカードを使う

コンテンツカードを本体に挿入し、使用することができます。

●カードコンテンツと本体のコンテンツとでは使用できる機能が一部異なる場合があります。 操作方法や取り扱い方法についてはカードコンテンツの取扱説明書をご覧ください。

電子辞書データのバックアップをカードに保存する

電子辞書内の単語帳(マーカー、チェックマークを含む)、環境設定、ブックマークやメモをバックアップデータとして SDメモリーカードに保存することができます。

(バックアップを行う 🕞 42ページ参照)

MP3 プレーヤー機能を使う

MP3形式のデータ(以降「MP3データ」と表記します)が収録されたSDメモリーカードを本体に挿入し、再生 することができます。

MP3 データを再生する

SD メモリーカードを本体に挿入します。 (カード 〈コンテンツカードや SD メモリーカード等〉を使う 🖙 199 ページ参照)





●再生中でも他の機能の操作を行うことができます。ただし、高ビットレートのファイルを再生すると、検索などの時間が長くなったり、音が途切れたりすることがあります。

MP3		¥III)
	00001	Ì
. 00:00:00)得.mp3 レインボーオーケー	7.60
トラック タイトノ	N 124 4 22	414
00001 %		00.01.201
00001 24.1	950 平雄L mn-3	00.01.00
00002 明の	スキロ.mp3 定し mp3	00:01:36
00004 雪.m	p3	00:01:38
00005 村祭	mp3	00:01:21
、00006 茶摘	.mp3	00:01:19
▶/■ [訳·決定]	Repeat[R] Speed[S]	3 up [U]
₩(B] ₩(F]	Equalizer[E] Language[L] 🕀 Down[D]

MP3 データリスト画面について

- 1 MP3 データのトラック番号が表示されます。
- 曲のタイトルが表示されます。タイトルがないMP3データの場合、ファイルの保 2 存名が表示されます。タイトルが長くリストに入りきらない場合は、タイトルの右 側に♪ が表示されます。
- 3 アーティスト名が表示されます。
 - ●アーティスト名はひらがな、カタカナ、英語の表記となります。またデータの形式や 保存方法などにより表示されない場合があります。
- 4 再生状況が表示されます(▶は再生中を、Ⅱは一時停止中を、■は停止を表し
 4 ます)。
- 5 各 MP3 データごとの再生時間が表示されます。
- ●データの形式やSDメモリーカードの状態、保存方法などにより、再生できないことがあります。
- ●ダウンロードした音楽も再生できます。

●再生音は、イヤホンやスピーカーから聞くことができます。

MP3 プレーヤー使用時の操作ボタンとキーのはたらき

本機右側の操作ボタンまたはキー入力により MP3 プレーヤーを操作することができます。



	MP3		ŧœ
	4	1 00001 2 海 mp3	Ì
	<u> 100:00:00 (</u>	<u>3レインボーオーケス</u>	.+>
	「トラック タイト」	ŀ	タイム
1	00001 海.m	ip3 2 5	00:01:30
	00002 仰げ	ば尊し.mp3	00:02:09
	100003 贈の	はり.mp3 m2	00:01:30
	100004 当.11	eo Maga	00:01:21
	00006 茶摘	.mp3	00:01:19
	▶/■ [訳·決定]	Repeat[R] Speed[S]	<u></u> [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
		Equalizer[E] Language[L]	Cown[D]



操作ボタンまたはキーは押すことで、下記の操作ができます。

	アイコン/操作ボタン/キー入力	操作
		〈再生していない時〉
1		졛 / 🤖 1 度押すと再生します。
		〈再生している時〉
		💮 / 💼 1 度押すと一時停止します。
		💮 約2秒間押すと停止します。
		💼 約2秒間押して、キーから指をはなすと停止します。
	Ē	再生中に1度押すと前の曲を頭出しします。
2	¥ ∕ Ĕ	再生中に1度押すと次の曲を頭出しします。
	7 = 14+	音量を調整することができます。
З	Vol.+ / Vol / 🕖 / D	(キーを使って音量を調整する 🖙 208 ページ参照)
		また。

● MP3 プレーヤーを再生しながら、他のコンテンツの検索もすることができます。

また、上記のリストの1、2、3の操作はカバーを閉じた状態でも操作ボタンやジョグにより行うことができます。

ジョグおよび操作ボタンをロックする

操作ボタンやジョグの誤作動を防ぐために本体裏面の HOLD スイッチで、これらの操作をロックすることができます。

本体裏面のHOLDスイッチを右にスライドすると、本機右部のジョグおよび操作ボ タンが働かなくなります。

左にスライドすると、ロックが解除されます(右はロックが解除された状態を表示させた画面です)。



MP3 プレーヤー使用時の各種機能の設定

リピート設定を選択する

4 t-

Rキーを押すとリピート設定の画面が表示されます。

▲/ ▼ でカーソルを移動させ、以下の設定から選びます。

	00001 海.mp3	
1592 US-1	レインホーオークストD ト設定	4
■ UUUUU トリビ 00002 一世	ートなし リピート リピート	2:09
00004	ive i	1:30
		-1:41

リピートなし	を押すと、MP3 データはリピートされずすべてのトラックを再生し終わると、停止します。
1曲リピート	を押すと、選択した MP3 データを繰り返し再生します。
全曲リピート	を押すと、MP3 データをすべてリピートします。

●初期設定は「リピートなし」です。

MP3 プレーヤー機能を使う

A-Bリピート設定をする

MP3データ再生中にリピートを開始したい箇所(A地点)で、 A キーを押します。リピートの終点箇所で再び A キーを押すと B 地点が指定され、直ちに A-B 間のリピートが開始されます。

● B 地点を指定しなかった場合は、指定した MP3 データの再生が終了すると自動的に設定が解除されます。

A-Bリピートを停止する

A-B リピート中に A キーを押すとリピートを停止することができます。

サウンド設定を選択する MP3 E キーを押すとサウンド設定の画面が表示されます。 さくらさくら レインボーオーケストレ 00.00.00 トラック ▲ / ● でカーソルを移動させ、以下の設定から選びます。 :39 0000 ノーフル(会話) 1.22 ňňňň カラミック [訳・決定]キーで決定します ▶/■ [訳·決定] Repeat[R] Speed[S] 🚽 Up [U] ノーマル(会話) を押すと、サウンド設定がノーマルの状態になります。 を押すと、ロック音楽に向いたソリッドな迫力あるサウンドになります。 ロック ポップ を押すと、ポップス音楽に向いた軽やかで明朗なサウンドになります。 クラシック を押すと、クラシック音楽に向いた躍動的なサウンドになります。

ジャズ を押すと、ジャズ音楽に向いた重厚なサウンドになります。

●初期設定は「ノーマル」です。

●音源によっては、サウンド設定の効果が明瞭でないものがあります。

スピード設定を選択する

MP3 データの再生スピードを選ぶことができます。語学学習用に最適です。

- キーを押すとスピード設定の画面が表示されます。
- ▲/ 🖤 でカーソルを移動させ、以下の設定から選びます。

- 00001	I
■ 00001 河, mp3	
<u></u>	-16
00001 ▶ 普通 00003 ▶ 普通	2:09
00004	1:38
00000 [訳・決定]キーで決定します	1:19
▶/■ [訳·決定] Repeat[R] Speed[S] 5	∃u₀[U]

遅い	🧰 を押すと、MP3 データのスピードが遅くなります。
普通	を押すと、MP3 データのスピードが普通になります。
早 い	🧰 を押すと、MP3 データのスピードが早くなります。

●初期設定は「普通」です。

言語設定を選択する

MP3プレーヤー機能の画面に表示される言語を選ぶことができます。例えば、MP3ファイルをパソコンで作成した時、ファイル名やタイトルを下記の言語で保存した場合は、言語設定を選択し正しく表示させることができます。

L キーを押すと言語設定の画面が表示されます。

▲/ でカーソルを移動させ、以下の設定から選びます。



MP3 プレーヤー機能を使う

日本語	💼 を押すと、日本語の文字を基準とした表示になります。
中国語	を押すと、中国語の文字を基準とした表示になります。
韓国語	を押すと、韓国語の文字を基準とした表示になります。
オート	を押すと、自動で言語判断します。

●初期設定は「オート」です。

● MP3 データのファイルにない言語を選択した場合[?]と表記され、文字が表示されません。

キーを使って音量を調整する

MP3機能画面ではジョグの他にキーによって音量調整をすることができます。

音量のレベルをの黒い部分が増えると音量が大きく、黒い部分が減ると小さくなる ことで確認することができます。



■ MP3 データの保存先と取り扱いについて

MP3ファイルの作成、およびSDメモリーカードへの書き込みは、本機ではできません。パソコン等の対応機器を用いて MP3ファイルを作成後、市販のSDメモリーカードに書き込んでください。またパソコン上で作成したMP3ファイルをSD メモリーカードへ保存する場合には、ボイスレコーディング機能(CP 209ページ参照)で作成された「recording」と いうフォルダには保存しないでください(それ以外の場所に保存ください)。

●ファイル名に特殊な記号や文字は表示されません。

●パソコンから SD メモリーカードにコピーした MP3 データは、誤操作、カードの紛失、本機の故障、修理などにより失われることがありま す。それらのデータは必ずバックアップとしてパソコンに保存してご使用ください。なお MP3 データをパソコン等から SD メモリーカードへ 保存する操作手順については各対応機器の取扱説明書にてご確認ください。

MP3 データ(ビットレート 128Kbps)再生時の電池寿命

中間音量でイヤホンにてカバーを閉じた状態で連続再生した場合、充電式ニッケル水素電池で約4.7時間使用できます。 8

ボイスレコーディング機能を使う

市販のSDメモリーカードに音声を録音し、MP3形式のデータとして保存することができます。

音声を SD メモリーカードに録音する

SD メモリーカードを本体に挿入します。

(カード〈コンテンツカードやSDメモリーカード等〉を使う CF 199ページ参照)

2	メニュー画面から便利な機能 → ボイスレコーディングを選んで、ボイスレ コーディング画面を表示させます。 (メニュー画面からコンテンツを選ぶ 🕼 27 ページ参照)	#11/2 #12/2 <th< th=""></th<>
		空谷量 31.12MB 新規錄音(N) 削除 (R) Up(U) 再生 [P] 停止 [S] ④ Down[D]
3	 ★ N を押すと、録音が開始されます。画面に「録音中」とメッセージが表示されます。 ● 1 回の録音で最長約2時間まで録音することができます。 	ポイスレコーディング タイトル タイム リイン メントリン タイム リイン スクション 01001216 0.00014 スクション (計音中)(000002) (注音中)(000002) [夏る]→ 中止 [S] → 計音称了 空を容量 31.12% 新規録音(M) 向INK (A) 日ゆ(U) 再生 [P] (PL)(S)
4	S を押すと、録音が終了されます。画面に録音時間と録音データのサイズ、 空き容量が表示されます。	ポイスレコーディング ms タイトル タイム タイム タイム メンロの008 000201:19 0.23Mf KE2000002 00:001:09 0.05Mf KE200001 00:00:09 0.02MF KE200001 00:00:09 0.02MF WE300001 00:00:09 0.02MF デンロション マ生物学 30.89MF 単体 ド (************************************

カード使用時のエラーメッセージ

表示されるエラーメッセージ	対処方法	
カードを挿入してください	SD メモリーカードを正しく挿入してください。	
空き容量不足により録音ができません 別のカードを挿入してください	へ要なファイルを削除するなどして、空き容量を増やしてく	
空き容量が不足しているため録音を中止します	/ここい。 /ここい。	

録音データを再生する

1	ボイスレコーディング画面を表示させます。 📣 / 🐨 でカーソルを移動させ、 再生したいタイトルを選択します。	ホイスレコーディング 941トル REC00005 REC00004 REC00002 REC00002 REC00001	944 00:00:21 00:00:36 00:01:19 00:00:16 00:00:09	0, 05MB 0, 08MB 0, 08MB 0, 08MB 0, 08MB 0, 08MB 0, 08MB 0, 02MB
		新規錄音[N] 再生 [P]	空き容量 削除 [R] 停止 [S]	30.76MB Up[U] Oown[D]
2		ポイスレコーディング タイトル REC00005 REC00004 REC00003 ((両生中) REC00002 REC00001	1 514 00:00:21 00:00:36 00:01:19 00:00:16 00:00:09	0. 05MB 0. 08MB 0. 08MB 0. 28MB 0. 05MB 0. 02MB
		新規錄音[N] 再生 [P]	空き容量 削除 [R] 停止 [S]	30.76HB



ボイスレコーディング機能を使う

録音データを削除する

1	ボイスレコーディング画面を表示させます。 ▲/ ❤ でカーソルを移動させ、 削除したいタイトルを選択します。	#5(1) #7(2) mm 2(1) 9(1) 9(1) 9(2) 8E200005 00:00:21 0.05MB 8200008 8E200004 00:00:36 0.08MB 9300008 8E200002 00:00:16 0.05MB 8200008 8E200001 00:00:09 0.02MB 8200008
		空客容量 30.76H 新規錄音[M] 削除 [R] 【Uc[U] 再生 [P] (停止 [S] ④ 【Down[D]
2	■■■■ または R を押します。録音データの削除画面が表示されます。	ポイスレコーディング ローディング タイム タイム タイム RE200005 00:00:21 0.05MB RE200005 第0:00:21 0.05MB RE20001 潮田さん 第0:00 RE2001 潮田さん 第0:00 アンドレージ アンドレージ 第0:00 アンドレージ アンドレージ 第0:00 アンドレージ アンドレージ 第0:00 アンドレージ アンドレージ アンドレージ 空を容量 30.75HE アンドレージ アンドレージ アンドレージ アンドレージ
3	▲ ノ ● カーソルを移動させ、以下の項目から削除したい録音データに応じ て頂日を選びます	

▲/ ● カーソルを移動させ、以下の項目から削除したい録音データに応じ て項目を選びます。

「選択されている録音データのみ削除」を選択する場合	≪ /
「すべて削除」を選択する場合	≪ /

●ボイスレコーディング機能は本体へ録音データを保存するものではありません。ボイスレコーディング機能をご使用の際は、市販のSDメモリーカードをご用意ください。SDメモリーカードは保存したデータの不用意な消失を防ぐためにも、電源を切ってから取り出してください。

□ 録音データのファイルについて

SDメモリーカードに録音された音声データはMP3形式で保存されます。ファイル名は「RECnnnnn.mp3」というフォーマットで自動的に命名されます(nは数字を表します)。

ボイスレコーディングで録音した音声は「¥CANON¥recording¥」のフォルダに保存されます。

(MP3 データの保存先 🕞 208 ページ参照)

ビットレートは24kbpsです。

USB 辞書機能を使う

パソコンで選択した語句を電子辞書本体に転送し、その意味を調べることができます。 この機能はソフトウェアをインストールしてから使用できます。必ず「ソフトウェア使用許諾契約書」をお読みの 上、お使いのパソコンの動作環境が下記の内容に合うかをお確かめください。また「ソフトウェア使用許諾契約 書」に同意された場合のみ使用できます。

「デンフトウェア使用許諾契約書

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(以下「弊社」といいます)が提供するドライバ(以下「本ソフトウェア」といいます)を利用され るお客様には、本契約に同意していただく必要がございます。なお、本ソフトウェアをご利用された場合、お客様が本契約の内容に同意したも のとみなし、お客様と弊社との間で契約が締結されたものとします。

1 使用許諾

- (1)弊社は、お客様に対して、本ソフトウェアに対応するキヤノン製品を利用する目的で本ソフトウェアを使用する非独占的権利を許諾します。お客様は、当該目的以外で本ソフトウェアを使用したり、第三者に対する再使用許諾、譲渡、貸与、頒布、転載等の処分を行ってはなりません。
- (2) お客様は、本ソフトウェアの全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等すること はできません。また、第三者にそのような行為をさせてはなりません。
- (3)お客様が本契約の定めに違反した場合、お客様は、当然に本ソフトウェアの使用権を喪失し、直ちに本ソフトウェアおよびそのすべての 複製物を、利用不能な程度に破棄または消去しなければならないものとします。
- 2 権利の帰属
 - (1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権その他の知的財産権は、その内容により弊社に帰属します。
 - (2) お客様は、本ソフトウェアに付された商標、名称あるいは権利表示を消去、変更等してはならないものとします。

3 保証の否認・免責

- (1)弊社は、本ソフトウェアが、お客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または本ソフトウェアに瑕疵その他の不具合がないこと、その他本ソフトウェアに関していかなる保証もいたしません。
- (2)弊社は、本ソフトウェアの使用に付随または関連してお客様に生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。
- 4 輸出の禁止

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、本ソフトウェアの全部または一部を、直接または間接にも輸 出してはなりません。

5 準拠法・専属合意管轄裁判所

(1) 本契約の準拠法は日本法とします。

(2) 本契約に関連する一切の訴訟については、東京地方裁判所を第一審の専属合意管轄裁判所とします。
🎼 動作環境

OS

Windows 2000 SP4以上、Windows XP、Windows Vistaの日本語版

パソコン

以下の条件を充たす IBM PC/AT 互換(DOS/V)機

Windows 2000、Windows XP、Windows Vistaの日本語版がプリインストールされたUSBポート標準装備のもの

- ●その他、Windows 2000、Windows XP、Windows Vistaが推奨する動作環境に準拠。
- ●機器の構成により正常に動作しない場合があります。
- ●他の OS(Windows 3.1/95/NT 等)から Windows 2000、 Windows XP および Windows Vista にバージョ ンアップされたパソコンでの動作保証はいたしません。

● Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

USB 辞書をパソコンにインストールする

- パソコンと実機を付属の USB ケーブルで接続します。
- ●必ず、パソコン本体のUSBポートに直接接続してください。USBハブ経由で接続した場合は 正常に動作しない場合があります。
- Windows 2000 または Windows XP をお使いの場合は、パソコンの管理者権限でログオ ンしてください。
- ●パソコン接続中、電子辞書はパソコン本体から電源が供給されます(電源残量を示すアイコン が Ⅲ から ⅠⅠ に変わります)。



2 マイ コンピュータ上の「WORDTANK」ドライブを開き、インストーラーを ダブルクリックします。パソコン画面に表示されるメッセージに従って操作し てください。

●動作環境によりパソコン画面の表示は異なる場合があります。

は「Japanese」を選択します)。

Q == - 0 - 1 2 HR		
	C 16/9-2	
7F1200 📲 7f 32/C1-9		
92748928	h-F 7439 F347	
 システム体制を美でする 	G = 65 947.0 (C)	See 1-25 7-23 0
33 7073L08802858 (3) RESERVO		

😃 wordtank USB Dict	ionary Installer	
Please select a lange	uage for installatio	n 🔹
	Net	Our state
	Next	Cancel



インストールメッセージの言語をプルダウンメニューから選択します(ここで





次へをクリックすると、USB辞書ソフトウェアのインストール先を指定します(特に指定しない場合はCドライブのフォルダ「wordtank」に保存されます)。

次へをクリックすると、自動的にインストールを開始します。

本ソフトウェアはパソコンに認識されるとリムーバブルディスクとしてアクセスすることができます。

ショートカットをデス クトップに作成する

スタートアップに

すぐに起動する

登録する

以上でインストールを完了します。	
USB 辞書の設定を行う	

各項目にしたがい、USB 辞書の設定を行い「完了」をクリックします。

チェックマークを入れます。

はチェックマークを入れます。

パソコンのタスクバー上のUSBアイコンを選択し右クリックすると、以下のような設定を行うことができます。

デスクトップ上にUSB 辞書のショートカットアイコン を作成したい場合はチェックマークを入れます。

インストール終了と同時にUSB 辞書を記動したい場合

パソコンの記動時に、USB 辞書を記動したい場合は

ホットキーとメッセージ表示の設定

ポップアップウィンドウから「ホットキー設定(K)」選択し、検索を実行させるホットキー(ショートカット キー)を設定します。

- 1 設定したいキーのラジオボタンをクリックし、アルファベットを入力します (初期設定は「Alt + Q」です)。
- 2 検索実行時にパソコン上にメッセージを表示したい場合はチェックマークを入れます。
 - 設定を完了したら、確定をクリックします。
 - USB辞書ソフトウェアのホットキーに、パソコンのアプリケーションのショートカットと同じキーを設定した場合(例えば「Ctrl+C」な どは通常、コピー操作として使用されています)、USB辞書ソフトウェアのホットキー設定が優先されます。通常のパソコン操作で使用 するショートカットキーと重ならないように設定してください。





言語の設定

ポップアップウィンドウから「言語(L)」選択し、続けて表示されるポップ アップウィンドウから表示言語を設定します。英語、日本語、韓国語、中国語 (簡体字)、中国語(繁体字)の中から選ぶことができます(初期設定はインス トール時に選択した言語です)。



●動作環境によりパソコンの画面表示は異なる場合があります。

USB 辞書機能を使って語句を検索する

インストール手順完了後、パソコン画面からテキストを選び、その意味を調べます(ここでは「pursue」の意味 を調べます)。

USB ケーブルがパソコンと本機に接続されていることを確認します。

前ページでパソコンにインストールした「wordtank USB Dictionary」を 起動させ、パソコン画面でテキストデータの「pursue」を選択します。 ● USB 辞書のインストール時に「スタートアップに登録する」や「すぐに起動する」を選択し operational status of IM activities, is used marketing companies, but also by our bu Canon is working to restructure recycling develop technologies for its 3R* activities continues to <mark>pursue</mark> economy and efficier

(USB 辞書をパソコンにインストールする 🕼 215ページ参照)

た場合はソフトウェアを手動で起動する必要はありません。



ホットキーで指定された操作を実行すると、本機に文字データが送られ、検索 を開始します(初期設定では「Alt+Q」です)。

画面に検索結果が以下のように表示されます(右は複数の候補が検索された場 合の画面です)。

検索結果が複数の場合	検索文字に該当する語句が候補リスト画
	面に表示されます(右画面参照)。
検索結果が1つだけの場合	その語句の本文画面が表示されます。

● グノ● でカーソルを移動させ、調べたいコンテンツの語句を指定します。

● 収録されていない語句を選択した場合は、その語句に一番近いものを候補表示します。

▶ 🕫 を押すと、USB 通信画面に戻ります。



●USB 辞書機能を使って検索できる語句は Microsoft Office の Word、Excel、PowerPoint およびInternet Explorer(一部のプラグインやスクリプトを用いたコンテンツでは正しく検索 できない場合があります)上で選択できるテキストデータの語句です。またお使いになる環境 により文字を正しく認識できない場合があります。

pur sue Dw /pəˈsju:@HB; NAmE pərˈsu:@HA
V
verb (formal)
I [VN] to do sth or try to achieve sth
over a period of time:
ELAMPLES
Z to continue to discuss, find out
ADOUT OF DE HIVOIVEU HI SUI.
[also V speech]
3 [VN] to follow or chase sh/sth.
especially in order to catch them:
EXAMPLE

オックフフォード革革 pursus



USB 辞書使用後に電源を切る

パソコンに接続している間、電源はパソコン本体から供給されオートパワーオフ機能が無効になります(実機画面のアイコン表示が IIII から III に変わります)。電源を切りたい場合は、タスクバーの「ハードウェアを取り外すかまたは取り出す(U)」より、一度接続を解除してからUSBケーブルを取り外します。

USB 辞書画面を表示させた状態で、パソコン上で接続を解除します。

USB辞書画面にパソコンとの接続が解除された絵が表示されたことを確認し

たうえで、USBケーブルを取り外します。

バックライト

本機の ┉ を押して電源を切ります。

●USB辞書機能を使用していないときも、ケーブルを接続している間はパソコンから電源をとることができます(その間、実機画面の電源 残量を示すアイコンは ●● となります)。ただしパソコンが古かったり、USBハブ経由で接続した場合は電源の供給量が十分でなくなり、 通常の操作ができなくなることがあります。その場合は、電池をご使用ください。

WER:

USB 辞書をパソコンからアンインストールする

パソコンと実機を付属の USB ケーブルで接続します。

2 マイコンピュータ上の「WORDTANK」ドライブを開き、インストーラーを ダブルクリックします。 「USB 辞書コミュニケーションソフトウェアを削除しますか?」と表示され ます。

確定]をクリックすると、「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されます。「今すぐコンピュータを再起動します」または「後でコンピュータを再起動します」のいずれかを選択します。

😃 wordtank USB Dictionary Installer	🗖 🗆 🔁
コンピュータを再起動する必要があります	
◎ 今すぐコンピュータを再起動します	
○ 後でコンピュータを再起動します	
	完7

いわけまった。コオームのションを発展しません。

完了 をクリックすると、再起動後にアンインストールが完了します。

●パソコンと実機を接続していない場合は、パソコンの「プログラム(P)」からwordtank → Uninstallを選択して手順2から4を実行し ます。

電卓機能を使う

文字入力キーを使って、四則計算やメモリ計算などをすることができます。

メニュー画面から便利な機能 → 電卓を選んで、電卓画面を表示させます。 (メニュー画面からコンテンツを選ぶ 🕼 27ページ参照)



次ページの計算例を参考に計算を行います。

●計算を行う前に、 2 を押してださい。

電卓機能使用時のキーボード



一般計算						
計算例	操作		表示			
▼一般計算	▼一般計算					
140 - 35 + 22 = 127	140 ᡖ 35 🕇 22 💼		(127	7.)		
2 × 2 3 = 6	2 N 2 X 3		(6	3.)		
9 ÷ 5 × 3.2 + 7 = 12.76	9 m 5 n 3 a 2 v 7 📖		(12.70	6)		
(2+4) ÷ 3 × 8.1 = 16.2	2 🕇 4 🛉 3 📩 8 Å 1 🛤		(16.	2)		
▼自乗・べき乗						
$4^2 = 16$			(16	3.)		
■ [*] の後続けて <u></u> を (n-1) 回押すと、n 乗が得られます。						
▼逆数計算						
1/5 = 0.2	5 M		(0.3	2)		
■ 🛉 💼 を続けて押せば、	■ M m を続けて押せば、逆数が求められます。					

電卓機能を使う

一般計算						
計算例		操作	表 示			
▼定数計算	····································					
2 + 3 = 5	2 🗸	3	(5.)			
4 + 3 = 7	4	R: JR	(7.)			
1 - <u>2</u> = -1	1 <mark>B</mark>		(-1.)			
2 - <u>2</u> = 0	2	家: 2年 2月11日 - 2月11日 - 2月11日 - 2月11日	(0.)			
<u>2</u> ×3=6	2 Ň	3	(6.)			
<u>2</u> ×4=8			(8.)			
6 ÷ <u>3</u> = 2	6 M	3	(2.)			
$9 \div \underline{3} = 3$	9	新 - A版 ADMA CONT	(3.)			
■アンダーラインが引かれた数字が自動的に定数になります。乗数の場合は、定数を先に入力します。						

▼メモリ計算			
3×4 = 12	3 × 4 D	(M	12.)
-) 6 ÷ 0.2 = 30	6 M A 2 F	(^M	30.)
-18	S S	(^M	-18.)
+) 200	200 Ď	(M	200.)
182	RMCM S	(^M	182.)
	RMCM S	(182.)

電卓機能を使う

オーバーフロー						
数値の整数部が12桁を越える計算または計算結果の場合、または除数0の割り算を行った場合、オーバーフローサイ						
ン(ERROR)を表示して、以降の置数、計算を停止します。						
計算例	表示					
1234567890 × 10000	1234567890 👗 10000 💼	(E	12.3456789000)			
=123456789000 <u>00</u>	KOM (vorke)					
オーバーフロー						
$6 \div 0 = 0$	6 M 0 m	(E	0.)			

●「E」と表示されたとき、計算を続ける場合は x を、新たな計算を始めるときは z を押してください。
 ● ◎ を押すとメニュー画面に戻ります。

おぼえておくと便利なキーのはたらき

Z	クリアオールキー	計算中にこのキーを押すと、メモリも含めたすべての計算をクリアにします。
CK X	入力訂正キー	入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押す と、表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。 2回続けて押すと、計算途中の内容をすべてクリアできます(メモリ計算の内容は クリアされません)。
D	メモリプラス イコールキー	数値または演算結果をメモリに加算するときに使用します。
F	メモリマイナス イコールキー	数値または演算結果をメモリから引くときに使用します。
RWCM S	リコールメモリ/ クリアメモリキー	1回押すとメモリ内の数値を呼び出します。2回続けて押すと、メモリ内の数値を クリアします。

Before Initial Use

Insert the batteries

- 1 Turn off the device and position your thumbs on the arrows on the battery compartment cover located on the bottom of the device. Push the cover in the direction of the arrows to remove the cover.
 - Insert the two attached AAA size batteries and make sure that their poles (+ and -) are correctly aligned.
 - Install the battery cover again.

Reset device

Press Reset on the bottom of the device.



Open the device cover and adjust the display angle for the best visibility.





A message that reads "システムを初期化しますか?/Do you want to reset?". 3

To initialize the system, select " (t) " and press the i button.

After the display for the battery type setting and for the contrast adjustment setting, the menu is displayed, and the 4 device is ready for use.

Key Functions

			_		_	1~2	15 <u>~</u> 19	
1	×=-	Menu Key	3—		ſ			ົວກ
2	複数検索	Multiple Search Key			ſ	Q W E	AN UNIC XXX = HONK IVIC = HUNK A C 5 M C HI (X S S U S U S U S K R T Y U I O P	20
3	バックライト ON/OFF	 On/Off Key Press and then Solution to use back light function. 	4—			A S D ca cvc 5/71 Z X		22
4	シフト	Shift Key	5~10)—				10
5	マーカー/メモ ブック マーク	 Bookmark words/phrases in main text screen. Underline selected items in Wordmemo. Create/edit Memo 	11_				Nordtank H300	13
6	発音銀音	 Pronunciation Key Press m and then to start voice comparison and voice recording. 		13		• Enter/Tra	Cursor key (screen/line scroll) anslate	
7	入力切替 関連 語句	 Refer to common expressions, compound words, fixed expressions, phrasal verbs and idioms. Shift input method in single entry search /Memo edit errore otc. 		14 15	RX期(5)2785 漢字源 国語 和英	Example Meikyo/ Press	e sentence key Daijirin Key and then 🗰 for Kanjigen Key	
\vdash	V 2	Alter display fast size		16	英和	Press	and then in for Genius Jpn-Eng Key.	
8	サイズ	Zoom one character		17	英英	Oxford En	g-Eng Key	
\vdash	スペル	Select words in Jump. TTS and Maker fuctions.		18	単語帳	Wordmen	no Key	
9	範囲選択	• Run spell checker in the spell input of Basic Genius Eng- Jpn, Genius Eng-Jpn, Oxford Eng-Eng dictionaries.		19	л- к MP3	MP3 Pla Press 97	yer Key and then [MP3] to see the card contents mer	าน.
		• Display the previous History of searched words in the		20	登録/削除	Register/D	elete key	
	ビント	Show some hints in the Study Contents.		21		Input hyCheck a	phen (-) tick box in Wordmemo and Study contents.	
11	戻る	Return Key			スペース	• Input *	or ? in wild card search.	
12		Previous/Next entry headword key		22	?*&	Input & Insert sp	to link words in example search. bace in Memo.	

Quick Reference

Basic Operations

■ Turn the power on Open the device cover/Press 🞯

Either open the device cover or press in to turn on the power. The last viewed screen appears on the display (resume function).

The device can also be turned on by pressing any of following keys: 三一 國政法 国語 英和 英英 單語帳 MP3 The initial screen of the selected content appears on the display.

Turn the backlight on

Press $\overline{\text{press}}$ and $\overline{\text{operates}}$ operates the backlight to enable reading in poorly lit environments. The backlight automatically goes out if none of the keys are pressed for 30 seconds.

■ Turn the power off Close the device cover/Press 🛶

When the device is power on, close the device cover or press $\widehat{\textcircled{}}$ turns the power off. If the cover is closed during MP3 playback, playback continues with the cover closed.

The unit itself will automatically turn off to save energy in case it has not been used for a certain period (Auto power off function).

Select contents from the menu screen

Press x = 1 to display the menu screen. Select a content category by moving the cursor with x = 1. After selecting a category, move x = 1 to select the

desired content.

Press even to display the search screen.

Content can also be selected by pressing the alphabet key of the letter right of the displayed content.



Category	of each content		
Japanese	Meikyo	Super Daijirin	Kanjigen
	Кодо	Four-Kanji Phrases	Proverbs & Sayings
English	Basic Genius	Genius Eng-Jpn	Genius Jpn-Eng
	Oxford Eng-Eng	Eng conversation	
Study 1	Royal Grammar	World History	Jpn History
	Biographical Search	Waka Haiku Search	Dic. of Biology
	Formulas & Keywords	Chemical Equation	
Study 2	Royal Gram. B-up	Words Target	Words Target B-up
	Words Target Dict.	Idioms Target	Idioms Target B-up
	Idioms Target Dict.	Eiken 3rd Grade	Eiken 2nd Grade
	Center Listening	Pronunciation Clinic	Center Dialogue
Study 3	Kobun Target	Kanji Target 1700	Kanken 3rd Grade
	Kanken 2nd Grade	World History Rote	Jpn History Rote
Tools	Multiple Search	Wordmemo	MP3
	Voice Recording	USB Dictionary	Calculator
Setup	Setup		
Card	Card menu		
\ \			

Search words/phrases/sentences

- 1 Move (A) (Y) to select an input field. Enter a search word or phrase with the character keys.
- 2 A list of matched words/phrases will be displayed on the upper side. A preview of a chosen headword is displayed on the bottom side.
- Move (a) (v) to select the appropriate word/phrase on the list and press (v) to select the appropriate word/phrase on the list and press (v) to select the selected word/phrase.
 * Press (v) to change the font size.
- Scroll screen
 - Press 🔿 💓 to scroll up or down one line at a time.
 - **2** In the search result list, press to scroll up by screen or press \mathcal{I}_{RHL} to scroll down by screen.
 - 3 In the main text screen for the searched word, press > to scroll forward to the next screen or press < to scroll back to the previous screen of the text.
 - 4 In the main text screen for the searched word, press to display the previous entry or x_{RHL} to display the next entry.





 \pm in front of an item on the tree structure list indicates that the item contains sub-items. Select an item with \pm in front of it and then press the $\underline{\underline{m}}$ or $\mathbf{>}$ key to display the list of sub-items.

Press the 😡 or < key to return to the condition before the sub-items were displayed. — in front of an item indicates that no sub-items are contained for the items.

Switch display language

At the set-up menu screen, the display language can be switched between Japanese and English. The Set-up menu screen can be found on the Menu screen.

Data backup

This feature saves the dictionaries, environmental settings, bookmarks, memos and other data of this device on a SD Memory Card.

- 1 Load a SD Memory Card into the device. Select "バックアップ" (Backup) from the settings and press end press select "バックアップの開始" (Start Backup).
- 2 Enter a name for the data file in the file list. File names can be up to 8 numerical characters long. Press
- 3 Select " はい " (Yes) to confirm file backup and press into start data backup. * Do not eject the SD Memory Card or turn the power off while backing up data. Backup is complete when the message "Data has been successfully backed up." appears on the display.

Write data from SD Memory Card

Data saved on SD Memory Card can be written into the device.

Select " データの書き込み "(Restore the Data) on the screen and press 🛄

A list of backed up data files appears on the display. Select the file to write into the device and press

Press 📰 to start data writing.

Delete backup data

Saved files can be selected for deletion.

- 1 Select " バックアップデータの消去 " (Clear the backup file) on the screen and press A list of backed up data files appears on the display. Select the file to delete and press in
 - Select " はし) " (Yes) and press 🛄. The file deletion operation starts.



Use Quick Speech function

The natural voice pronunciation of English words in the contents can be played back on the contents which have English words on the main text screen and be able to select by . The pronunciation is based on the sound data by Eng-Eng dictionary.



Read TTS pronunciation

English text appearing in screens can be selected and read aloud by TTS (Text To Speech), if the selection is a phrase or word which does not include in sound data of Eng-Eng dictionary.

- Display the search result of "photograph" in Eng-Eng dictionary.
- Press \bigcirc and move \bigcirc \bigcirc \bigcirc to select "a".
- 🕐 Press 🏟 again to highlight 🗓 on the display. After that, press 🕟 to extend the highlighted area to "it".
- Press . "TTS" appears on the display and the selected English is read aloud.
 If non-English words are selected together with English words, only the English words are read aloud.



Hear the pronunciation

In the search result list screen or the main text screen for each dictionary, if the 🕀 mark appears in the content of the explanation, the pronunciation of the entry word or example sentence are available. Press 🐲 to check the pronunciation data.

Check your pronunciation

- If the demonstrate main text screen, press and and
- While the message " 発音中 " (Playing...) is displayed, the sample pronunciation is played back.
- When the message " 録音中 " (Recording...) appears, the recording will then be started. Please pronounce the word.
- After about one minute, recording will be ended. Both the sample and recorded pronunciations will be automatically played back while the message " 発音比較中 " (Comparing...) is displayed.
- When the pronunciation comparison is finished, the message "音声比較を続け ますか? " (Do you want to continue the comparison?) appears. Select " はい " (Yes) and press research to hear the recorded pronunciation again. If "いいえ" (No) is selected, the pronunciation comparison ends and the search result screen is displayed.
 - * The recorded pronunciation is erased when the pronunciation comparison is finished. It cannot be saved

JE, ELKUIIPACKU JJZ / JE I KOIIPACKU JZ
バクト/10月15日
【共に(com)堅く締める(pact), cf. impact】
上] most ~, 時に ~·est)
1 ぎっしり詰まった; 引き締まった; 目
の詰まった; (狭い場所に)密集した
例文》
 2 (家·車·道具などが)むだなスペースの
ない、こちんまりした; 小さくて安い
例文》

/
肥kampékt コンパクト kómpækt: ®kampékt ⊐ンパ



Use the Wordmemo

Register headwords

In the main text screen for dictionaries, press 2000 to copy the word into the Wordmemo. Press 2000 to see the list of headwords previously registered. Headwords are categorized by dictionary name automatically. Select "すべて" (All) to display all registered headwords.

Delete Wordmemo data

In the list of headwords, press [1999]. When the message "単語帳から削除しますか" (Delete headwords from Wordmemo) appears, select " はい " (Yes) and press [1999] to confirm the deletion.

	3件	•
すべて	すべて	
国語系	明鏡国語辞典	
	スーパー大辞林	
	漢字源	
	古語辞典	
	四字熟語	
	故事ことわざ	
	世界史事典	
	日本史事典	
	生物争典	
英語糸	ペーシックジーニアス	
	シーニアス央和	
	ンニーアス和英	
104 CT 445	0./#	_
平前版	01+	
	understand	
10日 英和 単語帳削除,マ	understand - カー,チェック解除	
■ □ 英和 単語帳削除,マ 単語制除	understand ーカー、チェック解除 選択している単語	
 単語 単語帳前除,マ 単語前除 	01+ understand ーカー,チェック解除 遅沢している単称 チェック済みの単語	
 中部 k 三 英和 単語帳削除,マ 単語削除 マーカー(第) 	01+ understand ーカー、チェック解除 遅振している単約 チェック済みの単語 リスト上の全単語 達想している単語のコーカー	
 平部限 □ 英利 単語帳削除,マ 単語削除 マーカー解除 	01 1000年15月20日 1000年15月20日 1000年15日 1000年年15日のマーカー リストとの全単語のマーカー リストとの全単語のマーカー	
単語版目録 □ 英和 単語版目除,マ 単語制除 マーカー解除 チェック解除	trndersizind	
	017 デェック解除 デェック解除 	
 単語帳 (○ 英和) □ 英和 □ 第約 □ 第約 □ 第約 □ 二 英和 □ 第 □ 第 ○ (○ 単語帳から) ○ (○ 単語帳から) 	ローローのおおれて コーク・チェック解除 おはほですでも知 チェック方法の伊思 リストレの全単語のマーカー リストレの全単語のマーカー リストレの全単語のマーカー リストレの全単語のマーカー リストレの全単語のマーカー 見たしますか 発転しますか 見ている単語のチェック	ľ

Use the Multi Jump function

- 1 In the main text screen of any dictionary, press and use < < < > > to select the word you wish to search in another dictionary. If it is a phrase, press again and press <> to expand the selection block.
- **2** Press $\underbrace{\mathbb{P}}_{\mathbb{P}}$ to display destinations. Use P P P to select the appropriate dictionary and press $\underbrace{\mathbb{P}}_{\mathbb{P}}$ to jump to the destination.
 - * If there is only one jump target, the jump will be directly executed.
 - * If → is shown in the main text screen, use Jump function to select →. Press view to see the reference.



Use Wild Card Search

In Japanese and English spelling input, "?" and "*" can be used as uncertain letter(s). If "*" is entered at the start followed by letters, Reversed Search can be used.

While "?" represents one character, " * " has no restriction.

2 For example, entering "chr * m" in English can provide the search result "chrism, chrysamthemum..etc" (headwords that start with "chr" and end by "m").

Use the Bookmark function

- 1 In the main text screen of any dictionary, press @ and select "ブックマークに 追加" (Add to Bookmark) option, then press e to add the current headword to the Bookmark.
- 2 In the initial search screen and main text screen of any dictionary, press it to display the Bookmark headword list (for the current dictionary). Use (a) (b) to select a
- play the Bookmark headword list (for the current dictionary). Use (A) (V) to select a headword listed, then press is to display the main text screen for the word.



In the Bookmark headword list, Use \triangleleft \bowtie \bowtie to select a headword listed, then press \blacksquare to remove the headword.

Use the History function

- In the initial search screen and main text screen of any dictionary, press up to display the History of headwords previously searched in the current dictionary.
- 2 Use \bigcirc to select any dictionary and use \bigcirc \bigcirc to select any headword listed, press \square to display the main text screen for the word. Press \square to remove the word from History.

View and test the Stroke Order

If 龍 appears in the main text screen of. Kanjigen, press 🝈 to view the stroke order of the Chinese character.

Use the Multi-Key Search function

- 1 In the initial search screen of any dictionary and the Multiple Dictionary Search, plural keywords can be entered. If
- 2 Up to 5 entries can be entered at a time. The restriction of the original input method will be applied in the Multi-Key Search. The number of matched results for the word completely inputted will be shown at the end of the input field when the cursor is moved to other field by pressing (A) (V).
- 3 While the input field is highlighted, press is to start a search. Press to reset the entry. Press to return to the single entry search screen.
 - In the search result screen, each matched word will provide its own list. Press <>>> to shift among different result lists.



Use the Memo function

- 1 In the main text screen of any dictionary, press in twice (once for the Bookmark function) and is to enter the Memo edit screen.
- 3 When using かな/漢字 (Japanese) mode, the character conversion function is available. Enter the letter(s) and press 💼 to show the matched Kana and Chinese characters on the pop-up window. Press (④) to select the appropriate characters. Press 🗰 to convert.



Press 🎒 and 📣 👽 to select (アイコン). Press 🕢 🕟 to shift icons. Press 🛄 to enter the selected icon.

Press 🗿 and 📣 🔿 to select [記号]. Press 🕢 🕟 to select signs (。, 、, ? or ! etc). Press 🚾 to enter the selected sign.

6 Press and **a v** to select \mathbf{x} . Press **v** to set up Memo Group option. Choose $*/**/^*$ to group the Memo. The selected icon will be shown next to \mathbf{x} .

メモ 茵	残り:192	XŦ	III)
XE XE *	XE KK XE	14. Þ	•
1000再チェック!_			
[入力切替]を押し,[巻][❷]で動作を選	択します	
[⊗][⊗]で操作を選択し,[訳・決定]で実	行します	

T In the main text screen of any dictionary, press twice and to display Memo Management screen. Use (A) (V) to select an appropriate group and press (IIII) to confirm. The list of Memos with the selected group will be displayed.

8 When the Memo Management screen is displayed, select an appropriate Memo and press 💼 to modify . Press 📾 to close the Memo screen.



Use cards (Content Card and SD Memory Card)

Insert cards

Turn power to the device on.

With the label facing upward, carefully slide the card into the slot until hearing it lock in place.

*Do not insert anything other than cards into the slot. Other objects may damage the slot and cards.

Eject cards

- Turn power to the device off. Gently push the card inward.
- * When you release your hand, the end of the card pops out, therefore keep one finger gently pressed against the edge of the card.
- Pull the card out.
- Carefully pull the card out straight out.

Use content cards

Load a content card into the devise.

Press $\overline{\text{MP3}}$ to display the card content menu screen. Move \bigcirc \bigcirc to select the content, and press





Use the MP3 player

Play back MP3 data

Load a SD Memory Card into the device. Press MP3 to display the MP3 player screen.

Move 💎 🔺 to select a title, and press





■ Icons, operating buttons and keys for using the MP3 player





The following operations can be performed by pressing operating buttons or keys.

	Icon/Operating button/Key	Operation	
		< When not in the playback mode >	
		I ress once to start payback.	
1		< During playback >	
I		🕢 / 🛄 : Press once to pause playback.	
		🕢 : Press and hold to stop payback.	
		: Press and hold for 2 seconds and release the keys to stop playback.	
2	Ē	During playback, press once to jump to the beginning of the previous title.	
2	¥ ∕ Ĕ	During playback, press once to jump to the beginning of the next title.	
3	Vol.+ / Vol / U / D	Adjust the volume.	
		The current volume level is displayed by ${}_{\circledast}$.	

Sound mode setting button

R A te	Select the repeat playback mode. The initial setting is " リピートなし " (OFF).
3 č E	Select the sound mode. The initial setting is " 普通(会話) " (Normal <speech>).</speech>
RM/CM	Select the speed mode. The initial setting is " ノーマル " (Normal).
L	Select the display language. The initial setting is " オート " (Auto).

* You can search for other content while playing back content on the MP3 player.

Quick Reference

Lock the jog and operate buttons

Slide the HOLD switch on the rear panel of the device to the right locks the jog and operate buttons on the keyboard. Slide it to the left unlocks the controls.

Set A-B repeat playback

During MP3 playback, press A to mark the start (point A) of the repeat title. Press A again to specify the end point of the repeat title (point B). Repeat playback starts immediately between points A and B. * If point B is not set, the repeat mode automatically turns off at the end of playback.

Stop A-B repeat playback

Press A during repeat playback to stop the repeat mode and play from the start.

Storage location of MP3 data

This device cannot create data files on cards. Create a folder for MP3 data somewhere on your PC other than the "recording" folder and make sure special characters do not appear in file names.

Use Voice recording

Audio can be recorded on SD Memory Cards and saved as audio data in MP3 format. This audio can be recorded on cards and played back.

- Record audio to cards and play back
 - 1 Load a SD Memory Card into the device.
 - Select " ボイスレコーディング " (Voice Recording) from the menu screen to display the voice recording screen.
 - **7** Press **N** to start recording. .
 - Press to stop recording. The recording time, amount of recorded data and available memory are shown on the display.

 - 4 Press s to stop playback.

Erase recorded data

Move A v to select a title.

Press and or R to display the recorded data erase screen. The recorded data will be erased.

* To prevent mistakes that can cause saved data to be lost, turn the power off before ejecting the card.

Recorded data files

Audio data recorded on cards is saved in MP3 format and automatically named with a "RECnnnn.mp3" format. (n is a letter of the alphabet or a number.) Audio recorded via the voice recording feature is saved in the "¥CANON¥recording¥" folder.

Bit rate is 24 kbps.

Use the USB Dictionary function

■ Install the USB Communication software in your PC.

- Directly connect your PC and the electronic dictionary with a USB cable. Open the "WORDTANK" drive from My Computer of your PC and start installation. Execute the software to start the installation.
- Select a word or phrase on the PC monitor. Use the hot keys (press [Alt] + [Q] keys
- as default setting) to start the search in the electronic dictionary.
- **3** Select words/phrases to check from the candidate list. Press 2 to display the main text screen.

■ Change the setting of the software.

Right-click on the USB Dictionary tray icon (if it is running) in the taskbar of your PC and you will see a popup menu. This enables you to change hot keys and the display language.



Power consumption in the USB Dictionary.

While connected to a PC, the USB Dictionary draws its power from the PC (not the battery), therefore the auto power off feature is deactivated.

Before physically un-plug the USB cable, stop the USB device in Windows first, then, un-plug the USB cable between the product and the PC. When the cable is disconnected, the power consumption will change back to battery.

■ Uninstall the software from the PC.

Open the "WORDTANK" drive from My Computer of your PC and double-click on the Installer.

2 Click on the [YES] to process forward. Select either "Restart now." or "Restart later.". The uninstallation will be completed after the PC is restarted.

Use the calculator



					0
c a L	7	8	9	÷	Ð
	4	5	6	×	RM CM
<u>CI</u>	1	2	3	-	M±
Ċſ	0	•	=	+	M≡

センター試験リスニング対策イラスト

本機に表示の際、2画面以上にまたがる「問題3B」のイラストを出題先ごとに掲載します。

【「トレーニング」→「リスニング模試」より

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
	17	18		19





(2)





(3)









1























付録


センター試験リスニング対策イラスト

【「トレーニング」→「スタート編 - 実践」→「part 2」より

Set A	Set B	Set C	Set D	Set E	Set F
	17		18		19







(2)



3











6

センター試験リスニング対策イラスト

5th

6th

19

3

4th

18

「傾向と対策」→「傾向と対策 - 類似問題」→「part 1」および「part 2」より

part 1

<u>part 2</u>

Sun Mon	Tue Wed Thu	Fri Sat	1 st	2nd	3rd	4
	17 18	19		17		1
1	2	3	1			Ð
			cheese		Mat	ard
4	5	6	4		E))
						Y
			OII		onio	on



lettuce 6





ham

【「傾向と対策」→「傾向と対策 - 試行問題」より

















■ 古文の読解学習に必要な国語用語および国文法(文語文法)用語を収めて解説した。 配列は五十音順に従った。

△印は、この用語解説中に見出し語として収めて解説してある項目。

〔あ〕	天草版 (ぁまくさばん)	キリシタン版の1つ。文禄(派んるく)・慶長(1592-1615)のころに、天草学林で刊行された本。宣教師の日 本語学習書として使われ、当時のことば、特に、口語を知るうえで貴重な資料。「伊曾保(いそほ)物語」「平家物語」 「ドチリナ・キリシタン」などがある。
〔し1〕	イ音便 (いおんびん)	→音便 (おんぴん)
	意志の助動詞 (いしのじよどうし)	動作や状態の実現・中止について話し手(書き手)の意志を表す助動詞。文語では、△推量の助動詞のうち「む」「ま し」「べし」「じ」「まじ」に、この用法がある。これらのうち、「まし」は疑問の語とともに用いられる場合で、意 志といっても、その裏に実現不可能という気持ちが含まれ、「じ」「まじ」は打消の意志を表す。「いざ、いと心安き 所にてのどかに聞こえむ(=申シ上ゲヨウ)」〈源・夕顔〉「しやせ <u>まし</u> (=シタモノダロウカ)せずやあら <u>まし</u> (= シナイデオイタモノダロウカ)」〈徒然・98〉
	已然形 (いぜんけい)	 文語の△活用形の1つ。「すでに(已)そうなっている事態(然)を表す」ことから已然形という。係助詞「こそ」の結びに使われるほか、「書けど」「よけれども」「遠ければ」のように、助詞「ど」「ども」「ば」が付いて使われる。用法は、(1)特定の付属語が付いて用いられる場合 ①助詞「ど」「ども」が付いて確定の逆接(…デアルケレドモ)の意を表す。「ははその色はうすけれど」〈古今・秋下〉「文(ム3み)を書きて<u>やれ</u>ども返りごともせず」〈竹取・貴公子たちの求婚〉 ②助詞「ば」が付いて確定の順接(…デアルカラ・…ナノデ)の意を表す。「春立てば」〈古今・春上〉「吉野(よしの)の山し近ければ」〈古今・冬〉 (2)単独に用いられる場合 ①係助詞「こそ」の結びとなる。「もののあはれは秋こそまされ」〈徒然・19〉「遣(や)り水より煙(けぶり)の立つこそをかしけれ」〈徒然・19〉 ▲ 本文「係り結び(かかりむすび)」 ②上代では、それだけで逆接や順接を表すこともある。「大舟を荒海(あるみ)にこぎ出弥舟(やふね)たけ(=シキリニ舟ヲコグケレドモ)わが見し子らがまみは著(しる)しも」〈万・7・1270〉「家離(さか)りいます吾妹(かきも)を停(とど)めかね山隠しつれ(=山ガ隠シテシマッタノデ)心ど(=シッカリシタ心)もなし」〈万・3・474〉

	一般条件 (いつぱんじようけん)	→条件法(じょうけんほう)
	異本 (いほん)	同一の古典作品であっても、伝えられた本文の違いによって種々の相違のあることがある。その相違は、作者が初稿本を 訂正した場合もあるが、多くは、転写の際の誤写や脱落、あるいは追加や書きかえなどによって生じたものである。これ ら本文に違いのある本を互いに「異本」という。たとえば「源氏物語」には、①青表紙本 ②河内 (かち) 本 ③別本(① ②以外のもの)の3類があり、「枕草子」にも、雑纂 (さっとん) 形態の伝能因本、三巻本、類纂 (るいさん) 形態の堺 (さかい) 本、前田本など多くの異本がある。語り物では特に異本の生じる機会が多く、「平家物語」は22類44種の異本がある。
	いろは歌 (いろはうた)	→本文「いろは(伊呂波)」
	韻 (いん)	漢字の ム字音(しまん)を分けて頭声と尾声とにするとき、その尾声を韻という。頭声の子音を除き去った部分で、ふつう1つか2つの母音より成るが、これに子音が付くものもある。韻の部分が同じものや似たものを同韻の字として、 詩や律文の句尾に用いて音律を整える。これを ム押韻(はういん)、または「韻をふむ」という。なお、韻を ム四声(しせい)によって分け、同韻の字を分類して、元代以後、平声(ひょうしょう)30、上声(しょうしょう)29、去声(きょしょう) 30、入声(につしょう)170106韻とし、今日も漢詩を作るときなどに用いる。
	隠語 (いんご)	仲間意識や秘密を守るために、自分たちの仲間だけに通用する特別な意味をもった語。たとえば「しょば(=場所)」 「しゃり(=飯)」などの類。博徒 (ぱくと) ・香具師 (ゃぃ) ・犯罪者などが多く用いる。商人が数字を符丁で言ったり するのも 1 種の隠語である。
)	ウ音便 (うおんぴん)	→音便 (おんぴん)
	受身の助動詞 (うけみのじよどうし)	他から動作を受ける意を表す助動詞。文語では「る」「らる」(口語では「れる」「られる」) に、この用法がある。上 代には「ゆ」も用いた。「思はぬ人の衣 (きぬ) に摺 (す) らゆな (=摺ラレルナ)」〈万・7・1342〉。これらの助 動詞で表される受身の表現は、国語では生物が主語になることが多く、無生物が主語になることはまれであった。後 者の場合を「非情の受身」とよぶことがある。また、国語の受身は、多く被害を受ける意を含み、これを「迷惑の受 身」とよぶことがある。「かう討ち捨て <u>られ</u> て」〈源・桐壺〉 なお、軍記物では、ム使役の助動詞「す」「さす」を受身の箇所に用いることがある。「弓手 (ゆんで) のひざ口を射 <u>させ、</u> 痛手なれば心静かに自害せん」〈平家・4〉などであるが、これはきわめて特殊な表現(受動的な表現をきらったもの) で、ム武士詞 (ざしことば) といわれるものである。
	歌枕 (うたまくら)	和歌の中に詠まれ、親しまれた諸国の名所。香具山・逢坂山 (ぉぅさかやぉ) ・鴫立沢 (しぎたつさわ) ・白河の関・竜田川など。 多くは現地に臨まずに詠まれた。芭蕉 (ばしょう) の「おくのほそ道」には、数々の歌枕をたずねたことが記されている。

	打消の助動詞 (うちけしのじよどうし)	否定の助動詞ともいう。文語には「ず」(口語には「ない」「ぬ(ん)」)がある。これに打消推量の「じ」「まじ」を加 えることもある。「じ」は「む」の打消で、現代語の「ないだろう」に当たる。「まじ」は「べし」の打消で、現代語の 「まい」に当たる。なお「まじ」が用いられるのは中古以降で、上代には「ましじ」が用いられた。「君が心は忘らゆ <u>ましじ</u> 」〈万・20・4506〉。また、この時代の「ゆくへを知ら <u>に</u> 」〈万・2・201〉の「に」も打消の助動詞と して扱うことがある。「忘れせ <u>なふ</u> も」〈万・14・3438〉「寝 <u>なへ</u> 子」〈万・14・3550〉の「なふ(特殊型)」 は東国で行われた打消の助動詞である。
(え)	婉曲表現 (えんきよくひようげん)	物事を述べる場合、事態を直接に表現することをさけて、やんわりとやわらげて表現すること。助動詞の「めり」は婉 曲の表現に用いられることがあり、中古末期には例が多い。 また、文法的には、스推量の助動詞「む」「らむ」「けむ」などを用いて、婉曲に表現したり、命令の表現で、命令形を 用いると強くなりすぎるというような場合に、推量の助動詞「む」を用いて、「とくこそ試みさせたまは <u>め</u> (=ハヤク オタメシニナルノガヨロシイデショウ)」〈源・若紫〉などのように「…したほうがよい」という意の勧誘表現をとった りするのもこの中に入る。
	延言 (えんげん)	「語 <u>る</u> →語 <u>らふ</u> 」「言 <u>ふ</u> →言 <u>はく</u> 」「取 <u>る</u> →取 <u>らす</u> 」のような現象を1音が延びて2音となったとみる江戸時代の文法用 語。賀茂真淵 (かものまぶち) が「語意考」で取り上げて以来、語釈・語源の説明などに広く用いられたが、現在は延言と して説明することはしない。
〔お〕	押韻 (おういん)	詩や韻文で、句の終わりに同じ△韻を用いて音律を整えることをいい、「韻をふむ」ともいう。漢詩の五言絶句では、 承・結の2句に、七言絶句では、起・承・結の3句に韻をふむ。このように、語末の音をそろえることを「脚韻」と いい、欧米の詩にも例が多い。これに対し、語頭の音をそろえることを「頭韻」といい、わが国の歌や韻文にも例が 見える「よき人のよしとよく見てよしと言ひしよし野よく見よよき人よく見」〈万・1・27〉
	奥書 (おくがき)	→跋 (ぱつ) ・本文「おくがき」
	送り仮名 (おくりがな)	 (1)漢字と仮名を用いて文を書くときに、漢字の読み方を明らかにするために、漢字の次に書き添える仮名。「書く」の「く」、「読む」の「む」の類。その表記の基準については、昭和48年6月内閣告示(昭和56年一部改正)「送り仮名の付け方」によるものが多い。 (2)漢字を訓読するときに、漢字の右下方(再読の文字には左下方)に添える仮名。助詞・助動詞・活用語尾などを、片仮名で示す。古く、漢字を本体にして「捨て仮名」ともいったが、今は「送り仮名」という。
	男手 (おとこで)	→本文「をとこで」

	躍り字 (おどりじ)	同じ字の繰り返しを示す符号。仮名の「ゝ」「~~」、漢字の「々」「〻」がある。反復符号・繰り返し符号ともいう。た とえば「ちゝはゝ」「もろ ~~」「堂々」「堂〻」など。「ゝ」「〻」は中国で漢字の反復に用いられ、「~~」は「ゝゝ」の 連綿から生まれたもの、「々」は中国の「〻」を誤ったところからきた国字である。今日では、使用法が固定し、「ち々」 「山 ~~」は誤りとする。「〻」も「 屢〻 (」は」ば)」「稍〻 (ゃゃ)」など特定の場合に用いる。
	折り句 (おりく)	→本文「をりく」
	音 (おん)	→字音 (じおん)
	音節 (おんせつ)	音声の単位の1つ。国語で、音を細かに区切って発音するときに、いちばん小さい単位として意識するものをいう。 たとえば「秋」はア〔a〕キ〔ki〕、「花」はハ〔ha〕ナ〔na〕の2つに切ることができる。この各々を音節という。 〔a〕〔k〕〔i〕〔h〕〔n〕は、それぞれ△単音であるので、ア〔a〕は1単音で1音節、キ〔ki〕八〔ha〕ナ 〔na〕は2単音で1音節を構成している。撥音(はつおん)「ン」、促音「ッ」も1音節であり、日本語ではこれを 除いて音節の終わりには必ず母音が来、このような音節の特徴を開音節という。なお、わが国の仮名は、ふつう1つ の音節をそのまま1字として書き表すので「音節文字」といい、ローマ字は、母音と子音を別々に書き表すので「単 音文字」という。なお、日本語の音節数は110余といわれ、4000から7000の音節があるといわれる英語に 比較してはるかに少ない。日本語の表音文字である仮名が音節文字であるのも、この音節数が比較的に少ないことと 関連しているともいわれる。
	女手 (おんなで)	→本文「をんなで」
	音便 (おんぴん)	 発音の便宜上、語中・語尾の音節で、もとの音に変化が生じる現象をいう。音便には次の4種がある。 (1) イ音便…語中・語尾のキ・ギ・シ(まれに、リ・テ)の音がイの音に変化する現象。 活用しない語では「きさきのみや」→「きさいのみや」・「まして」→「まいて」など。 文語動詞では、カ行・ガ行・サ行の四段活用の連用形が助詞「て」・助動詞「たり」に連なるときに現れる。「いとかうしもおぼい」(し) たるは、いかなるにか」〈落窪〉 文語形容詞では、連体形「一き」「一しき」の形が△体言または△終助詞「かな」などに連なるときに現れる。「さすがに若い(き)入にひかれて」〈更級〉 文語助動詞では「べし」「まじ」の連体形「べき」「まじき」が「べい」「まじい」となることがある。「名乗ることはある<u>まじい</u>(き)ぞ」〈平家〉「はしたなくもあ<u>べい</u>(あるべき)かな」〈源・朝顔〉

		イ音便が盛んに用いられるようになったのは中古以降で、形容詞連体形のイ音便形「―い」「―しい」は、中世、終
		正形としても用いられ、現住の口詰形谷詞の終正形・運体形となうた。 (1) ウキ価、語中、語尾のク、ガード、これドの辛がウの辛に亦化する現象
		(2)ソロ度…品中、品用のジェジ・ビ・ビ・ミスととの目がツの日に及れりの現象。 近田にすい話では、「おいい」(「酒)」、「からぶ」、「主にない」(ター)」、「主にこと」など
		「油田しない話では、「小の(へ(頭)」→「ハ)(、」、「まつ)(こ(各人)」→「まつ)(こ)はこ。
		X話戦詞では、パロ・パロ・マロの地段活用の連用形が助詞 にし・助戦詞 にし」などに連ばるとさに現れる。 と
		さとご通び起う(ひ)りるわかんとはり腹の右)(洛注)
		X話形谷詞では、連用形「一く」「一しく」の形が他の本用言や助詞」と」に連ねるとさに現れる。「たた眷呂(とう
		くう)をて、いと恋しう(く)思い聞こえ結が」(家)を(あか)
		リ首便は上代にはのより用いられず、中古以降盛んに用いられるようによった。
		(3) 撥(はつ) 首便…語中・語電の二・ビ・ミ・リ・ルの首の強固 / に変化する現象。
		又語動詞では、八行・マ行の四段活用、ムデ行変格活用の連用形の切詞)に「「助動詞」にの「し連ぶるとさに現れる。
		「わかすすきに手きるきるつんたる(つめたる)来を」〈土佐〉「朋友死心で(タヒlとく)よらんところなし」〈仮名調問〉
		△フ行後格活用・又語形容詞・形容動詞(デリ活用)の連体形が動動 「なり」のり」に連なるときに現れる。 木
		略 (citz) 叫はいとおそろしか <u>ん</u> (る)なる叫ぞかし」〈源・浮舟〉 「をかしと目とまることはあ <u>ん</u> (る)めれと」〈玉
		勝問〉
		なお、撥音は、表記されなかったり、他の字で代用されたりしている場合がある。
		(4)促(そく)音便…語中・語尾のキ・シ・チ・ヒ・リの音が促音(=ツマル音)(っ」に変化する現象。
		文語動詞では、夕行・八行・ラ行の四段活用、△ラ行変格活用の運用形が助詞 て」・助動詞 たり」に運なるとき
		に現れる。 各 (おのおの) 弓を引きて箭 (や) を放って(放ちて)馳 (は) せ違 (か) ふ」 〈今昔〉
		促音便は中古後期に広く行われるようになったが、その初期にすでに促音便があったと思われる例がある。ただし、
		促音を表す文字がなかったので、その表記はない。
〔か〕	会意	△六書(りくしょ)の1つ。今までにできあがっている漢字を2つ以上組み合わせて1つの字形を作り、特定の意味と音
	(/)'()'())	とを表すもの。たとえば「林」は木がたくさん茂っている場所、「炎」は火が盛んに燃えるさまを表している。会意
		は、 △象形や △指事の構成方法を一歩進めたものといえる。 ▲ 六書 (り<しょ)
	開音節 (かいおんせつ)	→音節 (おんせつ)
	開合	「開」は開音・開口音ともいい、口の開きの広い音、「合」は合音・合口音ともいい、口の開きの狭い音。古く、オ
	(かいごう)	列長音に開音〔xì〕合音〔xì〕の2種があり、歴史的仮名遣いでいえば、オウ・コウなどは鎌倉時代から長音化し、
		室町時代末に合音〔o:〕となり、アウ・カウ・アフ・カフは、鎌倉時代にアオ・カオ、室町時代に開音〔s:〕となり、

		その後近世初期までに合音〔の〕となって、一本化した。
	回想の助動詞 (かいそうのじょどうし)	→過去の助動詞(かこのじよどうし)
	返り点 (かえりてん)	漢文を訓読するとき、国語の語順に合うように、下から上に返って読むことを示す符号。返り点には、(1)レ点(レ)、 (2)一二点(一、二、三…)、(3)上下点(上、下または上、中、下)、(4)甲乙点(甲、乙、丙…)、(5)天 地点(天、地または天、地、人)があり、レ点で間に合わないときに、一二点、一二点で間に合わないときに上下点とい うように、用いる順序が決められている。レ点は1字だけ返る場合で、下の字の左肩に添え、その他の点は左下方に添え る。2字の熟語に返る場合は、熟語の上の字の左下方に、3字の熟語に返る場合は、いちばん上の字の左下方に添える。
	係助詞 (かかりじよし)	→係助詞(けいじょし)
	カ行変格活用 (かぎょうへんかくかつ ょう)	動詞の活用の1つ。略してカ変という。活用形はイ・ウ・オの三段の音からなり、ウ段音に「る」「れ」、オ段音に 「よ」の付いたものである。また、活用は語幹と語尾の区別がない。文語の命令形は中古までは「こちゐて来 (ご) (= コチラへ連レテコイ)」〈更級〉のように「こ」の形も用い、のちには「こよ」がもっぱら用いられた。活用する動 詞は、文語では「来 (<)」(口語では「来 (<) る」)1語だけであるが、これが他の動詞と複合して「参りく」「ま うでく」「出 (い) でく」などの力変の複合動詞をつくることがある。
	隠し題 (かくしだい)	→本文「かくしだい」
-	格助詞 (かくじよし)	 △体言、または体言に準じる語(用言・助動詞の連体形)などに付いて、それの付いた文節が、それを受ける文節に対して、どういう資格関係(格)に立つかを示す助詞をいう。 文語の格助詞 (1)主語(主格)を示すもの…が・の 「雀(すずめ)の子を犬君(いぬき)が逃がしつる」〈源氏・若紫〉「うぐひす<u>の</u>鳴く」〈古今・春上〉 (2)連体修飾語(連体格)を示すもの…が・の 「梅<u>が</u>枝(=梅ノ枝)に」〈古今・春上〉「こ<u>の</u>源氏<u>の</u>物語」〈更級〉 (3)連用修飾語(連用格)を示すもの…を・に・ヘ・と・より・から・にて・して 「鳥をうらやみ、霞(かすみ)をあはれび」〈古今・仮名序〉「あづまに行きけるに」〈伊勢・7〉 (参考)上代は△連体修飾語を示すものとして「つ」「な」、△連用修飾語を示すものとして「ゆ」「ゆり」「よ」も用いられた。「沖<u>つ</u>風(=沖二吹ク風)」〈万・15・3614〉「吾家(かぎへ)の方<u>よ</u>(=ヨリ)」〈記・中〉「田子の浦ゆ(=ヲ通ッテ)」〈万・3・321〉

	確定 (かくてい)	→条件法(じょうけんほう)
	確定条件 (かくていじようけん)	→条件法(じょうけんほう)
	過去の助動詞 (かこのじよどうし)	過去を表す助動詞。文語では「き」「けり」(口語では「た」)がこれに属する。「き」は過去に存在し、現在は存在 しなくなっている事実を表す場合(したがって、おのれの経験として語ることが多い)、「けり」は、過去にあった事 実で、それが現在と何らかの関連をもっているということを述べるのに用いられる。「けり」が他から伝え聞いた過去 の事実を回想する場合に用いられるのもそうした事情による。この「過去の助動詞」を「回想の助動詞」ということも ある。それは、過去という「時」を表すというよりも、過去の事実を回想するという気持ちが強いという理由にもとづく。 「鬼のやうなるもの出(い)で来て殺さむとしき」〈竹取・蓬莱の玉の枝〉「人目をもるる涙なり <u>けり</u> 」〈続後撰・恋1〉
	仮借 (かしや)	△六書(ŋ<しよ)の1つ。漢字そのものの意味内容とは関係なしに、その字の音を借りて別の物や事柄を表すもの。た とえば、「北」はもともと「にげる・そむく」の意であるが、「ホク」の音を借りて方角を表す意に転用する。また 「革」は「かわ」の意であるが、「カク」の音を借りて「革新」「改革」というように「あらためる」意に用いる。 「△万葉仮名」は、国語を写すために漢字を仮借的に使用したものである。→ 六書(ŋ<しょ)
	歌体 (かたい)	ー首の歌は、5音・7音を基本単位として、いくつかの句に分かれる。その句の音数の配列の形体によって分類した ものを「歌体」という。たとえば、「万葉集」では、短歌(5・7・5・7・7)・長歌(5・7・5・7・5・7 5・7・7)・旋頭歌(せどうか)(5・7・7・5・7・7)の3種があり、ほかに短歌に1句(7音)が加わっ て、仏足石歌体(5・7・5・7・7・7)というのもある。仏足石歌体は、奈良薬師寺の仏足石歌21首が、この 歌体であるところから名づけられたもの。「みあとつくる石の響きは天(ぁぁ)に到(いた)り地(っち)さへ揺(ゅ)すれ父 母(ちちはは)がために諸(もろひと)のために」〈歌謡〉。このほか、これらより古く、上代には、片歌(かたうた)(5・7・ 7)という歌体もあった。「はしけやし我家(かきへ)の方(かた)よ雲居(くもぁ)たち来(く)も」〈記・中〉。中古以後 になると、今様(いまょう)(7・5・7・5・7・5・7・5)などの諸体を生じた。「仏は常にいませども現(うつつ) ならぬぞあはれなる 人の音せぬ暁(ぁかつき)にほのかに夢に見え給ふ」〈梁塵秘抄〉
	片仮名 (かたかな)	漢字の字画を省略してできた△表音文字(「八」のように漢字「八」の全画からできたものもある)。漢文や仏典の 訓読・注釈に際し、「△万葉仮名」の偏(へん)・旁(つくり)・冠・脚など、漢字の一部を用いて記すようになったのが 初めで、中古の初期に、南都(=奈良)の僧侶(そうりょ)たちによって用いられた。その後、一般に通用しはじめ、字 体もまちまちであったが、しだいに統一された。片仮名はもともとが漢文の訓点であるため、漢文脈系統のものや注 釈などに用いられた。

活用 (かつよう)	△用言・△助動詞などが、他の語への切れ続きのうえで語形が規則的・体系的に変化すること。たとえば「読む」という語は、助動詞「ず」に付くときには「読ま」、助動詞「けり」に付くときには「読み」、ふつうに言い切るときには「読む」というように変化する。この活用のあるものは、自立語では動詞・形容詞・形容動詞、付属語では助動詞である。 ▲活用形 (かつょうけい) ・活用語尾 (かつょうごび)
活用形 (かつようけい)	△用言・△助動詞などの語形変化の形。△未然形・△連用形・△終止形・△連体形・△已然(いぜん)形(口語文法では仮定形)・△命令形の6種類がある。なお、各活用形の名称は、その活用形のもついくつかの用法のうち、おもな用法をとって名づけたものである。したがって、終止形であっても「死ぬべし」のように、終止せずに、下に助動詞などの付く場合がある。また、すべての活用語が6種類の活用形全部をもつとはかぎらず、特に助動詞では未然形や連用形や命令形などを欠く場合も多い。活用形は、古く、各活用形が独自の意味をもったと考えられるが、口語などでは命令形がその活用形としての独自の意味をもつほかは、「書かない」「書けば」のように下に他の語が付いた形で意味がとらえられるようになる。
活用語 (かつようご)	△活用のある単語をいう。△自立語では、△動詞・△形容詞・△形容動詞、△付属語では△助動詞。
活用語尾(かつようごび)	△用言の活用で、形の変わる部分をいう。単に「語尾」ということもある。活用語から△語幹を除いた部分。「読む」 という語では「読 <u>ま</u> ・読 <u>み</u> ・読 <u>む</u> ・読 <u>む</u> ・読 <u>め</u> ・読 <u>め</u> 」と変わる。この「ま・み・む・む・め・め」を活用語尾とい う。国語では、△音節を単位として語形の変化を考えるのがふつうであるから、動詞などの中には語幹と活用語尾と の区別がつけられないものもある。たとえば「見る」「来(<)」など。↔語幹
仮定 (かてい)	→条件法 (じょうけんほう)
仮定条件 (かていじようけん)	→条件法 (じょうけんほう)
仮名遣い (かなづかい)	仮名を用いて国語を書き表すうえの規則をいう。仮名遣いが問題とされるのは、同じ音に2種類以上の仮名の書き方 があるとき、または同じ仮名に2種類以上の発音があるときである。たとえば、「顔」は「かほ(△歴史的仮名遣い)」 「かお(現代仮名遣い)」の2通りがあり、「あ」は「仰(ぁふ)ぐ」の場合は「ア」、「桜花(ぁぅ<ゎ)」の場合は「オ」 と発音するなどである。これらの問題が起こる原因は、表記が固定するのに対して、発音が変化するからで、前例の 「顔」を「かほ」と書くのは、古くは「かお」でも「かを」でも書き表せない発音をもっていたからである。仮名遣 いを表記方法によって分けたものに、鎌倉初期ごろの「△定家仮名遣い」、江戸初期、契沖(けいちゅう)の定めた「△ 歴史的仮名遣い」、昭和61年内閣告示「現代仮名遣い」がある。

	可能動詞 (かのうどうし)	可能の意を表す動詞。中世後期ごろに発生した。△四段活用動詞(口語では五段活用動詞)が同じ行の△下一段活用 に転じて可能の意味をもつもので、「書く→書ける」、「読む→読める」の類。「これを中とは <u>読め</u> ぬぞ」〈史記抄〉
	可能の助動詞 (かのうのじよどうし)	…できる、という意を表す助動詞。文語では「る」「らる」(口語では「れる」「られる」)にこの用法がある。「冬 はいかなる所にも住まる」〈徒然・55〉「胸のみふたがりて、物なども見入れられず」〈源・少女(をとめ)〉。上代 には「ゆ」「らゆ」も用いられた。「眠(い)の寝(ね)らえぬに」〈万・15・3700〉。これらの助動詞は中古ご ろまで打消や反語とともに用いられるのがふつうであり、肯定文の中での用法が多く見られるようになるのは中世以 降である。命令形はない。なお△推量の助動詞「べし」も可能の意を表す場合がある。「羽なければ空をも飛ぶ <u>べか</u> ら」ず」〈方丈〉
	雅文 (カʲぶん)	古い時代(おもに平安時代)の文章およびその文体をまねて作った文章(△擬古文)をいう。江戸時代には古代の言語を正しく風雅なものと考え、後世の言語を卑俗なもの(俗文といった)とする考え方があって、それから出た名称。 ▲擬古文 (ぎこぶん)
	上一段活用 (かみいちだんかつよう)	動詞活用の1つ。△活用語尾が△五十音図のイ段の音と、それに「る」「れ」などが添加されるという形式をもつもの。文語ではこれに属する動詞は少なく、「着る」「似る」「煮る」「干 (ひ) る」「嚔 (ひ) る」「簸 (ひ) る」「見る」「射る」「鋳 (い) る」「沃 (い) る」「居 (ゐ) る」「率 (ゐ) る」のほか、その複合語である「かへりみる」「おもんみる」「試みる」「ひきゐる」「用ゐる」など10数語である。語幹と活用語尾とに分けられないものが多い。
	上二段活用 (かみにだんかつよう)	文語動詞の活用の1つ。△活用語尾が△五十音図のイ段・ウ段の音と、それに「る」「れ」などが添加されるという 形式をもつもの。たとえば「起く」「過ぐ」「落つ」など。この種の活用をする動詞は、口語ではほとんど上一段に なるが、「恨む」のように、五段活用をするものがある。また、「生く」「帯ぶ」などは、古く四段にも活用した。
	カリ活用 (かりかつよう)	文語形容詞の活用で「一から」「一かり」「一かる」「一かれ」(ク活用)あるいは「一しから」「一しかり」「 しかる」「一しかれ」(シク活用)の系列を、特に取り出して「カリ活用」ということがある。これらは連用形「 く」「一しく」に動詞「あり」が付いたもので、本来の形容詞の補助活用とみられ、ふつう形容詞の活用の中に含め て考えられている。
	漢語 (かんご)	中国から入ってきた外来語、およびそれにならってわが国で作った音読する漢字の熟語をいう。「客」「剣」「平和」 「勇気」などの類。「銭 (せに)」「梅 (うめ)」「絵 (ゑ)」なども、中国から入った語といわれているが、その伝来も古 く、外来語と考えられないくらいである。漢語は名詞として用いられるものが大部分であるが、動詞…「御覧ず」「装 束 (さうぞ)く」・形容詞…「怠々 (たいだい)し」・形容動詞…「大事なり」「堂々たり」・副詞…「突然」「切 (せつ) に」 などとしても用いられる。

	感嘆文 (かんたんぶん)	→感動文 (かんどうぶん)
-	感動詞 (かんどうし)	品詞の1つ。△自立語で△活用がなく、主語・述語・修飾語・被修飾語にもならず、接続することもない。一般に文 のはじめにあって、独立語として用いられる。感嘆詞・間投詞・終止詞ともいう。文語の感動詞は意味のうえから次 の3種類に分けられる。 (1) 感動を表すもの…ああ・あっぱれ・あな・あはや・あはれ・あら・さても・すは など (2) 呼びかけを表すもの…いかに・いざ・いさや・いで・なう・なうなう・やよ など (3) 応答を表すもの…いな・いなや・いや など
	間投助詞 (かんとうじょし)	種々の語に付いて、文節の終わりにあり、語勢・語調を整え、余情を添え、感動の意を表す助詞。これに属する文語の助詞は「や」「よ」「を」など。上代には、「ろ」「ゑ」なども用いられた。「少納言よ」〈枕・雪のいと高う降りたるを〉「あはれ、いと寒しや」〈源・夕顔〉「昨日今日とは思はざりしを」〈伊勢・125〉「よしゑやし浦はなくとも」〈万・2・131〉「伊香保ろに」〈万・14・3428〉
	感動文 (かんどうぶん)	文を、その性質上から分類した場合の1種で、感動の意味を表すもの。文のはじめに感動詞がくることが多く、また、切れる文節に感動の意味を示す△終助詞を用いることが多い。「あはれ、いと寒しや」〈源・夕顔〉「三笠 (みかさ)の山に出でし月 <u>かも</u> 」〈古今・羇旅〉→文の種類 (ぶんのしゆるい)・平叙文 (へいじょぶん)・疑問文 (きもんぶん)・命令文 (めいれいぶん)
	願望の助動詞 (がんぼうのじよどうし)	→希望の助動詞 (きぼうのじよどうし)
	刊本 (かんぽん)	一般に印刷刊行された図書をいうが、狭義には、近世およびそれ以前の木活字本、銅活字本、整版本などをいう。▲版本 (はんぼん)
	完了の助動詞 (かんりようのじよどうし)	動作または作用が完結している意を表す助動詞。文語では「つ」「ぬ」「たり」「り」がこれに属する。完了の助動 詞を時を表すものとする説があるが、時とは区別して考えられる。動作や作用自体に重点をおいて、それが完結する 意を表す。 「陣の外に引き棄てつ」〈枕・うへにさぶらふ御猫は〉「つゆ寝ずなりぬ」〈枕・しのびたる所に〉「講師(かっじ)、 物、酒おこせたり」〈土佐〉「顔はいと赤く摺(す)りなして立てり」〈源・若紫〉 「つ」「ぬ」の2語の区別については諸説があって定めにくいが、自分の積極的な意志による事態に「つ」、そうで ない事態に「ぬ」を用いるという説が有力である。

(き) - - -	擬古文 (ぎこぶん)	江戸時代から明治初年にかけて、国学者などが主として平安時代の仮名文をまねて作った文章をいう。作者は、賀茂 真淵 (かものまぶち) ・村田春海 (はるみ) ・橘千蔭 (たちばなちかげ) ・本居宣長 (もとおりのりなが) ・藤井高尚 (たかなお) ・清水浜 臣 (はまおみ) らが有名である。和文または△雅文ということもある。→雅文 (がぶん)
	起承転結 (きしようてんけつ)	漢詩の△絶句において、第1句を起句、第2句を承句、第3句を転句、第4句を結句(合句)といい、第1句はその 述べるところを起こし、第2句はこれを承(∋)け、第3句は変化させるために転じ、第4句は全体を結ぶというよう に作る。転じて、文章を作る場合などにもこの方法が応用されることがある。
	擬人法 (ぎじんほう)	人でないものを人になぞらえて表現する修辞法。無生物を生きもののように考えて「風叫ぶ」「浪 (ка) 怒る」や、 動植物を人になぞらえて「花笑ひ、鳥歌ふ」という類。古くから用いられ、表現の効果も大きい。
	擬声語 (ぎせいご)	物の音響や音声などをそのまままねて写した語。「とんとん」「かちかち」「ばたばた」「わんわん」「かあかあ」 の類。こどもが犬を「わんわん」というように、事物の名や動作は、その音や声を写したことから起こったものが多 く、「かり(雁)」「ほととぎす」はその鳴き声を、「すす(啜)る」はその音を模したものといわれる。
	擬態語 (ぎたいご)	事物の状態をある音によって象徴的に写した語。軍記物に多い。「信頼卿 (のヌiょりきょう) の上にむずと付き給ふ」〈平 治〉「 <u>ほろほろ</u> と山吹散るか滝の音」〈笈の小文・芭蕉〉
	既定 (きてい)	→条件法(じょうけんほう)
	既定条件 (きていじようけん)	→条件法(じょうけんほう)
	希望の助動詞 (きぼうのじよどうし)	希望を表す助動詞。願望の助動詞ともいう。文語では「まほし」「たし」(口語は「たい」)がこれに属する。「ま ほし」は上代に使われた「まくほし」が転じたものとされ、中古・中世に用いられた。「くはしく御有り様も奏し侍 ら <u>まほしき</u> を」〈源・桐壺〉。「たし」は中古末期に現れ、中世には「まほし」に代わって用いられるようになった。 「家にあり <u>たき</u> 木は松・桜。松は五葉もよし。花はひとへなる、よし」〈徒然・139〉
	疑問文 (ぎもんぶん)	文をその性質上から分類した場合の1種で、疑問または反語の意味を表すもの。文中に疑問・反語を表す名詞・副詞・助詞「や」「か」などが用いられ、切れる文節が「や」「か」などで終わることが多い。「雲の <u>いづこ</u> に月やどるら む(疑問)」〈古今・夏〉「月 <u>や</u> あらぬ春 <u>や</u> 昔の春ならぬ(反語)」〈古今・恋5〉→文の種類(ぶんのしゅるい)・平叙 文(へいじょぶん)・命令文(ぬいれいぶん)・感動文(かんどうぶん)
	脚韻 (きやくいん)	→押韻 (おういん)
	逆接 (ぎゃくせつ)	→接続 (せつぞく)

	逆態接続 (ぎやくたいせつぞく)	→接続 (せつぞく)
	旧仮名遣い (きゆうかなづかい)	→歴史的仮名遣い (れきしてきかなづかい)
	校合 (きようごう)	△写本や△刊本において、他の写本や△流布本 (ゐゐぽん) ・ △異本を対校(=比べ正スコト)して正しい本文を求める 作業。この作業には、諸本の相違した箇所のみを取りあげるものから、字形・行数・文字の加除に及ぶ詳細なものま である。その成果の一部または全部を示した本を「校本 (こうぽん)」、校訂者がもっとも原本に近いとして示す形を「定 本」という。→定本 (ていぽん)
	去声 (きょしょう)	→四声 (しせい)
(<)	ク活用 (くかつよう)	文語形容詞の活用の1つ。連用形の語尾が「…く」の形をとるもの。たとえば「よし」「おもしろし」「めでたし」 「遠し」などがこれに属する。「〈から〉・く〈かり〉・し・き〈かる〉・けれ・〈かれ〉」(〈 〉内はこの系列 から特に取り出してカリ活用とよぶこともある)と活用する。なお、未然形に「く」の形を認める説もある。→カリ 活用 (かりかつょう)・シク活用 (しくかつょう)
	句切れ (くぎれ)	短歌を5・7・5・7・7の5句に分けて、第1句で切れる場合を「初句切れ」、第2句で切れる場合を「2句切れ」 というようによぶ。2句切れ・4句切れは△五七調といい、万葉集などに多くみられ、3句切れは△七五調といい、 新古今集などに多い。なお、連歌・俳諧(はいかい)でも△切れ字を用いて「句切れ」という語を使用することがある。 初句切れ「悔(<や)しかも/かく知らませばあをによし国内(<ぬち)ことごと見せましものを」〈万・5・801〉。 2句切れ「わが背子はいづく行くらむ/奥つ藻の隠(なばの)の山を今日か越ゆらむ」〈万・1・43〉。3句切れ「見 渡せば花も紅葉もなかりけり/浦のとまやの秋の夕暮れ」〈新古今・秋上〉。2句切れ・4句切れ「春過ぎて夏来た るらし/白栲(いろたへ)の衣ほしたり/天の香具山」〈万・1・28〉
	ク語法 (<ごほう)	「言はく」「恋ふらく」「恋しけく」のように、語尾が「く」になって体言のように用いられる活用語の一用法。た とえば「語らく」「老ゆらく」「為(す)らく」「来(<)らく」などのように動詞に付き、「寒けく」「悲しけく」な どのように形容詞に付き、「(有ら)なく」「(有り)けらく」などのように助動詞に付く。これらの用法について、 従来から諸説があったが、接続がまちまちのために説明しにくかった。そこで、これを統一的に説明するために、「― aku」という語を考え、この語がそれぞれの連体形に付いてできたものであるとする、古くからの説が近年有力になっ た。たとえば、語らくkataru(連体形)+aku→katar aku→kataraku ただ、この考えには、「―aku」という語 が単独で用いられた例がない点、△過去の助動詞「き」の連体形「し」に接続した場合、たとえば「言ひしく」など の「―しく」について例外として考えなければならない点など、問題がある。

屈折語 (くつせつご)	言語の形態的分類の1つ。これを組織する単語が、主として屈折(inflexion)の形態をもっている場合で、印欧語族、 ハム・セム語族の諸言語が代表例。屈折とは、ある単語がその語形の一部を変化し、これによって文中における他の 語に対する文法的関係を示す方法である。▲膠着語(こうちゃくご)・孤立語(こりっご)
句点 (くてん)	→句読点 (<とうてん)
句読点 (くとうてん)	文の切れ目に付けるくぎり符号。元来、句点「。(まる・しろまる)」読点「、(てん)」から出た名称で、ふつうには「。」と「、」をいうが、そのほか「, (コンマ)」「. (ピリオド)」「・(なか点・くろまる)」「 」(かぎ)『 』(ふたえかぎ)()(まるがっこ)〔 〕(かくがっこ)などを含める場合もある。句読点の古い例は中古初期の点本(漢文に訓点を付けた本)に見えるが、しだいに仮名文に用いられるようになった。
廓詞 (くるわことば)	江戸時代、遊里で遊女などが使った遊里独特のことば。江戸時代初期に京都の島原で使いはじめられ、のち江戸吉原 にも伝わり、著名となった。発生の理由は、客の貴賤 (きせん)上下、出身地の違いなどから、その平等性を考慮したも のと思われる。「ありんす(=アリマス)」「わちき(=ワタシ)」「ぬし(=オマエサン)」など。
訓 (くん)	→字訓 (U<ん)
訓点語 (くんてんご)	漢文を訓読した言語。△訓点によって書かれているもの、漢文を読み下したものに現れている言語。漢語が多く、漢 文にひかれた特殊な語法がある。会話文・引用文が△地(じ)の文と同性質で、敬語も少ない。和文に用いられない古 語や独特の語彙(ごい)がある。
訓読 (くんどく)	漢文を国語の語法に従って逐語的に訳読すること。音のまま読む漢字も、訓で読む漢字もあるが、文全体は国語の語 序に従って読む。したがって、漢文と国文とでは語序が異なるので、反読(返読・倒読)が起こり、また同一の漢字 を2回読む△再読とか、訓読しない置き字などということが起こる。

(け)	係結 (けいけつ)	→本文「係り結び (かかりむすび) 」
	敬語 (けいこ)	聞き手(読み手)や話の中の人物に対する敬意を表す特別の語や言い方。ふつう、話し手(書き手)が、話の中の人物に関して敬意を表す△尊敬語、動作する人を低めるなどして、その動作の相手を高める△謙譲語(または謙遜(けん そん)語)、話しぶりを丁寧にする△丁寧語の3種類に分類する。「何事をか <u>のたまは</u> (尊敬)む事は <u>承ら</u> (謙譲)ざ らむ」〈竹取・貴公子たちの求婚〉「夜ふけ <u>侍り</u> (丁寧)ぬべし」〈源・桐壺〉 ▲尊敬語(そんけいご)・謙譲語(けんじょうご)・丁寧語(ていねいご)
	敬語動詞 (けいこどうし)	敬語の意味(尊敬・謙譲・丁寧)をあわせもつ動詞。 (1) 尊敬語〔文語〕ます・います・たまふ・おはす・おはします・おぼす・のたまふ 〔口語〕いらっしゃる・なさる・くださる (2) 謙譲語〔文語〕たまはる・うけたまはる・つかまつる・奉る・参る・まうづ・まかる・申す・聞こゆ 〔口語〕さしあげる・いただく(=モラウ・食ウ・飲ム) (3) 丁寧語〔文語〕侍り・候 (さぶら) ふ 〔口語〕ございます・たべる・いただく(=食ウ)
	形式名詞 (けいしきめいし)	△普通名詞のうち、意味のうえからいって名詞としての実質を備えず、名詞としての一般的形式しかもっていないもの。そのまま単独で用いることはなく、必ず修飾する語を必要とする。「親のため、妻子のためには恥をも忘れ、盗みもしつべきことなり」〈徒然・142〉 ↔実質名詞
	係助詞 (けいじょし)	種々の語に付いて、助詞を含む文節に強意・疑問などの意味を添え、それを受ける文節に一定の制約を加える助詞。 文語では「は」「も」「ぞ」「なむ」「や」「か」「こそ」がこれに属する。「は」「も」の結びは終止形であるか ら、他の係助詞のように形態上から結びを制約することはないが、意味上からの制約がある。「ぞ」「なむ」「や」 「か」は連体形で結び、「こそ」は已然形で結ぶ。▲本文「係り結び (かかりむすび)」
	形声 (けいせい)	 △六書(b<しよ)の1つ。意味を表す漢字と、音を示す漢字とを組み合わせ、新しい意味を表すように作られた漢字をいう。たとえば△象形文字の「水」は、「みず」という広い意味をもつが、その意味を限定して水に関係するある事物を示すために、「水(=;)」に、それぞれ別個の音を示す漢字をそえて別の漢字をつくる。「汁(しふ)」は「+(しふ)」が音を表し「しる」の意。「汗(かん)」は「干(かん)」が音を表し、皮膚から出る水「あせ」の意。「諧声(かいせい)」ともいう。 ▲ 六書(b<しよ)

	敬体 (けいたい)	口語の文体を、おもに指定(断定)の表現に現れる特徴から、常体(一だ体・一である体)・敬体(一です体・一で ございます体・一であります体)の2つに分けることがある。敬体は、特に丁寧語を用いた口語の文体で、動詞には 「ます」が付くのがふつうである。一般に、話しことばには敬体が多く、書きことばには常体が多い。
	形容詞 (けいょうし)	品詞の1つ。 ム自立語で ム活用があり、言い切りの形の語尾が、文語では「し」、口語では「い」になる ム用言。物 事の性質・状態を表す。活用の種類としては、ク活用(から・くかり・し・きかる・けれ・かれ)・シク活用(しか ら・しく/しかり・し・しき/しかる・しけれ・しかれ)の2つがある。形容詞の語幹(シク活用は終止形)は「あ な <u>おもしろ</u> 」のように、単独で用いられ、また「 <u>あやし</u> のわざ」のように、助詞「の」を伴って用いられることがあ る。上代には、語幹(シク活用は終止形)に「み」をつけて、原因・理由を表す用法がある。「都を <u>遠み</u> (=都ガ遠 イノデ)」〈万・1・51〉「君を愛(うく)しみ(=君ガナツカシイノデ)」〈万・4・569〉。また、下に「さ」 「み」「け」「げ」などを伴って名詞となる場合がある。「暑 <u>さ</u> に乱れたまへる御有り様を」〈源・帚木(ははきぎ)〉。 なお、上代には未然形・已然形に「ーけ」「ーしけ」という形があった。「明けむあしたに消(け)なば <u>惜しけ</u> む」〈万・ 8・1650〉「奈良の大路(まま)は行き <u>よけ</u> ど」〈万・15・3750〉。日本語の形容詞は「海 <u>青し</u> 」のように、 それだけで述語になれるという特徴がある。
	形容詞型活用の 助動詞 (けいようしがたかつよ うのじよどうし)	活用のしかたが形容詞に準じる助動詞。文語では、①ク活用型…たし・ベし・ごとし ②シク活用型…まほし・まじ (上代は、ましじ・らし)がこれに属する。ただし、活用形は形容詞とまったく同じというのではなく、その活用形 のいくつかを欠いているものがある。
	形容動詞 (けいようどうし)	品詞の1つ。△自立語で△活用があり、言い切りの形の語尾が、文語では「なり」「たり」、口語では「だ」となる △用言。物事の性質・状態を表す。文語では、ナリ活用(なら・なりに・なり・なる・なれ・なれ)・タリ活用(た ら・たりと・たり・たる・たれ・たれ)の2種類がある。 元来、形容動詞は「静かにあり→静かなり」「堂々とあり→堂々たり」のように、連用形の1つの形としている「― に」「―と」に動詞「あり」が付いたもので、「静かに」「堂々と」だけでは種々の意味(たとえば、打消・推量な ど)を表すことができないので、「あり」を付けて動詞のように働かせようとしたものである。なお、△タリ活用の 語幹は漢語が多い。 形容動詞の語幹は「波静か」のように単独で用いられる。また、下に助詞「の」を伴って用いられることがある。「あ <u>はれ</u> の鳥と言はぬ時なし」〈万・18・4113〉。接尾語「さ」を伴って名詞ともなる。「しづかさや岩にしみ入る 蝉(セン∀)の声」〈おくのほそ道・立石寺・芭蕉〉 形容動詞は活用のしかたが動詞に近く、状態性の意味を表し、連用形が副詞法になることが形容詞に近いという、動 詞と形容詞との中間の性格の語である。

	形容動詞型活用 の助動詞 (けいようどうしがた かつようのじよどうし)	活用のしかたが△形容動詞に準じる助動詞。文語では①ナリ活用型…なり(=断定)・べらなり ②タリ活用型…た り(=断定)がこれに属する。
	謙譲語 (けんじようご)	△敬語の1種。動作する人に関することを謙遜 (けんそん) していうことによって、動作を受ける人への敬意を表す言い 方。謙遜語とも。文語では、 (1)接頭語…拝一(読)・愚一(見) (2)代名詞…まろ・わらは (3)動詞…聞こゆ(=申シアゲル)・承る(=ウカガウ)・奉る(=サシアゲル)・賜る(=イタダク)・申す(= 申シアゲル)・まかづ(=退出スル)・参る・まうづ(=参上スル・ウカガウ)・候(さぶら)ふ(=伺候スル) (4) △補助動詞…聞こゆ・奉る・申す・給ふ(下二段活用)・まつる・参らす など。 なお、文語動詞では、ただ、動作を受ける人への敬意を表すために使われることが多い。
	謙遜語 (けんそんご)	→謙譲語(けんじょうご)
(2)	語彙 (ごい)	ある範囲の単語の集まりを総体的にさしていう。集まりを形づくる個々の単語を直接的にさすのではない。アイヌ語 の語彙といえば、アイヌ語に用いられる単語の総体をさし、近松の語彙といえば、近松の作品に現れた単語の総体を さす。したがって「『夕波千鳥』は柿本人麻呂の語彙である」などというのは適当ではない。
	口語 (こうご)	もともとのことばの意味では話しことばをいい、現代語の話しことばと、それにもとづく書きことば(=口語文)と を合わせてもいう。 ↔ 文語
	合成語 (こうせいこ)	→複合語(ふくごうご)
	膠着語 (こうちやくご)	言語の形態的分類の1つ。これを組織する単語が、主として膠着 (agglutination)の形態をもっているもので、日本語・トルコ語、その他ウラルアルタイ語族の諸言語がそれであるといわれる。膠着とは、単語の前後に、意味があっても独立しない辞を連結してその単語の意味を修飾したり、文中の他の単語に対する文法的関係を示したりする方法である。▲屈折語 (<>センマン)・孤立語 (こりっこ)

	呼応 (こおう)	 1つの文の中で、前にくるある特定の語によって、これを受ける語が一定の言い方をする現象。副詞の呼応をさしていうことが多い。すなわち△叙述の副詞が前に来るときは、それに応じる語があとに要求される。 (1) 打消の語を要求するもの…決して・絶えて・いさ・つゆ・え。「人はいさ心も知らず」〈古今・春上〉 (2) 禁止の語を要求するもの…ゆめ・断じて・決して。「ゆめ心おきたまふな」〈源・若菜下〉 (3) 「べし」を要求するもの…すべからく・まさに。「すべからくまづその心づかひを修行すべし(=当然)」〈徒然・217〉 ほかに願望・比況・推量・仮定の語を要求するものなどがある。なお、呼応に係り結びの関係を含める場合もある。 ▲ 叙述の副詞(じょじゅつのふくし)
	古活字本 (こかつじぼん)	文禄2(1593)年以降、慶安(1648~1652)年間ごろまでに、活字で印刷刊行された書物をいう。慶長 勅版・伏見版・嵯峨本 (さかぼん) などが有名であるが、広く民間でも行われていた。銅活字本は少なく、ほとんどが木 活字本。江戸時代末期の木活字本に対する語。
	語幹 (ごかん)	△活用語で、活用語尾を除いた、形の変化しない部分をいう。たとえば「読む」の「読 (ょ) 」、「高し」の「高 (たか) 」、 「静かなり」の「静か」など。また「見る」「得 (ぅ) 」「来 (<) 」「す」などのように語全体が変化するため、活用語尾 との区別ができないものもある。 ↔ 語尾
	語根 (ここん)	語構成要素の1つで、それだけでは単独に用いられない、また、これ以上分解することのできない単語の基本的意味 をもつもの。「ほのめく」「ほのかに」「ほの暗い」「ほのぼの」の「ほの」、「しづかに」「しづ心」「しづしづ」 の「しづ」など。 語根は、「ほのめく」のようにへ接辞と合したり、「ほのぼの」のように、それ自身重なったり、「ほのぐらし」の ように他の単語と合したりして単語を作る。語根と接頭語を比較すると、接頭語がそれの付く語に単に付属的な意味 を加えるのに対して、語根は、それの付く語の中心となる意味を表しているところが異なる。
	五七調 (ごしちちよう)	わが国の詩歌は、5音・7音を音数律の基本単位として、その反復・配列によって構成されることが多い。五七調は、 上5音、下7音の結合から成る調子で、上軽く、下重く、そのために安定感があって、典雅・荘重なリズムを形成す る。古く万葉集の長歌に多く見られたが、古今集を経て新古今集の時代になると、△七五調が盛んとなり、五七調は 衰えた。長歌の場合は5音・7音の反復でそのまま五七調であるが、短歌では△2句切れや4句切れになる場合を五 七調とよぶ。五七調は和歌以外の詩歌にも用いられ、特に明治以後は詩のスタイルの一体として用いられている。

	五十音図 (ごじゆうおんず)	仮名を、縦の行 (ぎょう) に△子音、横の列に△母音をそろえて配列した図をいう。
		わらやまはなたさかあ
		ゐ り い み ひ に ち し き い
		うるゆむふぬつすくう
		ゑ れ え め へ ね て せ け え
		をろよもほのとそこお
		縦の行は、それぞれ最初のかなによって、ア行・カ行などとよび、横の列は、ア段・イ段などとよぶ。五十音図は国 語の音節のすべてを示しているものではない。たとえば、△濁音・△半濁音・△拗 _(よう) 音・△促 _(そく) 音・△撥 _{(は} っ) 音などがない。しかし、代表的な音節はほぼ集められており、しかもその配列が音節相互の関係を明らかにしてい るので、古くから音の転換・変化、語源の解釈、仮名遣い、△活用などに用いられている。現在では、仮名の字母表 としても用いられ、「いろは」やアルファベットの代わりに、辞書・索引・名簿などにおける見出し語の配列の基準 として使われている。 なお、この図の起源については諸説があるが、中古中期ごろにはすでに成立していたと考えられる。ただ古くは配列 の順序が今と違っているものがあるなどさまざまであり一定しない。
	詞書 (ことばがき)	→本文「ことばがき」
	語尾 (ごび)	→活用語尾 (かつようごび)
	固有名詞 (こゆうめいし)	△名詞のうちで、ある1つの事物に限って用いられるもの。人名、地名、書名などがそれである。たとえば、「芭蕉 (ばしょう)」「奈良」「万葉集」。これには、「東京駅」「京都市長」のように複合したものもある。
	孤立語 (こりつご)	言語の形態的分類の1つ。これを組織する単語が、主として孤立(isolation)の形で文を構成する習慣があるもので、 古代中国語がその例としてあげられる。孤立とは、単語が連なって文を構成するとき、各単語が語尾変化とかその他 文法的関係を示す変化をまったくもたないで連結される形態をいう。

(さ)	最高敬語 (さいこうけいご)	平安時代に、帝 (みかど) や后 (きさき) に対する尊敬語として、「たまふ」に尊敬の助動詞「す」「さす」「しむ」を併 せた「せたまふ」「させたまふ」「しめたまふ」を用いることが多いので、これを他の場合と区別して最高敬語といっ ている。このほか、尊敬語の「おはします」「のたまはす」「御覧ぜらる」、謙譲語の「奏す」「啓す」「きこえさ す」などもあり、これらも含めていう場合もある。
	再読 (さいどく)	漢文の訓読において、同じ字を2回読むこと。たとえば、「将」は「まさに…す」、「宜」は「よろしく…べし」、 「須」は「すべからく…べし」、「当」は「まさに…べし」、「猶」は「なほ…ごとし」、「未」は「いまだ…ず」 など。これらは国文法にいう△叙述(陳述)の副詞の、呼応という語法である。
	サ行変格活用 ^{(さぎようへんかくかつ} ょう)	 動詞活用の1つ。略してサ変という。活用は(せ・し・す・する・すれ・せよ)。このように活用する動詞は「す」と「おはす」の2語(口語では「する」だけ)である。ただし「す」は他のいろいろな語と合して多くの複合動詞をつくる。 →サ変複合動詞(さへんふくごうどうし) 参考)「おはす」は、四段活用と下二段活用との両様の活用があったとして、サ行変格活用と見ない説もあるが、その根拠となる用例については問題があり、サ変と見るのが妥当であろう。
	サ変複合動詞 (さへんぷくごうどうし)	サ行変格活用動詞(文語では「す」、口語では「する」)が、国語の名詞・漢語、その他に付いて、複合動詞となったもの。サ変動詞の「す」だけでは動作を漠然と表すだけであるから、その上に実質を示す語を添えたもので、その数は非常に多い。一例を示すと、 (1)国語の名詞と複合したもの…旅す・やどりす・もみぢす・かうぶりす・心す (2)漢語名詞と複合したもの…奏す・命ず・嘆ず・読経(どきゃう)す・保存す (3)形容詞の音便形と複合したもの…全うす・久しうす・かたじけなうす (4)形容動詞と複合したもの…新たにす・専(もつば)らにす (5)形容詞の語幹に「み」の付いた名詞と複合したもの…甘んず(甘みす)・安んず(安みす)
	三句切れ (さんくぎれ)	→句切れ (<ぎn)

〔し〕	子音 (UU)(A)		△母音に対する名称で、気息の通る路 (みち)を、一時閉鎖するか、または狭まりをつくることによって生じる音。子音は、 発音される場所に トゥズ唇ゆき、舌ゆき、喉ゆ (っついい)きの 2番に分けられ、発音される方法に トゥズ映刻き、廃焼き					
	(0040)	光 転 勝 もの	ョご1 終音・)を無	鼻音・流音の 乗音をいうが	5種に分けられる 、これらを総合	ョ・喉内 (こうない) る。なお、声帯(して、国語にふ:	の目のる種に力で の振動によって新 つう用いられるそ	アライに、光白される方法にようて収装自・厚奈白・ 発音するものを有声音、振動によらないで発音する 子音を表にすると次のようになる。↔ 母音(ぽいん)
		Γ			唇内音	舌内音	喉内音	
			破	無声音	р	t	k	
			谷	有声音	b	d	g	
			摩鹵	無声音	F	s∫	h	
			音	有声音	W	z 3 j		
			破擦	無声音		ts t∫		
			普	有声音		dz dʒ		
			鼻音	有声音	m	n	ŋ N	
			流音	有声音		r		
	使役の助動詞 (しえきのじよどうし)	他に動作・作用をさせるという意味を表す助動詞。文語では、「す」「さす」「しむ」がこれに属する。「夜ごとに 人をすゑて守らせければ」〈伊勢・5〉「名を三室戸(みむろど)斎部(いむべ)の秋田を呼びてつけさす」〈竹取・かぐ や姫の生ひ立ち〉「生(しゃう)を苦しめて目を喜 <u>ばしむ</u> るは、桀(けつ)・肘(ちう)が心なり」〈徒然・121〉 なお、「す」「さす」「しむ」が尊敬の意を表すことがあるが、その場合は常に「給ふ」「おはします」「らる」な どの尊敬を表す語とともに用いられるときで、単独の場合は必ず使役の意である。						
	字音 (じおん)	単に うお/	こ、音 ん))	音 (おん) ともい の順に渡来。	う。中国から伝	わった発音に従	った漢字の読み	方で、呉音 (ごおん) ・漢音・唐音(または宋音 (そ
		(1) 뜻 물	≷音…行 (ぎゃう 旨で、上代に用) ・京 (きゃう) ・ いられた。仏教	清(しゃう)・和 関係の語などに	(わ)・火 (<わ) 多い。	中国南方の呉地方の発音。わが国に最初に入った
		(2	2) 注 一	美音…行 (かう) て伝えられ	 ・京 (けい) ・清 ・	(せい) ・和 (<れ お場合に主とし	o) ・火 (<ゎ) 隋 て田いられた。	(すい)・唐(とう)の音をいう。上代以後、正音と
		(3	3) 6 清	き 音音 (しん) の音が	行(あん)・京(ま 中国の商人や、	きる。 きん)・清 (しん) 中国より帰国し	・和 (を) ・火 (i た留学僧 (特に	z) 中古中期以後、近世にかけて、宋・明 (みん) ・ 「禅宗関係)によって伝えられた。

字音 (じま	音仮名遣い ぅんかなづかい)	漢字の字音を仮名で表記する場合のきまり。 ム歴史的仮名遣いの立場では「公(こう)・甲(かぶ)・好(かう)・光(くわう)」「東 (とう)・答(たふ)・唐(たう)」と書き、現代的仮名遣いの立場では、それぞれ「こう」「とう」と書き表す。今日は現代仮名 遣いによる字音仮名遣いが行われている。
シク (しく	7活用 (かつよう)	文語形容詞の活用の1つ。連用形の語尾が「…しく」の形をとるもの。「うつくし」「恋し」などがこれに属する。 「〈しから〉・しく〈しかり〉・し・しき〈しかる〉・しけれ・〈しかれ〉」(〈 〉内はこの系列から特に取り出 してカリ活用とよぶこともある)と活用する。なお、未然形に「しく」の形を認める説もある。 ▲カリ活用 (かりかつょう)・ク活用 (<かつょう)
字訓 (じく	Ш (ん)	単に、訓 (<ん) ともいう。漢字に対する国語の訳語が、その漢字の読み方として固定したもの。たとえば「中」を「なか」「うち」「あたる」、「国」を「くに」と読む類。
自己	-]敬語 [けいご)	自敬表現ともいう。自分の動作・事柄・所有に尊敬語を用いること。実際に高貴の人は自分に尊敬語を用いたものであるともいい、また高貴の人のことばを、伝え手や作者の立場から、尊敬語に言い換えたものであるともいう。 「〔大葉子(ぉぉょこ)が自ら詠んだ歌〕大葉子は領巾(ひれ)振らすも」〈欽明紀〉「〔帝(みかど)が、自身の動作を〕顔かたちよしときこしめして、御使ひをたびしかど」〈竹取・御門の求婚〉「〔後白河法皇が、自身の動作を〕御行水を <u>めさ</u> ばやと <u>おぼしめす</u> はいかがせんずる」〈平家・3・法皇被流〉
指 (UU	事 ジ)	△六書 (b<しよ)の1つ。象形文字のように、絵画的にその形を表せない事柄を、点または線などを用いたり、象形文字のある部分に符号を付けたりして示すもの。たとえば、「ー・二・三」は、線によってその数を表す。「上」は、線の上に点を打って、ある物または基準の上に物があることを示す。「本」は、象形文字と組み合って、「木」の下にしるしを付けて、木の根もとの意を表す。→六書 (b<しよ)
四戸 (しも	告 むい)	漢字音の高低法。平声(ひょうしょう)・上声(じょうしょう)・去声(きょしょう)・入声(につしょう)の4種。平声を除いた他の3声を仄声(そくせい)という。平声は平らな調子、上声ははじめが低く語尾が高くなる調子、去声ははじめが高く語尾が低くなる調子、入声はp・t・kの今子音などで終わる急な調子。平声と仄声を合わせて平仄(ひょうそく)という。
七日 (しち	互調 うごちょう)	わが国の詩歌は、5音・7音を音数律の基本単位として、その反復・配列によって構成されることが多い。七五調は、 上7音、下5音の結合から成る調子で、上重く、下軽く、そのために不安定な感じがある反面、軽妙流暢(りゅうちょう) なリズムを形成する。和歌においては、古今集から多くなり、新古今集において最も多く用いられた。短歌における 七五調とは、△3句切れになる場合をいう。なお、七五調は和歌以外の種々の歌謡、散文の△道行(みちゅき)文などに も用いられ、明治以後は詩のスタイルの一体として広く盛んに用いられている。

	実質名詞 (じつしつめいし)	△普通名詞のうち、具体的にしても抽象的にしても、一定の実質概念のある名詞をいう。たとえば「 <u>こと</u> すでに重畳 (ちょうでふ) せり(=事件ガスデニ重ナッテイル)」〈平家・1・殿上闇討〉は、実質を備えているので実質名詞であ る。これに対して、「ただ今の一念、むなしく過ぐること(=過ギテ行クコト)を惜しむべし」〈徒然・108〉は、 実質を備えていないので形式名詞とする。↔形式名詞
	指定の助動詞 (していのじよどうし)	→断定の助動詞(だんていのじょどうし)
-	自動詞 (じどうし)	動作や作用をそれ自身だけのはたらきとして表す動詞。「水流る(ラ下二)」「湯沸く(カ四)」などで、「水を流 す(サ四)」「湯を沸かす(サ四)」のように、一般に「…を…する」という形をとる他動詞と区別される。しかし、 自動詞にも他動詞のように「…を」という言い方をする場合もある。「音(ね)を立く」「寝(い)を寝(ぬ)」。古く、 日本語の自動詞は、その動詞の表す事態が当事者と何のかかわりもなく起きたことを述べる場合に用いたとされ、西 欧語の自動詞とはその用法が違っていたとされる。↔他動詞
-	地の文 (じのぶん)	物語・小説などで、会話でない叙述の部分の文章をいう。ふつう、書きことばがおもに用いられるところから、会話 文とは語彙 (ごい) ・語法が異なることが多いが、平安時代の仮名文学では、会話文と地の文とで語彙・語法の差が少 ない。そのため、この時代は言文一致の時代ともいわれる。
	自発の助動詞 (じはつのじょどうし)	動作・作用が自然に起こる意を表す助動詞。文語では「る」「らる」(口語では「れる」「られる」)に、この用法 がある。上代には「ゆ」も用いられた。「京思ひいで <u>らる</u> 」〈源・総角 _{(あげまき} 〉「筆を執れば物書かれ」〈徒然・ 157〉「都の手ぶり忘ら <u>え</u> にけり」〈万・5・884〉「瓜(うり)食(は)めば子ども思ほ <u>ゆ</u> 栗(<り)食めばまして 偲(しぬ)は <u>ゆ</u> 」〈万・5・806〉=自然可能の助動詞。
	下一段活用 (しもいちだんかつよう)	動詞の活用の1つ。△活用語尾が△五十音図のうち「工」段一段に変化するもの。これに属する動詞は、口語では「得 (ぇ)る」「聞こえる」「受ける」など多いが、文語では「蹴(ゖ)る」1語である。「蹴る」は上代にはワ行下二段に 活用したようである。「蹴散、これを <u>くゑ</u> はららかすと云(い)ふ」〈神代紀〉
	下二段活用 (しもにだんかつよう)	文語動詞の活用の1つ。△活用語尾が△五十音図の「ウ」「エ」二段に変化するもの。「得(∋)」「投ぐ」「出(い づ」「述ぶ」「流る」「聞こゆ」「植う」など。これらは、口語ではすべて下一段活用になる。また、下二段に活用 する語で、古く△四段活用であったものがある。「隠る」「恐る」「忘る」「乱る」「埋(∋⇒」む」「分く」など。
	写本 (しやほん)	筆写された本。写本には著者の「自筆本」と、それを転写した「転写本」とがあり、転写本には、さらに文字を写し ただけの「謄写本」と、筆跡まで模した「模写本」とがある。また、模写本は、原本を傍らに置いてこれを模した「臨 模本」と、薄く透明な紙をのせてなぞった「影写本」とに分かれる。わが国の写本は、古く仏書・漢籍の筆写に始ま り、しだいに史書・歌集・物語などに及んだ。

終止形 (しゅうしけい)	△活用形の1つ。文の終止に使われる。文語では文を終止するほか、「らむ」「めり」「べし」などの助動詞や、「と も」「や」「な」などの助詞に連なる用法がある。「しづ心なく花の <u>散る</u> らむ」〈古今・春下〉「今更に山へ <u>帰る</u> な ほととぎす」〈古今・夏〉。活用形のうち、いちばんもとになる形と考えられて、「基本形」「基本の形」ともいわ れる。
終止法 (しゅうしほう)	単語が言い切りの用法に立つことをいう。この場合、品詞や語形に一定の制約がある。常に終止法に立つ品詞は、感 動詞と終助詞だが、△体言・形容詞、形容動詞の語幹もこの用法に立つことがある。「風かよふ寝ざめの袖 (そで)の 花の香にかをる枕 (まくら)の春の夜の夢」〈新古今・春下〉「あな、 <u>きよら</u> 」〈源・柏木 (かしょぎ)〉。△活用語では 終止形・命令形がこの用法をもっているが、係り結びの関係から連体形・已然形がこの用法に立つこともある。
修飾語 (しゅうしよくご)	他の文節に連なって、その意味をくわしく限定する文節。△用言を修飾するものを連用修飾語、△体言を修飾するものを連体修飾語という。「蓑虫 (みのむし) いとあはれなり」〈枕・虫は〉「花ぞ <u>むかしの</u> 香に匂 (にほ) ひける」〈古今・春上〉→被修飾語 (ひしゅうしょくご)
終助詞 (しゅうじよし)	文末にあって種々の語に付いて、疑問・反語・禁止・詠嘆・感動・命令・願望・強意などの意を表し、文を終止させ る助詞。これに属する助詞は、「か」「かな」「が」「がな」「かし」「なむ」「ばや」など。ほかに、「かも」「が も」「な」「ね」「に」「こそ」などがあるが、これらは上代に多く用いられた。「心知れらむ人に見せ <u>ばや</u> 」〈後 撰・春下〉「はや言へ <u>かし</u> 」〈土佐〉→助詞(じょし)
重箱読み (じゅうばこよみ)	漢字の熟語・複合語で、たとえば「重箱(じゅうばこ)」(食物などを入れる重ね箱)のように、上部を△音で読み、下部を△訓で読む読み方。「合羽(かつば)」も同様なので「合羽読み」ともいう。そのほか「縁組(えんぐみ)」「頭取(とうざり)」「王手(おうて)」なども、この読み方。→湯桶読み(ゆとうよみ)
重文 (じゅうぶん)	 △主語・△述語の関係を基準として考えた文の構造の1つ。1つの文において、対等の主語・述語の関係が2つ以上 成り立っているものをいう。 山 紫にして 水 明らかなり 主 述 主 述 対対
熟語 (じゅくご)	△複合語の1種。2つ以上の単語が結合して、ある固定した意味を表す語。「春風」「落ち葉」「嬉 (うれし) 涙」「足弱 (あしよわ)」など。 ▲ 複合語 (ふくごうご)

主語 (しゅご)	文の成分の1つ。「何がどうする」「何がどんなである」「何が何である」などの文で、「何が」に相当する△文節。 主語は述語に呼応し、述語の前に位置するのが原則であるが、省略される場合が多い。主語を構成する文節は、だい たい次のようなものから成り立っている。①△体言、または体言に助詞の付いたもの。「風吹き、雨さへ降りぬ」② 用言・活用連語の連体形、またはそれに助詞の付いたもの。「雁 (かり) などのつらねたるが、いとちひさく見ゆるは いとをかし」〈枕・春はあけぼの〉③対等の語を並列したり、助詞・接続詞で結合させたりしたもの。「人は、 <u>かた</u> <u>ち・ありさまの</u> すぐれたらんこそ、あらまほしかるべけれ」〈徒然・1〉。日本語では主語が不可欠の要素でもない ということ、他の修飾語との用法上の区別がつけにくいということなどから、修飾語の1種であるとする説もある。 ↔ 述語
述語 (じゅつご)	文の成分の1つ。「何がどうする」「何がどんなである」「何が何である」などの文で、「どうする」「どんなであ る」「何である」に相当する△文節。述語は日本語では文末に位置し、文の内容を統合する。述語を構成する文節は、 次のようなものから成り立っている。①△用言・活用連語、またはそれに助動詞の付いたもの。「風吹き、雨さへ隆 りぬ」②△体言、または体言に助詞の付いたもの。「火もとは、樋口富(ひ <u>くちとみ</u>)の小路とかや」〈方丈〉③用言・ 活用連語に補助用言の付いたもの。「宝を費やし、心を悩ますことは、すぐれて <u>あぢきなくぞ侍る</u> 」〈方丈〉④対等 の語の重なったもの。「綾(ぁゃ) も物の色も珍らかに清らなり」↔主語
順接 (じゅんせつ)	→接続 (せつぞく)
準体言 (じゅんたいげん)	活用語の連体形が、活用語としての意味・性質をもちながら、一方では△体言の資格をもって扱われるものをいう。 「愛憐 (ぁぃぃぃぃ) の情うすきに似たり」の「うすき」、「過ぎたるは及ばざるが如 (ごと) し」の「過ぎたる」「及ばざ る」など。山田孝雄氏の説。
準体助詞 (じゅんたいじよし)	「これは私 <u>の</u> です」「新しい <u>の</u> がよい」の「の」のように、それ自身としては断続の意味をもたず、種々の語に付い て体言と同じはたらきをする助詞。文語では「の」「が」など。「前(さき)の守(かみ)今 <u>の</u> (=今ノ守)も」〈土佐〉 「この歌はある人のいはく大伴(おほともの)黒主 <u>が</u> (=大伴黒主ノ歌)なり」〈古今・雑上〉 「参考」準体助詞は、橋本進吉氏の説く助詞の1つ。格助詞として取り扱う説もある。
順態接続 (じゆんたいせつぞく)	→接続 (せつぞく)

序 (じょ)	 (1)書物などの初めに記す文で、「はしがき」ともいう。著作に至った由来などを書く場合が多い。古今和歌集には、仮名序と真名序とがある。⇔跋(ぱつ) (2)「序詞」を「序」ということがある。▲序詞(じょし)
象形 (しょうけい)	△六書 (b < しょ) の1つ。物の形をかたどったもので、漢字の原型をしのばせる文字である。日・月・山・木・人・ロ・馬・魚・弓・刀・門・戸など。→六書 (b < しょ)
条件法 (じょうけんほう)	前に述べた事柄が、あとに述べた事柄の条件になっている場合の用法で、次の3種がある。 (1) 仮定条件…ある事柄を仮定した表現法 ①順接…「もし…なら」の形。文語では接続詞「さらば」「しからば」を用い、また、△活用語の未然形に接続助 詞「ば」を付ける。 ②逆接…「もし…ても」の形。文語では接続詞「さりとて」を用い、また、動詞の終止形・形容詞の連用形に「と」 「とも」を付ける。 (2) 確定(既定)条件…ある事柄が既に成り立ったものとしての表現法 ①順接…「…なので」の形。文語では接続詞「されば」「しかれば」などを用い、また、△活用語の已然形に接続 助詞「ば」を付ける。 ②逆接…「…だけれど」の形。文語では接続詞「さりながら」「さるに」「しかれども」などを用い、また、活用 語の已然形に接続助詞「ど」「ども」を付ける。 (3) 一般(恒常)条件…ある事柄がある場合には、いつもきまって同じ結果を生じるとしての表現法 ①順接…「であればいつも…(だ)」の形。活用語の已然形に接続助詞「ば」を付ける。 ②逆接…「…であってもいつも…(だ)」の形。活用語の已然形に接続助詞「ど」「ども」を付ける。 ④逆接…「…であってもいつも…(だ)」の形。活用語の已然形に接続助詞「ど」「ども」を付ける。
畳語 (じょうご)	△複合語の1種。同一の語を重ねてつくった語。「ほのぼの」「われわれ」「重ね重ね」「人々」など。また、広義 には同じような意味を重ねた語をいうこともある。「広大」「展開」「狭隘 (きょうあい)」など。
上声 (じょうしよう)	→四声 (Lttn)
常体 (じょうたい)	→敬体 (けいたい)
状態の副詞 (じょうたいのふくし)	△副詞の1種。主として動詞を修飾して、その動作・作用の状態をくわしく定める副詞。「大蛍ゆらりゆらりと通り けり」〈おらが春・一茶〉「 <u>つれづれと</u> 降り暮らして」〈源・帚木(ははきぎ)〉。また、状態の副詞の中には、下に助 詞「の」を伴って体言を修飾するものがある。「 <u>しばし</u> の程」「 <u>すべて</u> の国々」「 <u>わざと</u> の使ひ」=情態の副詞。

付録

279

	初句切れ (しょくぎれ)	→句切れ (<ぎれ)
-	序詞 (じょことば)	→序詞 (じょし)
	助詞 (じょし)	品詞の1つ。△付属語で△活用がないもの。 (1) △自立語(または自立語に助動詞の付いたもの)に付いて、その語と他の語との関係を示すはたらきをする。 「梅 <u>が</u> 枝(え)」「夏 <u>の</u> 夜」(連体修飾) (2) その語に一定の意味を添えるはたらきをする。「風 <u>さへ</u> 吹き出(い)でたり」(添加) 助詞は、どういう語に付き、どういう語にかかっていくかという基準に従って、次の6種類に分けられることが多い。 (1) 格助詞 (2) 接続助詞 (3) 係助詞 (4) 副助詞 (5) 終助詞 (6) 間投助詞 ▲ 各項参照 これらのうち、係助詞と副助詞とを合わせて副助詞、終助詞と間投助詞とを合わせて終助詞とし、全部で4種類とす ることもあり、また、これらのほかに、△並列助詞、△準体助詞などを立てる説もある。=テニヲ八・助辞。
	助字 (じょじ)	漢文で、文末に用いる「也」「焉」「哉」「乎」「歟」、格を示す前置の「於」「于」、代名詞的な後置の「之」「者」、 接続を示す「而」「以」、動詞の相に関する「令」「使」「被」などをいう。これらは、漢文訓読の場合、国語の助 詞・助動詞に当たるもので、そのうちには国語にあてて読む習慣がないものもあって、それを「置き字」とよぶこと がある。
	叙述の副詞 (じょじゆつのふくし)	 △副詞の1種。修飾される △用言の叙述のしかたを限定して、これに一定の言い方を要求する副詞。この叙述の副詞を受けて一定の言い方で結 ぶ関係を「副詞の呼応」という。=陳述(ちんじゅつ)の副詞・呼応の副詞。 (1)打消の語を要求するもの…いさ・つゆ・必ずしも・え・つやつや (2)禁止の語を要求するもの…ゆめ・断じて (3)願望の語を要求するもの…なにとぞ・ひとへに・いかで (4)比況の語を要求するもの…あたかも・さながら (5)推量の語を要求するもの…あらく(は)・けだし・いかばかり (6)打消推量の語を要求するもの…よも・をさをさ (7)仮定の語を要求するもの…もし・たとひ・よし(や)・かりに (8)断定・肯定の語を要求するもの…正に・実に (9)疑問・反語の語を要求するもの…いかで(か)・など(か)・豈(ぁに)・いづくんぞ (10)「べし(当然・適当・命令)」を要求するもの…すべからく、宜(ょろ)しく・当(ょさ)に

助数詞 (じよすうし)	接尾語の1種。数を表す語に添えて、その数量や順序を示すもの。「一本」「三冊」「五号」。 ▲ 数詞 (すうし)
助動詞	品詞の1つ。△付属語で△活用のあるもの。それ自身では△文節を作らず、△自立語に付いて、種々の意味を添えて
(じよどうし)	その叙述を助ける。「散ら <u>む</u> 」「咲き <u>けり</u> 」「我も人 <u>なり</u> 」
	助動詞の分類については、(1)接続による分類 (2)活用による分類 (3)意味による分類 の3方面から考えられる。
	(1)接続による分類
	① 今用言または助動詞に付くもの
	(ア)未然形に付くもの…す・さす・しむ・る・らる・ず・む・むず・じ・まほし・まし・り(サ変のみ)
	(イ)連用形に付くもの…き・けり・つ・ぬ・たり(完了)・たし・けむ
	(ウ)終止形に付くもの…べし・まじ・らむ・めり・らし・なり(伝聞)(以上、ラ変・形容詞・形容動詞以外に)
	(工)連体形に付くもの…べし・まじ・らむ・めり・らし(以上、ラ変・形容詞・形容動詞に)・なり(断定)・ごとし
	(オ)已然とに付くもの…り(四段のみ)
	体言に付くもの…なり、たり(断定)
	町間に行くものいいことし
	(2)活用によるガガ() (2)活用によるガガ() (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (
	(ア)四皮型…ひ・りひ・うつ・う(等切)・5)(静切)・5)(櫛切)
	(1) (-1) $($
	(ノノス全) / (フ()))))) () () () (() () (() () () ()
	(기) 오프 명이
	(ア)ク活型…たし、ベレ、でとし、
	(イ)シク活型・・・まに)
	③形容動詞型…なり(断定)・たり(断定)
	④「「「」」、こ、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、
	(3)意味による分類
	①使役…す・さす・しむ
	②受身…る・らる

		 ③可能…る・らる ④自発…る・らる ⑤尊敬…る・らる・す・さす・しむ ⑥打消…ず・じ・まじ ⑦推量…む・むず・けむ・らむ・らし・べし・まじ・じ・まし・めり ⑧過去…き・けり ⑨完了…つ・ぬ・たり・り ⑩希望…たし・まほし ⑪断定…なり・たり ⑫比況…ごとし ⑬伝聞・推定…なり
	自立語 (じりつご)	それみずからで1つの△文節になることができる単語をいう。自立語で△活用のあるものに動詞・形容詞・形容動詞 があり、活用のないものに名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞がある。↔ 付属語
(क)	推定の助動詞 (すいていのじょどうし)	 △推量の助動詞の1つ。あるよりどころによってかなりの確実性を認めつつ推量する意味を表す。文語では「らし」がこれに属する。「この川にもみぢ葉流る奥山の雪げの水ぞ今まさるらし」〈古今・冬〉の「この川にもみぢ葉流る」が推定のよりどころを示している。このように「らし」はその推定のよりどころが文中に示されることが多い。終止形に接続する「なり」にも推定の意がある。 ▲ 伝聞推定の助動詞(でんぶんすいていのじょどうし)
	推量の助動詞 (すいりようのしよどうし)	 推量の意を表す助動詞。文語では推量の助動詞が分化・発達していて多様性に富んでいる。 (1) む…(ふつうの推量)「タベには朝(ぁした)あらむことを思ひ」〈徒然・92〉 (2) むず…(ふつうの推量)「速き御守りでこそ候はむずれ」〈平家・7・忠度都落〉 (3) らむ…(現在の推量)「六条わたりにも、いかに思ひ乱れ給ふらむ」〈源・夕顔〉 (4) けむ…(過去の推量)「前(さき)の世にも御契りや深かり<u>けむ</u>」〈源・桐壺〉 (5) べし…(必然・当然の推量)「漢詩(からうた)などいふべし(=吟ジテイルニチガイナイ)」〈土佐〉 (6) めり…(主観的推量)「今様は、むげにいやしくこそなり行く<u>めれ</u>(=ヨウダ)」〈徒然・22〉 (7) まし…(△反実仮想)「この木なから<u>ましか</u>ばとおぼえしか」〈徒然・11〉 (8) らし…(根拠のある推定)「秋の夜は露こそことに寒からし(=冷タイニチガイナイ)」〈古今・秋上〉 推定の助動詞(すいていのじよどうし)

		(9) じ…(打消の推量)「心に思ひ残すことは、あら <u>じ</u> かし」〈源・若紫〉 (10) まじ…(打消の推量)「さる人ある <u>まじけれ</u> ば」〈徒然・12〉なお、これらの助動詞は、推量から
	数詞 (すうし)	転して、急志・希望・勧誘・仮定・婉囲(えんきょく)などの急を表すのにも用いられる。 名詞の1つ。数量、または数によって順序を表すもの。 (1)数量の数詞(基数詞)…一つ・二・三本・四冊・五軒 (2)順序の数詞(序数詞)…第一・二番・三つ目・四号・五位 上記のうち、いくつ・何本・何番のように、不定の数量や順序を表すものを不定数詞ということがある。また、「三 本」「五軒」などの「三」「五」のように数を表す語を本数詞、「本」「軒」のように数を表す語に添えたものを△ 助数詞という。 ▲ 助数詞(じょすうし)
(せ)	清音 (せいおん)	△五十音図の各音節と、それに応じる△拗音 (ょうぉん)の各音節(キャ・キュ・キョ・シャ・シュ・ショ・チャ・チュ・ チョ・ニャ・ニュ・ニョ・ヒャ・ヒュ・ヒョ・ミャ・ミュ・ミョ・リャ・リュ・リョ)をいう。すなわち、△子音を 全く含まないア行の△音節と、無声子音のk・s・t・h、有声子音のn・m・y・r・wを含む音節をいう。 ▲ 濁音 (たくぉん)・半濁音 (はんだくぉん)
	絶句 (ぜつく)	漢詩の一体。△起承転結の4句から成る。各句の字数によって、五言絶句・七言絶句の2種がある。△律詩とともに、 南北朝から唐にかけて完成された近(今)体詩。△押韻 (ぉうぃぃ)・△平仄 (ひょうそく) などにも厳密なきまりがある。
	接辞 (せつじ)	△接頭語と△接尾語の総称。単独に用いられることがなく、必ず他の単語に付いてある意味を添える。「 <u>み</u> 空(=接頭語)」「春 <u>めく</u> (=接尾語)」。▲接頭語(せつとうご)・接尾語(せつびご)
	接続 (せつぞく)	前に述べる事柄と、あとで述べる事柄とのつながりの関係をいう。次の2種がある。 (1)順接(じゅんせつ)…順態接続ともいう。あとで述べる事柄が、前に述べる事柄の順当な結果であると考えられる場合。 接続詞の「さらば」「しからば」(以上、仮定)「されば」「しかれば」(以上、確定)などを用いたり、活用語の未 然形(仮定)・已然形(確定・一般条理)にム接続助詞「ば」を付けて表したりすることが多い。 (2)逆接(ぜゃくせつ)…逆態接続ともいう。あとで述べる事柄が、前に述べる事柄の順当でない結果であると考えられる 場合。ム接続詞の「さりとて」(仮定)「さりながら」「さるに」「しかれども」(以上、確定)などを用いたり、 動詞の終止形や形容詞の連用形に、接続助詞「と」「とも」を付け、また、ム活用語の已然形に接続助詞「ど」「ど も」を付けて表したりすることが多い。
	接続語 (せつぞくご)	仮定・事実を示して、ある条件を提示する文節。たとえば、「 <u>しかれども</u> 、ひねもすに浪 _(なみ) ・風たたず」〈土佐〉 のような△接続詞、「日 <u>あしければ</u> 、船出(い)ださず」〈土佐〉のように△接続助詞が付くものなどを「接続語」と する。接続語をたてない立場では、これらを「連用修飾語」と見る。

	接続詞 (せつぞくし)	品詞の1つ。△自立語で△活用がなく、主語・述語・修飾語のいずれにもならず、文の構成のうえからは比較的独立 していて、もっぱら文節や文を接続する語。
		(1)その種類は、意味のうえから次の4通りに分けられる。所属する 語は文語の場合を示す。
		①並立の意を表すもの…および・ならびに・また
		②添加の意を表すもの…なほ・かつ・しかうして・しかも
		③選択の意を表すもの…または・あるいは・あるは・もしくは・もしは
		④条件を表すもの
		(ア)順接…かかれば・かくて・かくして・しからば・しかれば・さらば・されば・したがって・よって・ゆゑに (イ)逆接…されど・さりながら・さるを・しかるに・しかれども・ただし
		(2)用法としては、前のことばの受け方によって、次の2つの場合がある。
		①1つの文の中にあって、△文節と文節とを結びつける。「朱雀院 (ฮฮั่งลん) ならびに村上二代の御母后 (ははฮฮฮฮ)
		におはします」〈大鏡・基経〉「行く川の流れは絶えずして <u>しかも</u> もとの水にあらず」〈方丈〉
		②2つの文を結びつける。「死期すでに近し。 <u>されども</u> いまだ病 (やまひ) 急ならず」〈徒然・241〉
	接続助詞	活用語またはそれに準じるものに付いて、それの付いた語の意味を、次の△用言または用言に準じるものに続ける助
	(せつぞくじょし)	詞。
		(1)接続による分類
		①未然形に付くもの…ば・で
		②連用形に付くもの…て・して・つつ・ながら
		③終止形に付くもの…と・とも(形容詞は連用形に接続)
		④連体形に付くもの…が・に・を・も
		⑤ヒ然形に付くもの…は、ど、ども
		 (2)意味による分類 (2)「「(1)」「(1)」「(1)」」
		逆按…こここは、か、に、な、も
		(とうしょう) 「 いうちょう 、 て 、 く し 、 う う 、 で

	接頭語 (せっとうご)	△接辞の1つ。それ自身で単独に用いられることがなく、必ずほかの単語の上に付いて、それらにある意味を添える もの。接頭語が付いてできた語の品詞は、接頭語の付かないもとの語と同一である。 (1)名詞に付くもの… <u>み(</u> 御)代・ <u>おん(</u> 御)声・ご(御)病気・ <u>み</u> 空・ <u>ま</u> 屋・ <u>さ</u> 霧・ <u>を</u> (小)川 (2)動詞に付くもの… <u>さ</u> まよふ・ <u>との</u> 曇る・ <u>た</u> ばしる・ <u>し</u> 行く・うち見る (3)形容詞に付くもの… <u>た</u> やすし・ <u>いち</u> はやし・ <u>け</u> 近し・ <u>を</u> (小)暗し・ <u>うすら</u> 寒し
	接尾語 (せつびご)	 △接辞の1つ。それ自身で単独に用いられることがなく、必ずほかの単語の下に付いて、それらにある意味を添えるもの。この点、△助詞または△助動詞に似ているが、助詞・助動詞は自由にどんな語にも付くのに対して、接尾語は、付く語が限られていて、慣用のものだけにしか付かない。接尾語が付いてできた語の品詞は、接尾語によってきまる。そこで、これが付いて、その語の品詞が変わらないものと、変わるものとの2種がある。 (1)品詞が変わらないもの…入道どの・私ども・君たち・これら・殿ばら (2)品詞が変わるもの ①名詞を作るもの…アひら・高でい」ご・黄ばむ・花やぐ ③形容詞を作るもの…男らし・をこがまし・なまめかし ④形容動詞を作るもの…りつびやかなり・悲しげなり ⑤副詞を作るもの…身づから・手づから
[そ]	候文 (そうろうぶん)	文語文のうち、おもに書簡に用いられた1種の文体。「候 (₹うろう)」という語が「あり」の代わりに、また△補助動 詞として、文末に多く用いられたところからこの名がある。平安時代から私的な文書に使われはじめ、鎌倉時代以後 は盛んに用いられるようになり、江戸時代になると公文書にも使われた。明治以後にも長く残っていたが、現在は私 的にもきわめて少なくなった。
	促音 (そくおん)	現代の表記で、少し小さい「っ」で書かれる音韻。「つまる音」ともいう。「あっぱれ」「いっさい」など。漢字音の影響によって生じたといわれるが、古くはその表記法が動揺していて、その位置に何の表記もなかったことがある。 現代の表記法が確立したのは平安時代末期(12世紀)ごろという。
	促音便 (そくおんびん)	→音便 (おんびん)
	尊敬語 (そんけいご)	△敬語の 1 種。話の中のある人を敬うために、その人に関することに特別の表現をする言い方。文語の場合を分類す ると、次のようになる。

		(1)尊敬の意の接辞を用いる ①接頭語…み(一代・一心)・おん(一身・一有り様)・貴(一兄)・尊(一父)・令(一息)・高(一見)・芳
		(一報)(かん)) ②接尾語…殿(入道—)・氏(田中—)・女史(跡見—)・うぢ(近藤—) (2)尊敬の意の単語を用いる
		①名詞…上・君・おこと ②代名詞…貴殿・みまし ③動詞…あそばす(=ナサル)・います・ます・まします・おはす・おはします(=イラッシャル)・大殿ごもる
		(=オ寝 (ヤヤਗ਼ ミニナル)・のたまふ(=オッシャル)・おぼす・おぼしめす(=オ思イニナル)・きこす・き こしめす(=オ聞キニナル・召シ上ガル)・御覧ず(=ゴランニナル)・しろす・しろしめす(=オ知リニナル・ オ治メニナル)・たぶ・たまふ(=クダサル)
		④補助動詞…おはす・おはします(眺め―)・たまふ(書き―)・たぶ・たうぶ(侍り―)。 ⑤助動詞…る・らる・す(下二段)・さす・しむ(上代は、す(四段)も)
	尊敬の助動詞 (そんけいのじょどうし)	尊敬の意を表す助動詞。文語では「る」「らる」「す(下二段)」「さす」「しむ」に、この用法がある。「す」「さ す」「しむ」は使役の意から尊敬の意に転じたもので、単独で用いられることがなく、常に「たまふ」「らる」のよ うな△尊敬語に重ねて用いられる。「つゆまどろまれず明かしかねさせたまふ」〈源・桐壺〉「この大臣(ぁとど)の作 らしめ給~りける詩を」〈大鏡・時平〉。なお、上代には「す(四段)」も用いられた。「この岳(をか)に菜摘ま <u>す</u> (= 摘ンデイラッシャル)児(こ)」〈万・1・1〉
	尊大語 (そんだいご)	自分の権威を誇示したり、自分の地位の高さを明らかにしたりするために、話し手が自分に対して尊敬語を用いたり、 聞き手の動作に謙譲語を用いたりして、話し手である自分を高める言い方。「大納言これを聞きてのたまはく、『船 に乗りては、楫取(かちとり)の <u>申す</u> こと(=コノウタシニ申シアゲルコト)をこそ、高き山とたのめ、などかく頼もし げなく <u>申す</u> ぞ(=コノワタシニ申シアゲルノダ)』」〈竹取・竜の頸の玉〉
〔た〕	対偶中止法 (たいぐうちゆうしほう)	2 つの文節が対等の関係にあるとき、下の対等語の意味(打消、受身など)が、上の対等語に及び、上の対等語が連 用形の△中止法をとることをいう。たとえば、「 <u>今めかしく</u> 、きららかならねど」〈徒然・10〉の「ね」は打消の 助動詞であるが、「きららかなり」だけを打ち消しているのではなく、「今めかし」も打ち消している。この場合の 「今めかしく」が対偶中止法である。「走る獣は、をりに <u>こめ</u> 、くさりをさされ、飛ぶ鳥は、翼を <u>きり</u> 、籠(こ)に入 れられて」〈徒然・121〉は、「さされ」の「れ」、「入れられて」の「られ」は受身の助動詞であるが、いちい ち「こめられ」「きられ」といわないで「こめ」「きり」というように対偶中止法が用いられている。
体言 (たいげん)	事物の実体を表す語の意。△名詞・△代名詞・△数詞の3品詞がこれに属するとされるが、日本語の文法上の性質からみて、これら3つを区別する必要はないと考えられるので、代名詞と数詞を名詞の中に含め、体言すなわち名詞であるとする説がふつう認められている。体言の文法上の特質としては、(1)それだけで△文節を構成することができる (2)活用がない (3)文の主語になることができる (4)△格助詞を伴うことができる などが挙げられる。 ↔ 用言	
----------------------	--	
体言止め (たいげんどめ)	和歌などにおいて、たとえば「駒 _(こま) とめて袖(そで)打ちはらふかげもなし佐野のわたりの雪の夕暮れ」(新古今・ 冬〉のように、第5句を体言でいいきる言い方をいう。俳句や散文などにもこの種の言い方があり、これも「体言止 め」ということがある。体言止めは、いいきったあとに余韻・余情が残るので、詠嘆の心情を表現する場合に用いら れる。新古今集には、この修辞法が多く使われていて、1つの特徴をなしている。	
対等語 (たいとうご)	→対等の関係 (たいとうのかんけい)	
対等の関係 (たいとうのかんけい)	2 つまたはそれ以上の Δ 文節が、互いに対等の資格で連なっている場合、そのそれぞれの文節を対等の関係にあるといい、それぞれの文節を「対等語」という。対等の関係を「並立(へいりつ)の関係」とよび、対等語を「並立語」と名づける説もある。 この関係には、次の2つの場合がある。 (1)2つ以上の用言の連なっているもの。「生まれ、死ぬる人、いづ方より来たりて、いづ方へか去る」〈方丈〉「神楽(かぐら)こそ、なまめかしく、おもしろけれ」〈徒然・16〉 (2)2つ以上の体言の連なっているもの。「作文(さくもん)、和歌、管絃(くわんけん)の道、また有職(いうそく)に公事(くじ)の方、人の鏡ならんこそいみじかるべけれ」〈徒然・1〉「山里は冬ぞさびしさまさりける人目も草もかれぬと思へば」〈古今・冬〉 対等語は、その位置を互いにとりかえても((1)の用言の場合には語形の一部に変化が生じるが)その関係は変わらない。たとえば、「神楽(かぐら)こそ、なまめかしく、おもしろけれ」は、「神楽こそ、おもしろくなまめかしけれ」と言いかえることができる。	
代名詞 (だいめいし)	 △名詞(体言)の1種。事物の名に代えて、直接にそのものを指示していう語。これには次の2種類がある。 (1)人代名詞 自称は話し手(書き手)が自己をさし示すのに用い、対称は、相手(聞き手・読み手)をさし示すのに用い、他称は相手以外の者をさし示すのに用いる。他称のうちで近称は話し手に近い者を、中称は相手に近い者を、遠称は話し手からも相手からも遠い者をさす。不定称は話し手にわからない者、また、さす者がきまらない場合に用いる。 	

			自利	ī	対 称	近称	他中初	称	遠称	不定称	
			あ・あれ わ・われ おのれ それがし わらは 余・予	ι ι	な なれ なんぢ そこ そち そなた	これ	そそれ	1	か かれ あ あれ	た たれ なにがし それがし	
		(2)指示	代名	詞						
					近称	中称		j	遠称	不定称	
			事物	ŋ	2	そ		か かれ あ	l	いづれ	
					これ	それ		あれ	l	なに	
			場所	ŕ	22	そこ		あそ あし かし	こここ	いづこ いづく いづら	
			方向]	こち	そち		あちあた	5	いづち	
					こねに	てんに		היינו	K/C	שימכיו	
		ć	のほか、	△辰	照代名詞と呼	₽んで、	「おの		おのれ」	などの語を[区別していうこともある。
	濁音 (だくおん)	ガ ビ	・ザ・ダ ヤ・ビュ 清音 (tel	・バ・ヒ	行と、それに 〔ョ〕をいう。 。・半濁音(応じる스打 すなわち ^{まんだくおん}	幼音 (5、有)	ようま 声・	_{3ん)} のム 無声の対	音節(ギャ・= 立をもつ有声	ドュ・ギョ・ジャ・ジュ・ジョ・ヂャ・ヂュ・ヂョ・ 注音を含む音節をいう。
	他動詞 (たどうし)	加詞 500 動作や作用を他に対するはたらきかけ、または他をつくりだすはたらきとして表す動詞。「水を <u>流す</u> (サ四)」 を <u>沸かす</u> (サ四)」のように、一般に「…を…する」という形をとり、「水 <u>流る</u> (ラ下二)」「湯 <u>沸く</u> (カ四) ム自動詞と区別される。他動詞だけの動詞には、打つ・殺す・招く(四)・着る(上一)・蹴()る(下一)・投 兼ぬ(下二)などがある。				らきとして表す動詞。「水を <u>流す</u> (サ四)」「湯 り、「水 <u>流る</u> (ラ下二)」「湯 <u>沸く</u> (カ四)」の (四)・着る(上一)・蹴(け)る(下一)・投ぐ・					

	古く、日本語の他動詞は、その動詞の表す事態が、当事者の意図に基づいて起きたことを述べる場合に用いたとされ、 目的語との関係で他動詞が決定される西欧語の他動詞とは、その用法が異なっていたとされる。↔自動詞
タリ活用 (たりかつよう)	文語形容動詞の活用の1つ。終止形が「…たり」といいきるもの。この活用形は、元来副詞「…と」の形にラ変動詞 「あり」が結合してできたもので、「…と・あり」から「…たり」に転じたもの。タリ活用は漢語をもととする場合 が多く、中古・中世の漢文訓読体の文章や和漢混交文の中に見られることが多い。(たら・たりと・たり・たる・た れ・たれ)と活用する。「青山 <u>峨々(がが)</u> として松吹く風 <u>索々(さくさく)たり</u> 」〈平家・10・千手前〉
田居にの歌 (たゐにのうた)	「手習いの詞(ことば)」の1つ。同じ仮名をくり返すことなくつくった47字の歌詞で、天禄元年(970)源為憲(た めのり)の著した「口遊(くちすさみ)」に見える。 たゐ(田居)にい(出)で な(菜)つ(摘)むわれ(我)をぞきみ(君) め(召)すと あさ(求食)りお(追)ひゆ(行)くやましろ(山城) の う(打)ちゑ(酔)へるこ(子)ら もは(藻葉)ほ(干)せよ えふね(舟) か(繁)けぬ 作者は不明。成立は「口遊」の著作に近いころかと思われる。「△あめつちの詞」と違って、ア行の「え」とヤ行の 「え」の区別がない。→本文「あめつちの詞(ぁぁっちのことば)」
単音 (たんおん)	音声学のうえでの最小単位。簡単にいえば、単独に発音することのできる音声である。単音には△母音と△子音とが ある。たとえば、ア(a)も単音、カ(ka)の(k)も(a)も単音である。カ(ka)のように単音が2つ連なった ものは、別に△音節(ホんせつ)という。▲音節
断定の助動詞 (だんていのじよどうし)	ある事柄を「…である」「…だ」と判断し、いいきる意を表す助動詞。文語では「なり」「たり」がこれに属する。 「たり」は体言だけに付く。また「たり」は中古には用例が少なく、中世以降、△和漢混交文などに多く用いられた。 伝聞推定の「なり」や完了の「たり」とは、他の語への接続や意味のうえから区別される。「心憂(う)の事や、翁丸 (おきなまろ) なり」〈枕・うへにさぶらふ御猫は〉「忠盛(ただもり)備前守(ひぜんのかみ)たりし時」〈平家・1・殿上闇 討〉=指定の助動詞。
単文 (たんぶん)	 △主語・△述語の関係を基準として考えた文の構造の1つ。主語・述語の関係がただ1回しか成立していない最も単純なもの。 ▲ 複文 (ふくぶん)・重文 (じゅうぶん) 花の色は
	<u> 竹取りの翁 (abeta) といふ者</u> <u> ありけり。</u> <u> </u> 述

〔5〕	中止法 (ちゆうしほう)	△連用形の用法の1つ。文を途中で一時中止する用法で、前の△文節と後の文節とが対等の関係にある場合が多い。 この中止法に立つ連用形を、特に中止形ということがある。「山吹の <u>清げに</u> 、藤(ムメラ)のおぼつかなき様したる」〈徒 然・19〉「遠き家は煙(けメi)に <u>むせび</u> 、近きあたりはひたすら焔(はのほ)を地にふきつけたり」〈方丈〉
	直音 (ちよくおん)	△五十音図の各音節。すなわち、△母音だけから成る△音節、または△子音と母音とから成る音節。現代の表記では、 仮名1字で書く。 ↔ 拗音 (ょうおん)
	陳述の副詞 (ちんじゆつのふくし)	→叙述の副詞(じょじゅつのふくし)
	対句 (ついく)	修辞法の1つ。意義の相対する2つ以上の同形式の句を並べて、対立させた形式。意味の明瞭(めいりょう)・音調の快感・暗唱のしやすさなどという効果をねらって、同語の繰り返しの発達したものと思われる。元来は漢詩文の修辞であるが、わが国でも古くから用いられ、祝詞(のりと)・記紀歌謡・万葉集(長歌)、その他語り物などに好んで用いられた。「賢(さか)し女(め)をありと聞かして麗(くは)し女をありと聞こして、さ婚(よば)ひにあり立たし婚ひにあり通はせ」〈記・上〉「落花の雪に踏み迷ふ片野の春の桜狩り、紅葉の錦(にしき)を着て帰る嵐(あらし)の山の秋の暮れ」 〈太平記・2〉=対偶法。
	月並調 (つきなみちよう)	古い伝統を守るだけで、新しみのない卑俗な俳句をいう。もと正岡子規 (まさおかしき)の新派運動から見て、伝統を守る 旧派に対して「月並風 (つきなみふう)」といったところから生じた。「月並」とは月次 (つきなみ)で、例月の俳句会をいう。
(7)	定家仮名遣い (ていかかなづかい)	平安時代の末にまとめられた仮名遣いの規範。藤原定家の書と考えられる「下官集(けかんしゆう)」に「をお」「えへゑ」 「ひゐい」の3類8字について約70語を挙げ、「をみなへし」「おく山」「おもふ」「ぶえ」のようにそれぞれ用 いるべき仮名を示している。これは、当時混乱していた仮名の使い方を正そうとして、その準拠を平安後半期の文献 に求めたものである。俗に、行阿(ぎょうぁ)の撰(せん)した「仮名文字遣い」(貞治2年、1363年以後の成立)が 「定家仮名遣い」の名で世に伝えられたが、これは、行阿の祖父親行が定家の承認を得た項目を根拠にし、「定家仮 名遣い」を基にして増補したものと考えられる。実例を見ると、「定家仮名遣い」には「を(お)くつゆ」「お(を) しむ」「お(を)のへの松」など若干の誤りを含むが、現在では、この「お」「を」の使い分けはアクセントの違い によるものと理解されている。
	程度の副詞 (ていどのふくし)	△副詞の1種。△用言を修飾して、その状態の程度をくわしく限定する語。「 <u>やや</u> 深う入る所なりけり」〈源・若紫〉 「山ぎは <u>少し</u> あかりて」〈枕・春はあけぼの〉。また、「 <u>いま</u> 暫(しばら)く」「 <u>ただ</u> 一人」などのように、他の副詞や 数量・場所・方角などを表す体言を修飾する場合がある。

	丁寧語 (ていねいご)	△敬語の1種。話し手(書き手)が自分の言葉づかいを丁寧にすることによって、聞き手(読み手)に敬意を表す言 い方である。「文語」では「侍り」「候ふ」の2語がこれで、動詞および補助動詞として用いられる。口語の「お」 は丁寧語としても使われるが、文語の「御(ぉん)・(ぉ)」は、尊敬の意をもつので、丁寧語ではない。「はやう、ま だ下臈(げらふ)に <u>侍り</u> しとき、あはれと思ふ人 <u>侍り</u> き」〈源・帚木(ははきぎ)〉「年改まりて何事か <u>さぶらふ</u> 」〈源・ 浮舟〉(以上、動詞)「山の鳥も驚か <u>しはべら</u> む」〈源・若紫〉「おのづからかたのやうにまねび <u>候ひ</u> なむ」〈狭衣〉 (以上、補助動詞)。丁寧語は尊敬語・謙譲語が転ずることが多く、区別のむずかしいことがある。
	定本 (ていほん)	流布している多数の△異本を研究し、伝承・書写の誤りを校訂して、最も正確に原本に近く到達したと考えられる本 文。広義には厳密な意味でなく、標準的な本文というくらいに使われることもある。
	底本 (ていほん)	ある本の本文を校訂(他の伝本と比べて本文を訂(ただ)すこと)するに当たって、その主たるよりどころとした本。「藍本 (らんぽん)」(「青は藍(ぁぃ)より出(ぃ)づ」の故事から)ともいい、また「定本」とまぎらわしいので、「そこほん」とも呼ばれる。一般に原本に近い古写本や流布本が底本に選ばれることが多い。 ▲ 校合(きょうごう)
	転注 (てんちゆう)	△六書 (bくしょ)の1つ。漢字を変えずにその漢字の意義を転用することをいう。この場合、△字音が変わるのがふつう。たとえば、「楽 (がく) (=音楽)」は常に人の心をなごやかにし、たのしませるところから、「たのしむ」の意 に転用され、音も「ラク」と変わる類。 ▲ 六書 (bくしょ)
	伝聞推定の 助動詞 (でんぶんすいていの じよどうし)	ある事実を他から聞いたことにもとづいて述べ(伝聞)、また、ある根拠にもとづく不確実な判断で、事実をその音・ 声や周囲の状況から推測・判断して述べる(推定)助動詞。伝聞は口語の「…そうだ」、推定は口語の「…ようだ」 と言い換えられる。これに属する文語の助動詞は、活用語の終止形に接続する「なり」である。「この十五日になむ 月の都よりかぐや姫の迎へにまうで来(<) <u>なる</u> (伝聞=来ルソウデス)」〈竹取・かぐや姫の昇天〉「吉野(ょしの)な る夏実(なつみ)の川の川淀(かはよど)に鴨(かも)ぞ鳴く <u>なる</u> (推定=鳴イテイルヨウダ)山かげにして」〈万・3・37 8〉。この用法は江戸時代以来、詠嘆を表すとされていたが、今では伝聞推定という説が広く認められている。なお、 助動詞「けり」も過去の事実の伝聞の意味を表す場合がある。「昔、男あり <u>けり</u> (=イタソウダ)」〈伊勢・2〉
(と)	頭韻 (とういん)	→押韻 (おういん)
	唐音 (とうおん)	→字音 (じおん)

動詞 (どうし)	品詞の1つ。△自立語で△活用があり、言い切りの形の語尾がウ段(文語のラ変だけがリ)となる△用言。それだけで 述語になることができ、事物の動作・作用・存在を表す。活用のしかたから、文語動詞では9種類(四段・上一段・ 上二段・下一段・下二段・力変・サ変・ナ変・ラ変)、口語では5種類(五段・上一段・下一段・カ変・サ変)に分 けられる。別に、△自動詞・△他動詞の分け方や、△敬語動詞、△補助動詞の分け方もある。
動詞型活用の 助動詞 (どうしがたかつようの じょどうし)	活用のしかたが動詞に準じている助動詞。文語では、 ①四段型…む・けむ・らむ・す(尊敬)・ふ(継続) ②下二段型…す・さす・しむ・る・らる・つ ③う変型…たり(完了)・り・けり・めり・なり(伝聞) ④サ変型…むず ⑤ナ変型…ぬ ただし、△活用形は動詞とまったく同じというのではなく、その活用形のいくつかを欠いているものもある。
倒置 (とうち)	修辞法の1つ。感動・余韻を表したり語勢を強めたり、または語調を整えたりするために、△文節の順序を変える表現法。和歌や会話に多い。「契りきなかたみに袖 (そで)をしぼりつつ末の松山波越さじとは」〈後拾遺・恋4〉
読点 (とうてん)	→句読点(くとうてん)
ト書き (とがき)	 演劇などの台本で、せりふのあと、または前に、出演者の動作などを指示した部分。たとえば、 ○正兵衛「もはや逃れぬわが命、この場において潔く」 ト腹を切らうとする。 〈歌舞伎・十六夜清心 (いざよひせいしん) 〉 ○白蓮「内に居るから案じるな」 ト奥よりお虎(とら)出て来たり、 お虎「御新造様、さぞお嬉(うれ)しうござりませう。」 〈歌舞伎・十六夜清心〉 のように、「ト」から書き始めるのでこの名が生まれた。のちには、必ずしも「ト」がなくても、この部分を「ト書 き」とよぶ場合がある。
特殊活用型の 助動詞 (とくしゆかつようがた のじよどうし)	活用のしかたが特殊で、△用言のいずれにも似ていない助動詞。文語では、「ず」(打消)「まし」(反実仮想)「き」 (過去)「じ」(打消推量・打消意志)「らし」(推量)がこれに属する。このうち「じ」「らし」を△無変化型の 助動詞として、別に立てる考えもある。

	独立語 (どくりつご)	△主語・△述語・△修飾語などのいずれにも属せず、比較的独立して用いられる△文節。形のうえでは独立している ように見えるが、意味のうえで関連をもつ。感動・呼びかけ・応答・提示・接続などの場合に用いられる。「 <u>あはれ</u> 今年の秋もいぬめり」〈千載・雑上〉「 <u>いでや</u> 、この世にうまれては」〈徒然・1〉「 <u>さて</u> 冬枯れのけしきこそ、秋 にはをさをさ劣るまじけれ」〈徒然・1 9〉=独立節。
〔な〕	ナ行変格活用 ^{(なぎようへんかくかつ} ょう)	文語動詞の活用の1つ。ム五十音図のナ行におけるム母音の転換(ナ・ニ・ヌ・ネ)と、連体形に「る」、已然形に「れ」の添加とを合わせた活用形式をもつもの。これに属する動詞は、文語の「死ぬ」「往 (い) ぬ」の2 語であるが、「死ぬ」は口語では五段活用となり、「往ぬ」は標準的な口語では用いられない。完了の助動詞「ぬ」が、ナ行変格と同形式の活用をするのは、「往ぬ」と意味において通うものがあるからだと思われる。「ぬ」の語源は「往ぬ」からであるとの説もある。「な・に・ぬ・ぬる・ぬれ・ね」と活用する。
	ナリ活用 (なりかつよう)	文語形容動詞の活用の1つ。終止形が「…なり」の形をとる。「きよらなり」「静かなり」など。元来、「…に」の 形と、ラ変動詞「あり」との融合したものであるから、活用の形はラ行変格と同じである。しかし、元の形である「… に」もそのままで連用形として認めるので、その点でラ変と異なる。「夕日はなやかにさして、…烏 (からす)のねどこ ろへ行くとて三つ四つ二つなど飛びゆくさへ <u>あはれなり</u> 」〈能因本枕・春はあけぼの〉
(に)	二句切れ (IEくぎれ)	→句切れ (<ぎれ)
	入声 (につしょう)	→四声 (しせい)
(は)	排律 (はいりつ)	漢詩の一体。△絶句・△律詩とともに近(今)体詩の1つ。絶句は4句、律詩は8句と定められているのに対し、句数はおおよそ12句以上できまりがない。首聯(しゅれん)と尾聯(ぴれん)は律詩に準じ、中間の聯はそれぞれ△対句をなしている。杜甫(とほ)の「傷春」(5言)、呉穀人の「仏手柑」(7言)はその例である。
	跋 (ばつ)	著書の末尾に記す文で、「奥書 (ぉ<がき) 」または「後書 (ぁとがき) 」ともいう。その書の由来などを研究する場合に参 考になることが多い。たとえば、枕草子の跋文は、その成立事情や、流布の経緯、題号の問題などについて、重要な 問題を提供している。 ↔序
	撥音 (はつおん)	現代の表記で「ん」「ン」と書かれる音韻。「はねる音」ともいう。漢字音の影響によって生じたといわれるが、古 くはその表記法が動揺していて、その位置に表記がなかったり、「む」や「い」を用いたりした。現代のような表記 法が確立したのは、だいたい平安時代末期(12世紀)ごろという。
	撥音便 (はつおんびん)	→音便 (おんぴん)

-	反語 (はんご)	話し手が、肯定あるいは否定の確信をもっていながら、一応疑問の形で相手に問いかける言い方。疑問に対する答え を求めるのではなく、確信している答えが発せられるのを期待することによって、強調または余情を投げかける表現 法である。文語では、「や」「か」のほか、「やは」「かは」「やも」「かも」を使うことが多い。「寝(い)もぬら め <u>やも</u> (=ネラレヨウカ、イヤ、ネラレハシナイ)古(いにしへ)思ふに」〈万・1・46〉「月 <u>や</u> あらぬ春 <u>や</u> 昔の春な らぬ」〈伊勢・4〉「あとまで見る人ありとはいかで <u>か</u> 知らん(=ドウシテ知ロウカ、イヤ、知ルハズガナイ)」〈徒 然・32〉
	反実仮想 (はんじつかそう)	すでに存在する事実に反対の状態を仮定して、その仮定のもとである状態を想像して述べる推量表現。「もし…だったら…だろう(のに)」と言い換えられる。古代は「…ませば…まし」の形、中古以後は「…ましかば…まし」「未然形+ば…まし」の形で表されることが多い。「わが背子(せこ)と二人見ませばいくばくかこの降る雪のうれしからまし」〈万・8・1662〉「まして竜(たっ)を捕らへたらましかば、又こともなく、我は害せられなまし」〈竹取・竜の頸の玉〉
	反照代名詞 (はんしょうだいめいし)	△代名詞の1つ。「おの」「おのれ」「自分」などのように、自称・対称・他称にかかわりなく、その人自身、その物 自体をそれに再び戻ってさし示す代名詞である。「橘 (たちばな) は <u>おの</u> が枝枝なれれども玉に貫 (ぬ) くとき同 (おや) じ 緒に貫く」〈天智紀〉「人は <u>おのれ</u> (=自分自身)をつづまやかにし」〈徒然・18〉=反射代名詞・再帰代名詞。
	反切 (はんせつ)	中国で、字音を示すために用いた1つの方法で、求める字の頭音と同じ頭音の字を上に、求める字の△韻と同韻の字 を下において、この2字から字音を求めるもの。たとえば「東」について、「徳紅反」とあれば、徳(tok)の頭音(t) と、紅(hong)の韻(ong)とによってtongの音を導き出す方法。なお、唐代までは「○○反」、宋(そう)以後は「○ ○切」といい、日本では、「かへし」ともいった。
	半濁音 (はんだくおん)	バ行とそれに応じる△拗(ょう)音の△音節(ビャ・ビュ・ビョ)をいう。半濁音といっても、音韻上では、Pはbに 対するもので、bが有声音・濁音であるのに対し、Pは無声音・清音という関係にある。「半」というのは、中世に 濁音を「。。」の印で示したのに対し、半濁音を「。」で示すところからきているという。「。」の符号は元来は古辞書 で清音に読む印として使われていたが、室町時代末期ごろから半濁音の符号として用いられるようになった。→清音 (せいおん)・濁音(だ<おん)
	版本 (はんぽん)	印刷された図書・書物の意。板本・刻本・摺(す)り本・摺(す)り巻とも称する。 現存する版本で最古のものは、称徳天皇の発願による1枚板の「百万塔陀羅尼(たらに)」〈宝亀元年(770)〉であ る。平安時代末期から鎌倉時代には、「春日(かすが)版」が最も名高く、奈良興福寺の僧院が講学に必要な経典を出版 した。ついで奈良の版本の影響のもと、高野山の「高野版」、紀州の「根来(ねごろ)版」、延暦(えんりゃく)寺の「比叡

294

		(ひえい)版」が現れ、また京都では知恩院を中心とする「浄土教版」、また別に「東寺版」の開版を見るに至った。室町時代には、宋(そう)・元の刊本が輸入され、五山中心の禅僧によってその複製が行われ(五山版)、仏典・儒書が盛んに刊行された。室町時代末期に至ると西洋および朝鮮から活字印刷の技術がそれぞれ別に輸入され、出版はいよいよ盛んになり、ついに江戸時代初期の活字本黄金時代を迎えた。刊本の需要の増加につれて、版本は活版から多く製版印刷に転じ、営業者の版元による「町版」の普及を見るに至り、仮名草子・浮世草子の類が刊行され世に迎えられた。さらに、江戸時代中期以降には、読本(よみほん)・洒落(しゃれ)本などのほか、国学関係の書、俳諧(はいかい)書などの版本が盛んに出版された。
(ひ)	比況の助動詞 (ひきようのじよどうし)	1つの意義を他の意義に比べ、たとえて述べる助動詞。比喩(ひゅ)の助動詞ともいう。述べようとする事物・状態を 具体化してわかりやすくしたり、また、あからさまに表現できない事柄について抽象化したり、婉曲(えんきょく)にし たりするときに用いる。文語では「ごとし」がこれに属する。「道に長じぬる一言、神のごとしと人思へり」〈徒然・ 145〉
	被修飾語 (ひしゆうしょくご)	文の成分の 1 つ。修飾語によって修飾される語または△文節。国語では語序のきまりがあり、修飾語のあとに来るの がふつうで、特別の場合を除き先行することはない。 ▲ 修飾語 (しゅうしょくご)
	非情の受身 (ひじょうのうけみ)	→受身の助動詞 (うけみのじよどうし)
	否定の助動詞 (ひていのじよどうし)	→打消の助動詞(うちけしのじよどうし)
	比喻·譬喻 (ひゆ)	ある事物を表現する場合、これに類似する他の事物によって表現すること。これには直喩・隠喩・諷喩(ふうゅ)・活喩 がある。(1)直喩…「たとへば」「あたかも」「如(ことい)」「似たり」などの語を用いる。「蟻(ょり)のごとく集ま る」(2)隠喩…「たとへば」「如し」などの語を用いないでいう。「雪の肌」「氷の刃(やいば)」(3)諷喩…裏面 にある意味をこめて婉曲(えんきょく)にいう。たとえ話。寓話。「井の中の蛙(かわず)大海を知らず」 (4)活喩…ム擬人法に同じ。「花笑ひ鳥歌ふ」
	表意文字 (ひょういもじ)	「意字」ともいう。漢字など、おのおのの文字がある意味に対応している文字。意味だけを表すのではなく、音をも 表すことから表意文字の名は適当でないとし、むしろ語と対応するのであるとして、表語文字という名が使われるよ うにもなった。↔ 表音文字 (ひょうぉんもじ)
	表音文字 (ひょうおんもじ)	「音字」ともいう。△字音がその言語に用いられる音の単位である△単音 1 個または△音節 1 個を表す文字。前者(単 音文字)にはローマ字などがあり、後者(音節文字)には、日本の仮名文字などがある。↔表意文字(ひょういもじ)

	表語文字 (ひょうごもじ)	→表意文字 (ひょういもじ)
	平声 (ひょうしょう)	→四声 (しせい)
	平仄 (ひょうそく)	→四声 (Lttn)
	平仮名 (ひらかな)	国語を表記する△表音文字(音節文字)。古くは「かな」「かんな」といわれ、「△万葉仮名」を草書体にくずして 書く「草仮名(そうがな)」が、さらにやわらげられ、簡略化されてできた文字である。平仮名の字体が現行のものに一 定したのは明治時代以後で、その以前には、異体の文字「△変体仮名」も併用された。平仮名の作者を弘法(こうぼう) 大師とするのは根拠のない俗説で、中古初期、相当の年月にわたって、多くの人の手によって成立したものと推定さ れる。平仮名は、最初、主として消息や和歌を記すのに用いられ、しだいに日記や物語類まで書かれるようになった らしい。当時、漢字・漢文は男子の専有物であり、女性は多く平仮名を用いたので、平仮名は「女手(おんなで)」とも 称されたが、男性も場合に応じて平仮名を利用し、和歌や物語などを記した。
	品詞 (ひんし)	単語を性質・形態・用法にもとづいて分類した種別。個々の単語は、それぞれいすれかの品詞に所属することになり、 また、所属品詞を確認することによって、その語の文法上の性質や職能を明らかにすることができる。単語を分類す ることを「品詞分類」というが、通常、△動詞・△形容詞・△形容動詞・△名詞・△副詞・△連体詞・△接続詞・△ 感動詞・△助動詞・△助詞の10品詞に分類される。
	品詞の転成 (ひんしのてんせい)	1つの単語が、形はほぼもとのままで、もとの品詞の意味・用法が変わって、他の品詞としての性質をもつようになることをいう。(1)名詞に転成したもの…光・遊び(動詞から)、遠く・辛子(からし)(形容詞から)、あはれ(感動詞から)(2)代名詞に転成したもの…君(きみ)・僕(ほく)(名詞から)(3)動詞に転成したもの…悲しむ(形容詞から)(4)形容詞に転成したもの…騒がし(動詞から)、いとどし(副詞から)(5)副詞に転成したもの…つゆ(名詞から)、たとひ(動詞から)(6)接続詞に転成したもの…および(動詞から)、なほ(副詞から)(7)感動詞に 転成したもの…あれ(代名詞から)、いかに(副詞から) など。
131)	複合語 (ふくごうご)	合成語ともいう。2つ以上の単語が合して、1つの意味を表す新しい単語になったものをいう。→熟語(じゅくご)・畳 語(じょうご)・連濁(nんだく) 複合名詞… <u>山ざくら</u> ・落ち葉 複合動詞… <u>旅立つ・高鳴る</u> 複合形容詞… <u>待ち遠し・かろがろし</u>

		複合副詞…誠に・何とぞ 複合接続詞… <u>並びに・また</u> は
	副詞 (ふくし)	品詞の1つ。単語のうち、△自立語で△活用がなく、主語になれず、主として△用言を修飾するものをいう。「風雨 <u>なほ</u> やまず」(動詞を修飾)「紅葉 <u>いと</u> うるはし」(形容詞を修飾)「海上 <u>きはめて</u> おだやかなり」(形容動詞を修 飾)。 なお、次のような語は連用修飾語であるが副詞とは認められないから、区別する必要がある。 (1)「 <u>昔</u> (=名詞)男ありけり」「草子に歌 <u>一つ</u> (=名詞)書け」 (2)「 <u>白く</u> (=形容詞)なりゆく山ぎは」 (3)「枝も <u>たわわに</u> (=形容動詞)なりたる」「秋風 <u>蕭々(せうせう)と</u> (=形容動詞)吹く」 副詞は、その表す意味や機能のうえから、△状態の副詞・△程度の副詞・△叙述の副詞の3種に分けられる。それぞ れの項を参照。
	副詞法 (ふくしほう)	△活用形の用法の1つ。主として、△形容詞・△形容動詞の連用形が、副詞のように用言を修飾する用法をいう。連 用法ともいう。「紫だちたる雲の細く(=形容詞)たなびきたる」「 <u>静かに</u> (=形容動詞)思へば」「 <u>悠然と</u> (=形 容動詞)山を見る」
	副助詞 (ふくじよし)	種々の語に付属してある意味を添え、△副詞のようにそれを受ける△文節を修飾する△助詞。文語では「だに」「さ ヘ」「すら」「のみ」「ばかり」「まで」「など」がこれに属する。「散りぬとも香(か)を <u>だに</u> (=セメテ香リダケ デモ。限定ノ意)残せ梅の花恋しき時の思ひ出(い)でにせむ」〈古今・春上〉「春雨ににほへる色も飽かなくに香(か) <u>さへ(=</u> 香リマデガ。添加ノ意)なうかし山吹の花」〈古今・春下〉「和泉(いづみ)の国 <u>まで</u> (=帰着点ノ意)と平ら かに願立つ」〈土佐〉
	複文 (ふくぶん)	△主語・△述語の関係を基準として考えた文の構造の1つ。1つの文において、主語・述語の関係が△対等の関係で なく、2回以上成り立つ文、すなわち文中に従属節を含む文をいう。▲単文(たんぶん)・重文(じゅうぶん) 「雨など 降るも をかし」〈枕・春はあけぼの〉 主」 主
	武士詞 (ぶしことば)	武士が味方に関して不吉なことばを忌みきらって用いた△忌み詞の1つ。たとえば、戦場などで縁起をかつぎ、士気を鼓舞する必要から、「討たれて」を「討たせて」、「射られ」を「射させ」などといった例が軍記物語に見える。 武者詞(むしゃことば)・武家詞(ぶけことば)・陣中詞(じんちゆうことば)ということもある。

	付属語 (ふぞくご)	その語単独では△文節になることがなく、常に△自立語に付属して用いられるもの。自立語のように概念を表すこと がなく、概念と概念との結びつきの関係や、概念に対する話し手の気持ちや態度を表す語で、△活用のある△助動詞 と活用のない△助詞がこれに属する。「名利 <u>に</u> つかは <u>れて</u> 静かなる いとま なく 一生 <u>を</u> 苦しむる <u>こそ</u> 愚か なれ」〈徒然・38〉↔自立語
	部立 (ぶだて)	歌集などで、歌を配列するために、部類・部門に分けること。たとえば、万葉集では、雑歌(そうか)・相聞(そうもん)・ 挽歌(ばんか)・正述心緒(せいじゅつしんしよ)歌・寄物陳思(きぶつちんし)歌・譬喩(ひゅ)歌に分けたり、勅撰(ちょくせん)和 歌集では、四季(春・夏・秋・冬)・恋・物名(もののな)・賀・哀傷・羇旅(きりょ)・雑(そう)・雑体(そうたい)・連歌 (れんが)・神祗(じんぎ)・釈教(しゃくきょう)などに分けたりしているのが、それである。
	普通名詞 (ふつうめいし)	△名詞の1種。同じ種類の事物に共通して用いられる普通一般の名詞をいう。たとえば、「人・山・川・花・月」な ど。「月・太陽」などは、この世に1つしか存在しないところから△固有名詞のように考えたくなるが、他と区別す るためにつけられた名称でないから普通名詞と見る。また、「太郎」なども、長男の意であれば普通名詞、人名であ れば固有名詞ということになる。
	文 (356)	言語単位の1つ。一続きの、あるまとまった思想を表していて、その終わりで音の切れるものをいう。文の定義づけ は、簡単にはできないが、内にある思想内容と外に現れた言語形式の両面から考えてみると、(1)文は事柄の表現 に、さらにそれに関する言語主体の態度・気持ちなどの表現(判断・推量・要求・感動など、すなわち陳述)が加わっ て1まとまりとなる、(2)音の連続であり、前後には必ず音の切れ目がある、(3)文の終わりには特殊の音調が 加わり、それによって文の断止が明らかに示される、(4)書きことばにおいては、文の終わりにつ点「。」を付ける のがふつうである、などの特質をあげることができる。このように、文法上の「文」は、ことばによって1つのまと まった思想や判断・情緒を相手に伝達するものであるから、構造上1つの本文節のものもあり、成分としては、本主 語・本述語・その他の要素が省略される場合もある。
	文語 (ぶんご)	△口語に対することばで、本来は書きことば(文章語)のことであるが、ふつうには、現代語に対する古典語という 意味に用いることが多い。特に、古典語の中でも、主として、その標準的なものとして考えられてきた中古の文法に もとづく言語体系をさす場合がある。「文語文」とか「文語文法」という場合は、この場合に近い。↔ 口語
	文節 (ぶんせつ)	言語単位の1つで、単語と文の中間に位するもの。文素・語節とよぶこともある。文を実際上の言語として不自然で ないまでにできるだけ細かく区切った場合の1つの区切りをいう。実際に用いる言語として意味のわかる最小の一区 切り(意味上の単位)であり、外形上からは息の一段落と一致するところ(音声上の単位)である。つまりそれだけ はいつも一続きに発音され、その前後に音の切れ目を置くことができる。構成上からは1単語(へ自立語)から成る ものと、2つ以上の単語(自立語1つとへ付属語1つ以上)から成るものがあり、文節が文を構成する場合の関係に

		ついてみると、続く文節と切れる文節とに分けられる。「よどみに 浮かぶ うたかたは かつ 消え かつ 結び て 久しく とどまりたる ためし なし」〈方丈〉
	文体 (ぶんたい)	文章は、その記載形式や語彙(ごい)、もしくは表現法によって、さまざまな特殊性や類型を生じる。その、それぞれの型を文体とよぶ。したがって、型に分ける基準によって、いろいろな面から文体を設定することができる。たとえば、 (1)記載形式による――漢文体・宣命(せんみょう)体・東鑑(あづまかがみ)体 (2)語彙・語法による――候文体・和文体・漢文直訳体・文語体・口語体 (3)修辞による――散文体・韻文体・四六駢儷(べんれい)体など。
	文の種類 (ぶんのしゆるい)	文の構造のうえから、特に△主語・△述語の関係を基準として、△単文・△複文・△重文の3種に分ける場合と、文 の叙述のしかたと、切れる文節に現れる形のうえの特徴から、△平叙文・△疑問文・△命令文・△感動文の4種に分 ける場合とがある。これらの分類は、国語の性格からいって、主語・述語の関係だけを基準としたり、叙述のしかた や特徴だけを基準としたりしているので、明確な分類とはいいにくい。
[^]	平叙文 (へいじよぶん)	文をその性質上から分類した場合の1種で、肯定・否定・推量・決意・比況など、ふつうの意味を叙述するもの。切 れる△文節が△用言または△助動詞の終止形で終わるのがふつうだが、文語では△係り結びの場合があって、「ぞ」 「なむ」には連体形、「こそ」には已然形で結ぶ。「かきつばた咲きたり」(肯定)「みな人見知らず」(否定)「飛 び降るとも降りなむ」(推量)「早く行かむ」(決意)「花の散るは吹雪のごとし」(比況)→文の種類(ぶんのしゆる い)・感動文(かんどうぶん)・命令文(めいれいぶん)・疑問文(ぎもんぶん)
	並立語 (へいりつご)	→対等の関係 (たいとうのかんけい)
	並列助詞 (へいれつじょし)	△助詞の1つ。種々の語に付いて、並列する意を示すもの。文語では「と」「の」「や」「か」などがある。「夏 <u>と</u> 秋 <u>と</u> ゆきかふ空のかよひ路は」〈古今・夏〉「唐(から)の大和(やまと)のめづらしくえならぬ調度ども並べおき」〈徒 然・10〉「人々の花 <u>や</u> 蝶(でふ) <u>や</u> とめづるこそはかなうあやしけれ」〈堤中納言・虫めづる姫君〉「ある <u>か</u> なき <u>か</u> にうつる朝顔」〈源・朝顔〉。ただし、助詞の分類において並列助詞を立てない場合は、右の「と」「の」は△格助 詞、「や(間投助詞ともする)」「か」は△係助詞に含めて扱う。本書もその立場をとっている。=並立助詞。

	並立の関係 (へいりつのかんけい)	→対等の関係 (たいとうのかんけい)
	変体仮名 (へんたいがな)	仮名の1つ。現在一般に用いられる字体以外の異体の△平仮名をいう。一口に、平仮名といっても字源の漢字の違いや、くずし書きの程度によって、種々の字体のものが生まれて、並び行われてきたが、明治時代末期ごろから現在の字体だけが、ふつうに使用され、他は「変体仮名」と称され、書道などにだけ用いられるようになった。
(ほ)	母音 (ぼいん)	△子音に対する名称で、気息の通る路 (みち) で閉鎖または狭めの起きない音。国語にふつうに用いられる母音は、a・ i・u・e・oの五音である。↔ 子音
	方言 (ほうげん)	1つの国語が、地方によって別々に発達して、音韻・文法・語彙(こい)のうえで、いくつかの言語団に分かれたときに、 それぞれの分団の言語全体をさして、方言という。方言が生じるのは、各地域の社会状態の特殊性や、各地間の交通 の疎隔によることが多い。万葉集の「東歌(ぁづまうた)」や「防人(さきもり)の歌」には、当時の東国方言がみえる。
	補助形容詞 (ほじょけいようし)	補助用言の1つ。他の語に付いて、これに付属的な意味を添える△形容詞をいう。△用言であって、もとの意味を失い、△助動詞と同じ用法をもつようになったもの。「天気がよく <u>ない</u> (口語)」の「ない」や、「木々の木の葉、まだいと繁(しけ)うは <u>なう</u> て」〈能因本枕・正月一日は〉の「なし」がこれに当たる。
	補助動詞(ほじょどうし)	△補助用言の1つ。他の語に付いて、これに付属的な意味を添える△動詞をいう。△用言であって、もとの意味を失 い、△助動詞と同じ用法をもつようになったもの。「その本を取ってください(口語)」。文語では、用法上からは 次のように分類することができる。 (1)「に」「にて」とともに△体言に付いて、指定の「である」の意を表す。「雪の降りたるはいふべき(サマ) にも <u>あら</u> ず」〈枕・春はあけぼの〉「渡し守に <u>c</u> (<u>候ふ</u> 」〈謡・隅田川〉 (2)形容詞・形容動詞に付く「ある」の意味の動詞。「うつくしう <u>侍り</u> 」「賢う <u>お</u> はします」 (3)動詞の連用形に付いて、敬意を表す動詞。「御子さへ生まれ給ひぬ」〈源・桐壺〉「あはれに見 <u>奉る</u> 」「竹の 中より見つけ聞こえたりしかど」〈竹取・かぐや姫の昇天〉「ぜひもなくおもしろう狂ひ候ふを見候ふよ」〈謡・隅 田川〉 (4)「て」を伴う動詞に付く動詞。「聞き <u>c</u> (<u>時り</u> 」「西行の庵室 (ぁんぃち)に着き <u>c</u> (<u>候ふ</u> 」〈謡・西行桜〉
	補助の関係 (ほじょのかんけい)	「吾輩(bbidu)は猫である」「君もをかしと聞きたまふ」〈源・若菜〉。この傍点の△文節と傍線の文節の関係をみると、前の文節がおもな意味を表し、あとの文節はこれに付属して補助的な意味を添えている。このような連なり方を「補助の関係」または「付属の関係」という。この場合、後の文節は常に△補助用言である。補助の関係は、△用言とそれに付く△助動詞との関係によく似ていて、文例の「猫である」「聞きたまふ」は、ほとんど1文節のようなはたらきをしている。しかし、これらを補助の関係に立つ2つの文節と見なすのは、この場合「ある」「たまふ」などの語が、「ここに本がある」「御衣(おほんぞ)をたまふ」のように、時に応じて独立の本動詞としての機能をもっており、完全に助動詞になりきってはいないからである。

	補助用言 (ほじよようげん)	△用言が、もとの意味を失い、△助動詞と同じく補助的用法に用いられるようになったものをいう。△補助動詞と△ 補助形容詞の2種がある。これらの語は意味・用法のうえでは助動詞に相当するが、形態のうえではそれだけで△文 節をつくることができるから、自立語として扱われる。→補助動詞(ほじょどうし)・補助形容詞(ほじょけいようし)
	梵語 (ぼんご)	サンスクリット(古代インド・アリアン語)。ギリシャ語やラテン語と同系統のインド・ヨーロッパ語族に属する。 紀元前から会話語としての性格を失い、その後は文章語として用いられた。仏教の伝播 (でんぱ) に伴い、漢訳仏典を通 じてわが国の日常語にも吸収され、今日もなお使われているものがある。たとえば、僧(ソー)・旦那(ダンナ)・ 卒塔婆(ソトバ)・袈裟(ケサ)・舎利(シャリ)・刹那(セツナ)など。
(ま行)	枕詞 (まくらことば)	国語の修辞の1つ。一定の語に冠して修飾または句調を整えるのに用いる語句。主として、上代・中古の和歌などに 用いられ、5音がふつうであるが、古いものには、4音(うま酒→三輪、つぎねふ→山城)などもあり、3音(千葉 の→葛野(かづの))のものもある。枕詞の起源は、神名・人名・地名に冠して用いられたもので、元来は呪術(じゅじゅ つ)的なほめことばであったろうという。歌謡が和歌となり、文芸作品の性質を帯びるにしたがって、枕詞も本来の性 質を失って声調的・情緒的な修辞上の技巧に変質していったと思われる。枕詞の使用は上代の記紀からみられ、「万 葉集」に最も多彩に生き生きと用いられているが、「古今集」以後ではその数も僅少(きんしょう)となり、内容の空虚 な形式的修辞に化している。 枕詞の中で上代からあったと推定されるものには「あしひきの」「あをによし」「ひさかたの」などがあり、語義や かかり方の不明なものが多い。語義の解釈しうるものや、動詞・形容詞・語句などにかかるものは成立がおそく、な かには人麻呂などの歌人による創作もあると推定される。その修飾する語句へのかかり方には、およそ次の2種類が 考えられる。 (1)意味の関連によるもの…天離(ぁまざか)る→鄙(ひな)くさまくら→旅 菅(すが)の根の→長き 垂乳根(たらちね) の→母・親 (2)音の関連によるもの…葦田鶴(ぁしたづ)の→たづたづし さゆり花→後(ゅり) 柞葉(ははそは)の→母 =冠辞・頭辞。
	未然形 (みぜんけい)	△活用形の1つ。助動詞「む」・助詞「ば」に続いて、まだ(未)実際には起きていない事実(然)を述べるのに用いられ、 未然形とよばれる。単独で文中に用いられた例はなく、常に次の助動詞・助詞に続く形として用いられる。 (1)助動詞…ず・む・じ・す(四段・ナ変・ラ変だけ)・さす(四段・ナ変・ラ変以外)・しむ・る(四段・ナ変・ ラ変だけ)・らる(四段・ナ変・ラ変以外)・まほし・まし・り(サ変だけ) (2)助詞…ば・で・な…そ(力変・サ変だけ)・ばや・なむ

道行文 (みちゆきぶん)	地名を追いながら、道中の風景や旅情などを織りこんで作る詞章。多く△七五調で、接続には掛詞などの技巧が見られる。宴曲・軍記物・謡曲・浄瑠璃(じょうるり)などに用いられ、わが国独特の表現形式である。「…憂きをば留めぬ 相坂の、関の清水に袖(そで)濡(ぬ)れて、末は山路を打出の浜、沖を遥かに見渡せば、塩ならぬ海にこがれ行く、身 を浮舟の浮き沈み、駒も轟(ととろ)と踏み鳴らす、勢多の長橋打ち渡り、行き交ふ人に近江路や、世のうねの野に鳴く 鶴も、子を思ふかと哀れなり」〈太平記・2〉
武者詞 (むしゃことば)	→武士詞 (ぶしことば)
無変化型の 助動詞 ^{(むへんかがたの} じょどうし)	△活用形の用法は備えていても、活用形に変化が見られない助動詞。文語では「じ」(打消推量)「らし」(推量) がこれに属する。無変化型の助動詞を特に立てないで、特殊活用型の助動詞に含める考えもある。本書はこの立場を とっている。
名詞 (めいし)	品詞の1つ。事物の概念を名称によって表した語。△自立語で、△活用がなく、△主語になることができる。広義には、名詞すなわち△体言とするが、一般には△代名詞・△数詞とともに体言の1種とされる。名詞を△普通名詞・△ 固有名詞に分け、また別に△実質名詞と△形式名詞に分けることもある。
命令形 (めいれいけい)	△活用形の1つ。単独で言い切り、聞き手への「命令」の意を表すのがふつうであるが、「許容」「放任」の意に用 いられる場合もある。たとえば、「今は西海の浪(なみ)の底に沈まば <u>沈め</u> 」〈平家・7・忠度都落〉「勝手に <u>せよ</u> 」 など。上一段・上二段・下一段・下二段・カ変・サ変の動詞の命令形は、「見よ」「起きよ」「受けよ」「来(こ)よ」 のように「よ」を伴うが、この「よ」を助詞と見る説もある。カ変の命令形は、中古ごろまでは「よ」を伴わない「来 (こ)」の形を用いた。また、口語の△可能動詞は性質上、命令形を欠いている。△形容詞にも命令形はないが、文語 では△カリ活用の「…かれ」という形をあてている。△助動詞は、同じ語形の語でも、それぞれの語の意味から、命 令形をもつものと欠くものとがある。
命令文 (めいれいぶん)	文をその性質上から分類した場合の1種で、命令・禁止・希望・要求などの意味を表すものをいう。「希望文」ということもある。切れる△文節に、△用言または△助動詞の命令形を用いるか、その意味を表す語を添えるか、または禁止や願望・希望の語を添えることが多い。「心して降りよ」(命令)「あやまちすな」(禁止)「外山(とゃま)の霞(かすみ)立たずもあらなむ」(願望)「昔を今になすよしもがな」(希望) ▲ 文の種類(ぶんのしゆるい)・平叙文(へいじょぶん)・疑問文(ぎもんぶん)・感動文(かんどうぶん)
迷惑の受身 (めいわくのうけみ)	→受身の助動詞(うけみのじょどうし)

	木版本 (もくはんぽん)	元来、木版本の意であった「版本」が、広く「写本」に対して印刷本をいうようになって、版木に彫って印刷するものを改めて区別する時、「木」をつけていう。版木を彫るには薄い和紙に彫るべき文字や絵図を書き、これを裏返しに版木に貼(は)りつけて刻む。この文字や絵図を「版下(はんした)」といい、その筆耕者を「版下書き」といった。版木は、日本では桜を使ったが、中国では梓(ぁすさ)を用いたので「上梓(じょうい)」の語がある。なお、「整版本」「槧本(ざんぽん)」も同義である。	
	文選読み (もんぜんよみ)	漢文訓読における読み方の1種で、たとえば「関々雎鳩」〈詩経〉を「クヮンクヮントヤハラギナケルショキウノミ サゴハ」と読むように、同一の漢語・漢字を最初、音で読み、続いて訓でもう一度読む読み方。これを文選読みとい うのは、中国の詩文集「文選」の読み方に顕著にこの方法が伝えられたからで、すでに「太平記」などの漢文訓読調 の文章にも見られるが、形式化したのは江戸時代であるという。	
(や行)	湯桶読み (ゆとうよみ)	漢字の熟語・複合語で、たとえば「湯桶 (ゆとう)」(食後に飲む湯を入れる器)のように、上の漢字を△訓で読み、下の漢字を△音で読む読み方。「初陣 (うひぢん)」「手本 (てほん)」「野宿 (のじゆく)」などもこの例である。▲ 重箱読み (じゆうばこよみ)	
	拗音 (ようおん)	キャ・キュ・キョのようにヤ行のヤ・ユ・ヨや、クヮ・グヮのようにワを他の仮名の右下に小書きして表す音。前者 を開拗音(ヤ行拗音)、後者を合拗音(ワ行拗音)ともいう。↔ 直音 (รょ<おん)	
	用言 (ようげん)	 △自立語で活用のある語。事物の動作・存在・性質・状態を表し、単独で述語になることができる。活用形式によって、次の3品詞に分ける。↔体言 (1) △動詞(終止形がウ段の音で終わるもの。ただし、文語ラ変はイ段「り」) (2) △形容詞(終止形が「し」(文語)、「い」(口語)で終わるもの) (3) △形容動詞(終止形が「なり・たり」(文語)、「だ」(口語)で終わるもの) 	
	様態の助動詞 (ようたいのじよどうし)	物の存在のしかた、人の行動・ようすなどについて、「…のようすだ」「…のように見える」と、不確かな断定を表 す助動詞をいう。口語では「ようだ」「そうだ」「ふうだ」(形容動詞型)がこれに属する。文語では推量の助動詞 「めり」(ラ変動詞型)をこれに加える説もある。これらは不確かな判断を表す性質をもつところから、やわらげて 言う表現(婉曲 (えんきょく) な叙述)にも使われる。	
	四段活用 (よだんかつよう)	文語動詞の活用の1つ。「待つ」「思ふ」のように、△活用語尾が△五十音図のアイウエの四段に活用する形式をもつもの。終止形・連体形が同形、已然形・命令形が同形で、連用形に△音便がある。口語動詞の場合は、助動詞「う」がつくとき、未然形に「書ごう」「待とう」などと才段が加わるので「五段活用」という。	

(ら行)	ラ行変格活用 (らぎょうへんかくかつ ょう)	文語動詞の活用の1つ。略してラ変ともいう。四段活用に似ているが、その違いは終止形がイの段(「り」)で終わることである。「ら・り・り・る・れ・れ」と活用する。これに属する語は「あり」「居(を)り」「はべり」「いまそがり」がある。「あり」「居り」「はべり」は、口語では「ある」「居(さ)る」「はべる」と五段活用になり、「いまそがり」は用いられない。
	六書 (b<しよ)	漢字を語の書き表し方から6分類した総称。△象形(しょうけい)・△指事・△会意・△形声・△転注・△仮借(かしゃ)の6つをいう。六書は後漢ごろから説かれたが、六書の原理を用いて当時の文字を分類し、それぞれの文字の正しい意味を定めたのが後漢の許慎(きょしん)の「説文(せつもん)解字」15編(西暦100年ごろ成立)である。→会意(かしい)・仮借(かしゃ)・形声(けいせい)・指事(しじ)・象形(しょうけい)・転注(てんちゅう)
	律詩 (りつし)	漢詩の一体。単に「律」ともいう。2句を一組みとして、首聯・頷聯(がんれん)・頸聯(けいれん)・尾聯の8句から成る。 各句の字数によって、五言律詩・七言律詩の2種がある。△絶句とともに南北朝から唐にかけて完成された近(今) 体詩。頷聯と頸聯はそれぞれ対句をなし、△押韻(ぉぅぃん)・△平仄(ひょぅそく)などにも厳密なきまりがある。
	流布本 (るふぼん)	同一の古典作品として伝えられる本文のうち、もっとも世間に流布・通行しているものをいい、「異本」ということ になる。流布本の特色は文意が通ってわかりやすい点にあるが、だからといって正しい本文であるとは限らない。そ こに△校合 (モょうごう) という作業の必要性がある。→ 校合 (モょうごう)
	歴史的仮名遣い (れきしてきかなづかい)	△仮名遣いの基準を一定の過去の文献の用例に求める立場のものをいう。表音的仮名遣いに対するもので、「古典的 仮名遣い」とも称される。ふつうには「現代仮名遣い」が制定される以前、国が公認したものをさすが、具体的には、 江戸時代初期に国学者契沖(けいちゅう)の定めた仮名遣いを意味する。△仮名による表記法は、音声の変化とともに乱 れたが、中世以後、いわゆる「△定家仮名遣い」が、1つの基準として行われてきた。しかし「定家仮名遣い」は、 その根拠とした文献が、当時から比較的近い過去のものであったらしく、原理の不統一や誤りが見られた。この点に 疑問をいだいた契沖は、「定家仮名遣い」に対して、仮名の用法に混乱を生じなかった中古中期(天暦ごろ)以前の 古典(記紀・「万葉集」・「和名抄」など)に仮名遣いの基準を求め、「和字正濫抄(いしょうらんしょう)」を著してこ の法則の使用を主張した。これは、伝統を尊重する国学者によって支持され、楫取魚彦(かとりなひこ)の「古言梯(にけん てい)」で補訂が加えられ、権威づけられるようになった。明治時代にはいると義務教育に採用されて公認のものとな り、諸種の文章や口語文にも広く用いられ、「現代仮名遣い」が公布されるまで国語の仮名表記の規範としての地位 を保った。→ 仮名遣い(かなづかい)
	連語 (れんご)	2 つ以上の単語の連結したもの。「山 の 端」「春 は」「暮れ ぬ」など。ただし、単語の結合でも、それらが すっかり熟合して、結合以前とは異なった 1 単語としての形態や機能をもっているものは「△複合語」として、連語 とは区別される。連語のうち、活用のあるものを「活用連語」という。

 連声 音が連続するときに起こる音韻変化の1つで、音韻添加(音の増加)の現象。前の△音節の尾音のm △母音と連なる場合にその△子音が添加されるもの。中古の中期からあった。「かんおん→かんのんんい→さんみ(三位)」「いんえん→いんねん(因縁)」 				
連体形 (れんたいけい)	 △活用形の1つ。△体言を修飾することをおもな用法とする形。口語の動詞・形容詞においては終止形と同形である。 文語連体形の用法としては、次のようなものがある。 (1)連体修飾語として体言を修飾する。「流るる水」「住む家」「白き花」「静かなる山」 (2)係助詞「ぞ」「なむ(なん)」「や」「か」を受けて文を結ぶ(係り結び)。「水ぞ流るる」「心やはらかなるなんよき」「夜や暗き」 (3)下に「こと」「もの」「ひと」などのある気持ちで、体言と同じ資格で用いられる。「雨など<u>降る</u>(コト、サマ)もをかし」〈枕・春はあけぼの〉「<u>行く</u>(ヒト)も帰る(ヒト)も別れては」〈後撰・雑1〉 (4)助動詞「ごとし」「なり(断定)」、助詞「が」「の」「を」「に」「より」「か」「かな」「ぞ」に連なる。 (5)ラ変動詞・形容詞・形容動詞の連体形は、助動詞「べし」「まじ」「らむ」「めり」「らし」「なり(伝聞推定)」に連なる。 			
連体詞 (れんたいし)	品詞の1つ。単語のうち、△自立語で△活用がなく、△主語にならないもので、もっぱら△体言を修飾するものをい う。文語ではこれに属する語は少数で、「ある」「いはゆる」「あらゆる」「さ(然)る」「さしたる」「去 (さ) ん ぬる」「往 (い) んじ(往にし)」など。「この」「その」「わが」は、口語では連体詞(1単語)とし、文語の場合 は「こ・そ・わ(代名詞)」に「の・が(助詞)」の連なったもの(2単語)として扱う。			
連体修飾語 (れんたいしゅうしよくご)	 △修飾語の1つ。△体言を修飾する修飾語で、形容詞的修飾語ともいう。△被修飾語に直接に連なるのが特色である。 連体修飾語となる△文節は、次のような品詞からできている。 (1)連体詞「<u>あらゆる</u>人々」「<u>さしたる</u>事」 (2)体言に助詞が付いたもの「<u>わが</u>子」「<u>月の</u>光」 (3)副詞または副詞に助詞が付いたもの「<u>わづか</u>二人」「<u>しばし</u>の程」 (4) △用言または用言に助動詞が付いたものの連体形「<u>行く</u>春」「<u>さわやかなる</u>風」「昔<u>ありけむ</u>人」「<u>過ぎにし</u> ころ」 (5)形容詞・形容動詞の語幹に助詞「の」が付いたもの「<u>おもしろ</u>の楽の音」「<u>なほざり</u>の心」 			
連濁 (れんだく)	2 語が結合する場合に、下の語の頭の△清音が△濁音になるもの。「あさぎり」「ひとびと」。この現象は字音語に も見られ、傾向として前の字音の尾音がイ・ウ・ンなどのときに多い。「亭子院 (ていじのゐん)」「障子 (さうじ)」「信 心 (しんじん)」			

	連文節 (れんぶんせつ)	連接する2つの△文節が△主語△述語の関係・△修飾語△被修飾語の関係・△対等の関係・△補助の関係で結合して 1つのまとまりになり、さらに他の文節に対して主語・述語・修飾語・△独立語など、1つの文節のようなはたらき をするものをいう。文節と連文節、連文節と連文節とが結合してできる。さらに大きいまとまりも連文節とよぶ。文 節と文節とはこのようにして順次結ばれてゆき、文全体が連文節になったときに終わる。次の傍線の部分は、それぞ れ連文節である。 <u>春は 来たれども</u> <u>寒さ 未 (いま) だ 去らず</u>
	連用形 (れんようけい)	 △活用形の1つ。△用言に連なることをおもな用法とするもので、次のような用法がある。 (1) △中止法…文を中止し、次の△文節に△対等の関係で続く。「花咲き、鳥鳴く」「山青く、水清し」「波静か [こ、風なぎたり] (2) △副詞法…△連用修飾語として△用言を修飾し、または意味を補う。「読み終わる」「暖かくなる」「静かに語る」 (3) △体言と同じ資格をもつ。「花を見に行かむ」 (4) 動詞の連用形は他の動詞などに連なって△複合語となる。「見送る」「居着く」「住みなす」 (5) 助動詞「き」「けり」「つ」「ぬ」「たり」「けむ」「たし」、助詞「て」「して(形容詞・形容動詞だけ)」「つつ」 「(な)…そ(力変・サ変以外)」に連なる。この場合、特定の助動詞・助詞に続くとき、四段・ナ変・ラ変、 形容詞は△音便の形になることがある。「<u>泣い</u>て」「飛んだり」「往 (い) んじ」「あんなり」「面白うて(して)」
	連用修飾語 (れんようしゆうしよくご)	 △修飾語の1つで、△用言を修飾するもの。副詞的修飾語ともいう。客語・補語とよばれるものも、連用修飾語と比べてはっきりと両者を分ける基準をたてにくいことから、今日では連用修飾語として扱っている。連用修飾語になる △文節は次のような品詞からできている。 (1)副詞。「いとあはれなり」「はらはらと散る」 (2)形容詞または形容動詞の連用形。「風涼しく吹く」「静かに思ふ」「巍々(ぎぎ)と聳(そび)ゆ」 (3) △体言(数量や時を示すもの)。「三たび省みる」「一里歩く」「昔、男ありけり」 (4)体言に助詞の付いたもの。「宿を立ち出(い)づ」「仏に仕うまつる」「桜田へ鶴(たつ)鳴きわたる」〈万・3・273〉 (5)用言または活用連語に接続助詞の付いたもの(理由・原因・条件などを示す)。これを「△接続語」として、 連用修飾語に含めない説もある。「遠くとも心を近く思ほせ吾妹(かぎい」〈万・15・3786〉
わ行〕	和漢混交文 (わかんこんこうぶん)	文体の1種。広義には、和文調と漢文調との交じった文体をいう。狭義には、鎌倉時代以降の軍記物語(「保元 (ほう (げん)物語」「平治物語」「平家物語」「太平記」)などに見られる和文調と漢文訓読調を調和させ、それに当時の口 語・俗語をも取り入れた独自の文体をさしていう。系統上は「漢字仮名交じり文」に属するもので、漢字に片仮名を 交ぜて表記し、のちには平仮名を交ぜて表記した。和文の優雅・流麗と漢文訓読調の力強さ・簡潔さとを、内容に応 じて適宜に交じえて表現効果をあげた。

306

ローマ字/かな対応表

ローマ字の入力方法がわからないときは、この表で確認してください。表記1、表記2、表記3、いずれでも入力すること ができます。

ひらがな	表記1	表記2	表記3
あ	A		
い	$ \bigcirc$	\bigcirc	
う	$ $ \bigcirc		
え	E		
お	0		
か	KA		CA
き	\mathbb{K}		
<	KU	QU	\mathbb{O}
け	KE		
Z	KO		\odot
さ	SA		
し	S()	SH()	$ \mathbb{O} $
す	SU		
せ	SE		CE
そ	S0		
た	(TA)		
ち		$\mathbb{C}\mathbb{H}\mathbb{I}$	
つ	$\overline{\mathbb{U}}$	TSU	
て	TE		
と	$\overline{\mathbb{T}}$		
な	NA		
IC.			
ぬ	NU		
ね	NÉ		
の	\mathbb{N}		
は	HA		
ひ	$ \Theta $		

ISI	ΗU	FU	
~	HE		
ほ	(H)		
ま	MA		
み	\mathbb{M}		
む	\mathbb{M}		
め	ME		
も	MO		
や	ÝA		
Ø	YU		
よ	\bigcirc		
5	$(\mathbf{R}\mathbf{A})$		
b	\mathbb{B}		
3	(RU)		
れ	(RE)		
3	R 0		
わ	(MA)		
ゐ	()		
র	WYE		
を	(0)		
h	<u>N</u> *		

●濁音

ひらがな	表記1	表記2	表記3
が	GA		
ぎ	G()		
۲	GU		
げ	GE		

ご	G 0		
ざ	ZA		
じ		$\left \bigcirc \right $	
ず	ZU		
ぜ	ZE		
ぞ	Z0		
だ	DA		
ぢ	\bigcirc		
ブ	$\mathbb{D}\mathbb{U}$		
で	DE		
لخ	\mathbb{D}		
ば	BA		
び	BI		
ISI	BU		
ゔ(ヴ)	VU		
べ	BE		
ſĔ	80		

●半濁音

ひらがな	表記1	表記2	表記3
ಗ	PA		
ぴ	P()		
ßî	PU		
\sim	PE		
ಕ	PO		

ローマ字/かな対応表

●拗音

ひらがな	表記1	表記2	表記3
きゃ	KYA		
きい	$\mathbb{K}\mathbb{Y}$		
セセ	KYU		
きぇ	KYE		
きょ	KY0		
しゃ	SYA	SHA	
しい	SY()		
しゅ	SYU	SHU	
しえ	SYE	SHE	
しょ	SYO	SH0	
ちゃ	TYA	CHA	CYA
ちい	\mathbf{T}	$\mathbb{O}(\mathbb{Y})$	
ちゅ	$\mathbf{T}\mathbf{Y}\mathbf{U}$	CHU	CYU
ちぇ	TYE	CHE	CYE
ちょ	$\overline{\mathbb{T}}$	OHO	CYO
にゃ	NYA		
にい	NYI		
にゆ	NYU		
にえ	NYE		
にょ	NYO		
ひゃ	HYA		
ひい	\mathbb{H}		
ひゅ	HYU		
ひぇ	HYE		
ひょ	HYO		
ふぁ	FA		
ふや	FYA		

ぶい	E()	EY()	
Sid	FYU		
ふえ	ĒĒ	EYE	
ふょ	EY0		
ふぉ	E0		
ぴゃ	PYA		
ぴい	PY1		
ぴゅ	PYU		
ぴぇ	PYE		
ぴょ	PYO		
みゃ	MYA		
みい	MY		
みゆ	MYU		
みえ	MYE		
みょ	MYO		
りゃ	<u>BYA</u>		
りい	$\mathbb{B}\mathbb{Y}$		
りゆ	BYU		
りぇ	BYE		
りょ	BYO		
ぎゃ	GYA		
ぎい	GYI		
ぎゅ	GYU		
ぎぇ	GYE		
ぎょ	GÝO		
じゃ	ZYA		JYA
じい	\mathbb{Z}	\mathbf{U}	
じゅ	\mathbb{Z}	$ \mathbb{O}\mathbb{O} $	UYU

じえ	ZYE	JYE	JE
じょ	ZYO	JO	JYO
ぢゃ	DYA		
ぢぃ	\mathbb{D}		
ぢゅ	$\mathbb{D}\mathbb{Y}\mathbb{U}$		
ぢぇ	DYE		
ぢょ	0Y0		

ひらがな	表記1	表記2
びゃ	BYA	
びい	BYI	
びゅ	BYU	
びぇ	BYE	
びょ	BYO	
ヴァ	VA	
ヴィ	\mathbb{V}	
ヴェ	VE	
ヴォ	\mathbb{V}	
ヴャ	(V)(Y)(A)	
ヴュ	$\mathbb{O}(\mathbb{V})$	
ヴョ	0	
うぁ	(WHA)	
うい	(M)	\mathbb{W}
うぇ	WHE	WE
うぉ	(WHO)	
つぁ	TSA	
つい	TSI	
つえ	TSE	
つお	TSO	
いえ	YE	
てゃ	THA	
てい	$(\mathbb{D} \mathbb{H})$	
てゆ	THU	
てぇ	THE	
てょ	THO	
でや		

でい	$\mathbb{D}\mathbb{H}\mathbb{I}$	
でゅ	$\mathbb{D}\mathbb{H}\mathbb{U}$	
でぇ	DHE	
くぁ	QA	KWA
くい	Q(1)	\mathbb{W}
くぅ	QWU	
くえ	QE	KWE
くぉ	Q0	\mathbb{K}
ぐぁ	GWA	
ぐい	GW	
ぐぅ	GWU	
ぐぇ	GWE	
ぐぉ	GWO	
とう	\mathbb{T}	
どう	\mathbb{D}	

●小文字

ひらがな	表記1	表記2	表記3	表記4
あ	XA		LA	
い	$\otimes \mathbb{I}$		\bigcirc	
う	(X)(U)		$\mathbb{L}\mathbb{O}$	
え	XE		LE	LYE
お	$\otimes 0$		\bigcirc	
2	(UT)(X)	X(T)S(U)**	(L)	LTSU
や	XYA		LYA	
kþ	XYU		\mathbb{D}	
よ	$\otimes 90$		LYO	
わ	XWA			

- *「ん」の次に「あ行」の文字、または 「な行」「や行」の文字がくるときは、 「ん」は「NN」と入力します。
- 【例】「はんい」…①④⑧⑨① 「そんな」…⑤⑨⑨№⑧ それ以外は「ん」は「N」と入力し てかまいません。
- ** 促音 (小文字の「っ」) は、次にくる 文字の子音を続けて入力することに よっても入力することができます。
- 【例】「さっき」…⑤AKK①

著作物と著作権など

『スーパー大辞林』『逆引きスーパー大辞林』

© Sanseido Co., Ltd. 2005

編集/松村明

- * 収録辞書は書籍版『大辞林第二版』に基づいて新語などを増補し たり、社会情勢などの変化を反映させて編集したもので、書籍版 は刊行されておりません。
- * 『逆引きスーパー大辞林』は『スーパー大辞林』のデータを基に しています。

記述内容のお問合せ先 株式会社 三省堂 デジタル情報出版部 TEL (03) 3230-9416

付 録 『改訂新版 漢字源』

© Gakken, 2003

編者/藤堂明保、松本昭、竹田晃、加納喜光

* 収録内容と字体について

収録辞典は、書籍版『改訂新版 漢字源』に基づいて、JIS第1・ 第2水準(JIS X 0208-1997)、第3・第4水準(JIS X 0213-2000)、補助漢字(JIS X 0212-1990)等を親字とする電子版 として編集したものです。字体や画数等もそれら規格の漢字表に 示された漢字に準拠しています。

*『漢字源』は株式会社 学習研究社の登録商標です。

『四字熟語辞典』

© Gakken, 1994

* 収録辞典は書籍版『四字熟語辞典』を基に電子データ化されたも のです。書籍の内容とは一部異なります。

『故事ことわざ辞典』

© Gakken, 1998

* 収録辞典は書籍版『故事ことわざ辞典』を基に電子データ化され たものです。書籍の内容とは一部異なります。

記述内容のお問合せ先

株式会社 学習研究社

TEL (03) 3493-3286

『明鏡国語辞典』

© Kitahara Yasuo & Taishukan, 2002-2006

編者/北原保雄

* 収録辞典は北原保雄氏と大修館書店の著作物であり、書籍『明鏡 国語辞典』を基に、株式会社 大修館書店の協力を得て電子化し たものです。

『ベーシックジーニアス英和辞典』

© KONISHI Tomoshichi, HARAKAWA Hiroyoshi & Taishukan, 2002-2005

編集主幹/小西友七、原川博善

* 収録辞典は小西友七・原川博善氏と大修館書店の著作物であり、 書籍『ベーシックジーニアス英和辞典』を基に、株式会社 大修 館書店の協力を得て電子化したものです。

『ジーニアス英和辞典 第3版|

© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan 2001-2005

編集主幹/小两友七, 南出康世

* 収録辞典は小两友七・南出康世氏と大修館書店の著作物であり. 書籍『ジーニアス英和辞典 第3版』を基に、株式会社 大修館書 著者/綿貫陽、宮川幸久、須貝猛敏、高松尚弘 店の協力を得て雷子化したものです。

『ジーニアス和英辞典 第2版』

© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2002-2005

編集主幹/小西友七, 南出康世

* 収録辞典は小西友七·南出康世氏と大修館書店の著作物であり、 『**肝文社 生物事典 四訂版**』☆ 書籍『ジーニアス和英辞典第2版』を基に、株式会社大修館書 店の協力を得て電子化したものです。

「英語発音クリニック」

- © Taishukan 2005
- * 収録 コンテンツは 『プラクティカル ジーニアス 英和辞典 | 別冊付 録を基に、株式会社大修館書店の協力を得て電子化したものです。

[センター試験英語会話表現集]

© Taishukan 2005

* 『ヤンター試験英語会話表現集』は、株式会社 大修館書店の協 力を得て電子化したものです。書籍版は刊行されておりません。

記述内容のお問合せ先 株式会社 大修館書店 TEL (03) 3294-2221

『肝文社古語辞典 第九版』

Matsumura · Yamaguchi · Wada 2001

編集/松村明、山口明穂、和田利政

『徹底例解 ロイヤル英文法 改訂新版』

© Watanuki Y ほか 2000 英文校問/マーク・ピーターヤン

『世界史事典 三訂版』☆ © Ohunsha 2000

『日本史事典 三訂版』☆

© Obunsha 2000

- © Obunsha Co. 1 td. 2003
 - 監修者/八杉自雄, 可知直毅
- 『肝文社監修 数学公式集』

© Rvouhei Tsuii 2002

- 著者/计良平
- * 本データは「センター試験必出 数学公式 180」(数学1・A/II・B)

から、電子辞書用に公式部分等を抜粋・収録したものです。

『肝文社監修 物理公式集』

© Kisuke Inoue 1996

- 著者/井上喜助
- * 本データは「物理 IB 公式 72」から、電子辞書用に公式部分等 を抜粋・収録したものです。

『肝文社監修 無機化学のキーワード』

© Masavasu Honma 1996

著作物と著作権など

著者/太問正康

* 本データは「無機化学の決め手67」から、電子辞書用に「kev word」の部分等を抜粋・収録したものです。

『肝文社監修 有機化学のキーワード』

© Masavasu Honma 1996

著者/本間正康

* 本データは「有機化学の決め手 65」から、電子辞書用に「kev word」の部分等を抜粋・収録したものです。

『肝文社監修 辞書式配列化学反応式』

© Shouichi Kimura 1994

著者/木村昭市

- * 本データは「辞書式配列化学反応式「改訂版]」の内容から、電 子辞書用に抜粋・収録したものです。
- 『ロイヤル英文法問題集 改訂新版|☆

© Obunsha Co., Ltd.2000

監修者/綿貫陽 著者/池上博

『英単語ターゲット1900 3訂版|

© Y.Miyakawa 2001

著者/宮川幸久

『英単語ターゲット 1900 BRUSH-UP TEST 3 訂版 | ☆

© Obunsha Co., Ltd 2001

監修者/宮川幸久

『旺文社監修 英単語ターゲット 1900 ディクテーション』

監修者/田文社, 宮川幸久

* 本データは、「英単語ターゲット1900 3訂版」の内容から、 『漢検プチドリル3級 改訂版』☆ 電子辞書用に抜粋・収録したものです。

『英熟語ターゲット1000 3訂版 |

© K Hanamoto 2003

著者 / 花本金吾

『英塾語ターゲット 1000 BRUSH-UP TEST 3 訂版 | ☆

© Obunsha Co. 1 td 2003

監修者/花本金吾

- 『肝文社監修 英塾語ターゲット 1000 ディクテーション』
 - 監修者/田文社,花本金吾
 - * 本データは、「英熟語ターゲット1000 3 訂版」の内容から、 電子辞書用に抜粋・収録したものです。

『英検 Pass 単熟語 3 級 改訂版』☆

© Obunsha Co., Ltd. 2003

『英検 Pass 単熟語 2 級 改訂版』☆

© Obunsha Co., Ltd. 2003

- 『肝文社監修 センター試験リスニング対策』
 - * 本データは、「傾向と対策 英語リスニング」および「大学入試 英語リスニング対策スタート編 から、電子辞書用に一部内容を 抜粋・収録したものです。

『古文単語・熟語ターゲット400』

© S Kuwabara/Y Nishi 2000

著者/桑原聡、 西田安実

『漢字ターゲット1700』

© Obunsha Co 1td 1999 著者/肝文社

© Obunsha Co. 1 td. 2002

『漢検プチドリル2 級 改訂版』☆

© Obunsha Co., Ltd. 2002

『世界史年代暗記ターゲット315』

© Tomiko Takahashi 1999

著者/高橋武勇

『日本史年代暗記ターゲット312』

© Yoshio Miyazawa 1999

著者/宮澤嘉夫

* ☆印は「編集/旺文社」のコンテンツを示しています。

記述内容のお問合せ先

株式会社 旺文社

TEL (03) 3266-6018

[Oxford Advanced Learner's Dictionary, 7th edition]

© Oxford University Press 2005

記述内容のお問合せ先 オックスフォード大学出版局株式会社 TEL (03) 3459-6481

『英会話とっさのひとこと辞典』

© Ichiro Tatsumi, Sky Heather Tatsumi, 1998 著者/壁一朗、 窒スカイ・ヘザー

*本機に収録されている内容は、書籍『英会話とっさのひとこと辞 典』を基に、巽一朗氏、巽スカイ・ヘザー氏及び株式会社 DHC の御協力を得て電子化したものです。これらは巽一朗氏、巽スカ

- イ・ヘザー氏の著作物であり、著作権法によって保護されている ため、無断で複写・転載することはできません。
- * 本機の「英会話とっさのひとこと辞典」の音声は、巽一朗氏監修 の音声データを使用させていただいております。

記述内容のお問合せ先 株式会社 DHC TEL(03)3585-1451(営業)

収録辞典・書籍の内容について

- ※本機の各収録辞典・書籍のデータは、著作権法によって保護され ており、私的使用の範囲を超えての転載・複製などは禁止されて います。また、格納されているデータを引用した著作物を公表す る場合には、出典名・発行所を明記してください。
- ※ 電子化の仕様上、その他の事情により、各辞典・書籍発行元の監 修に基づいて書籍版の内容を改変した部分があります。写真、付 録、一部の図表、図版、囲み記事などは収録されていません。
- ※ 画数の多い漢字は液晶表示の都合上、一部簡略化しており、正確 に表示できないものがあります。
- ※本機に収録した各辞典・書籍は、それぞれの書籍出版辞典に基づ いて作成しています。それぞれの辞典・書籍における誤記(誤 植)、誤用につきましては、弊社ではその責任を負いかねますの で、あらかじめご了承ください。
- ※ 記述内容および問合せ先は予告なく変更する場合がございますの でご了承ください。

おもな仕様

型式 wordtank M300

	コンテンツの名前・出版社名については「著 作物と著作権など」にてご確認ください。 ((1) 310ページ参照)
表示	320×240ドットマトリックス液晶表示
文字表示 ^{*1} (文字×行)	文字 (16ドットフォント) 全角 20×13
	縮小文字 (12ドットフォント) 全角 26×16
	拡大文字 (24ドットフォント) 全角 13×8
	一文字拡大表示(96ドットフォント)
筆順表示	180ドットフォント
電卓機能	 演算桁数 : 置数、被演算数、演算数ともに12桁 結果 : 上位桁優先12桁 小数点方式: 浮動小数点
対応ファイル 形式 (MP3プレーヤー 機能)	MPEG1 Audio layer 3 CBR 32-320kbps
電源*2	単4形アルカリ乾電池(LRO3)2本 単4形ニッケル水素電池 2本
	1.2W

使用時間 (乾電池使用 使用温度25℃にて)	 ・約107時間(カード非装着、英和辞典の画面で連続表示) ・約105時間(カード非装着、5秒間10文字以内の入力と 20 キー入力を繰り返し、55秒間待つ場合)
オートパワーオフ	
使用温度	0°C~40°C
画面サイズ (たて×よこ)	53.4×80mm
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	117×81.5×22.5mm(最厚部閉時)
重量	188g(電池含む)

*1 掲載の文字表示方法により、実際の表示画面と異なる場合 がございます。

*2 パソコンに接続している間は、電源はパソコン本体から供給 され電池は消耗されません。(CP 220ページ参照)

改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますので、 あらかじめご了承ください。

修理お問い合わせ専用窓口

パーソナル機器修理受付センター(全国共通番号) 050-555-99088

[受付時間] 9:00 ~ 18:00 (日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

製品取扱い方法ご相談窓口

キヤノンお客様相談センター(全国共通番号) 050-555-90025

[受付時間] <平日>9:00 ~ 20:00 <土日祝日>10:00 ~ 17:00 (1月1日~1月3日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632 をご利用ください。 ※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。 ※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2007年1月1日現在

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

PUB, E-IJ-1105 © CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2007 PRINTED IN CHINA